セットアップ編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

C830dn

◯このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル(本書)をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。

⚠警告

	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠警告

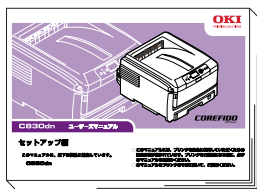
	こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。 こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。 床などにこぼれてしまったトナーは、ぬれた布などでふき取ってください。
	UPS(無停電電源)およびインバータを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源およびインバータは使用しないでください。 火災のおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。
	壊れた液晶ディスプレイにはさわらないでください。 液晶ディスプレイから漏れた液体（液晶）が目や口に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

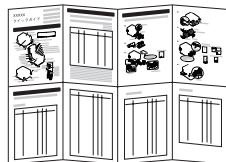
マニュアルの構成

本製品には、次の説明書と CD-ROM マニュアルが付属しています。

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）…本書

必ずお読みください。
プリンタの設置からプリンタドライバのインストールまでの手順、操作パネルの表示、基本的な印刷、消耗品の交換などが記載されています。

ユーザーズマニュアル CD-ROM

カラー調整などの各種ユーティリティ、拡大印刷や製本印刷などさまざまな機能の使い方を説明しています。ユーザーズマニュアル CD-ROM の内容（189 ページ）をご覧ください。

クイックガイド

用紙の設定、操作パネルのメッセージ、紙づまりの対処方法が記載されています。専用袋に入れ、プリンタに貼り付けてご使用ください。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- C830dn → C830
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista(64bit版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008(64bit版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP(x64版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2003　x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003(x64版) ※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows 2000
- Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 の総称→ Windows
- PostScript3 エミュレーション→ PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION

※特に記載がない場合は、Windows Vista と Windows Server 2008 と Windows XP と Windows Server 2003 には 64bit 版も含みます。

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

なお、本文中の記述は、特に表記がない限り、Microsoft® Windows Vista™ Home Premium Edition での操作手順を記載しています。環境や設定によって画面や操作手順が異なる場合があります。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
　　　　　　通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条　等

電波障害防止について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2　適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

VOC（揮発性有機化合物）の放散

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションに関する認定基準を満たしています。（トナーは沖データ純正トナーカートリッジ（ブラック）を使用し、白黒印刷を行った場合について、試験方法 Blue Angel RAL UZ-122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

プリンタに搭載のソフトウェアについて

C830dn は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE ™ソフトウェアを搭載しています。

C830dn は、IPv6 Ready Logo Phase 1 テストに合格しています。

商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
ProtecPaper、Val-Code、ProtectPrint、ProtecCheck は、沖電気工業株式会社の商標または登録商標です。
RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Bonjour および TrueType は、米国 Apple Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Adobe、PostScript および Reader は、米国及びその他の国々で登録された Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
Scalable Font は Agfa Monotype Corporation からライセンスされています。
CG Omega は Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG Times は The Monotype Corporation のライセンスをうけた Times New Roman を基にした Agfa Monotype Corporation の製品です。
Taffy は Adobe Tekton Regular に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
Candid は Adobe Carta に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG、Candid、Taffy は Agfa Monotype Corporation の各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、Times は Linotype-Hell AG あるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill Sans は The Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
Wingdings は Microsoft Corporation の各国での登録商標または商標です。
Agfa からライセンスされた Marigold は Arthur Baker の各国での登録商標または商標です。
平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読みください。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却してください。

株式会社沖データ(以下「沖データ」といいます)は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア(ただし、Adobe Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。)を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為 (過失を含むがこれに限定されない) に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
   本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
   本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず､他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
   本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
   お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
   All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
   本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

＊＊＊＊＊

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Reader の使用について
Adobe Reader は沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Adobe Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社から Adobe Reader の使用を許諾されることになります。

戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

目　次

1 プリンタを設置します

1

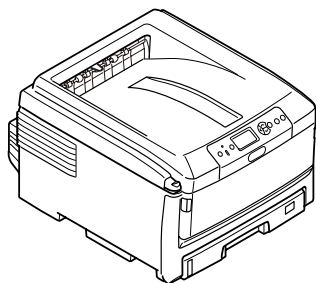
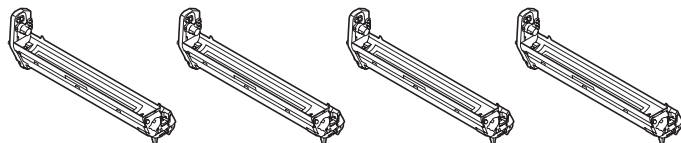
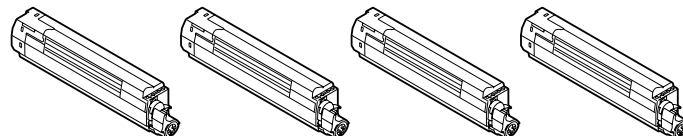
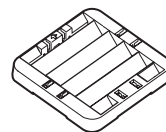
製品の確認

製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

 ケガをするおそれがあります。

このプリンタは重量が約 40Kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。

☐ プリンタ（本体）

☐ イメージドラム
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各 1 個ずつ）

☐ トナーカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各 1 個ずつ）

☐ ソフトウェア CD-ROM
☐ 電源コード
☐ ユーザーズマニュアル (セットアップ編)（本書）
☐ ユーザーズマニュアル CD-ROM
☐ クイックガイド
☐ クイックガイド専用袋
☐ 排気ルーバー

- プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。
- 梱包箱、緩衝材はプリンタを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度　　：10 ～ 32℃
  周囲湿度　　：20 ～ 80%RH（相対湿度）
  最大湿球温度：25℃
- 結露しないように注意してください。
- 周囲湿度が 30% 以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

- 高温になる場所や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。
- プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。

⚠注意

- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 大量に印刷したり、長時間連続してご使用になるときは、換気に心掛けてください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。
- このプリンタは重量が約 40kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。

設置スペース

- プリンタの足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- プリンタの周りに十分なスペースを取ってください。

平面図

側面図

プリンタ各部の名前

トップカバー
操作パネル
手差しガイド
マルチパーパストレイ
（MPトレイ手差し）
用紙サポータ
通気口
OPENボタン
フロントカバー
用紙カセット（トレイ1）

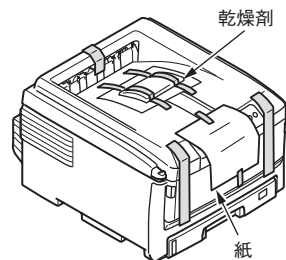
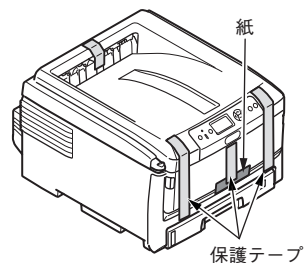
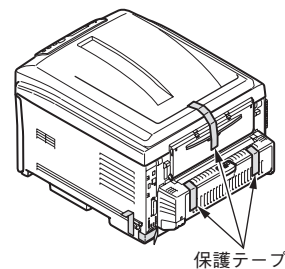
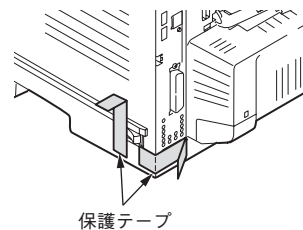
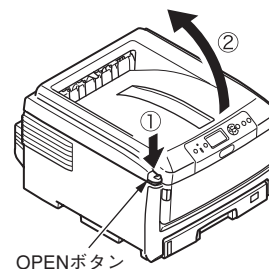
フェイスアップ
スタッカ
両面印刷ユニット
通気口
インタフェース部
電源コネクタ
電源スイッチ

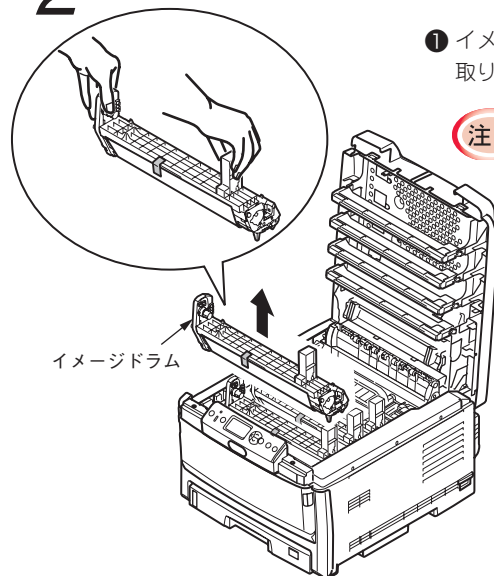
LEDヘッド（4ヶ所）
排出ローラ
定着器ユニット
トナーカートリッジ
(C シアン(青色))
トナーカートリッジ
(M マゼンタ(赤色))
トナーカートリッジ
(Y イエロー(黄色))
トナーカートリッジ
(K ブラック(黒色))
イメージドラム
(C シアン(青色))
イメージドラム
(M マゼンタ(赤色))
イメージドラム
(Y イエロー(黄色))
イメージドラム
(K ブラック(黒色))
用紙サイズダイヤル
用紙残量表示

〈インタフェース部〉

USBインタフェースコネクタ
ネットワークインタフェースコネクタ
(100/10BASE)
ACC
パラレルインタフェースコネクタ

付属品を取り付けます

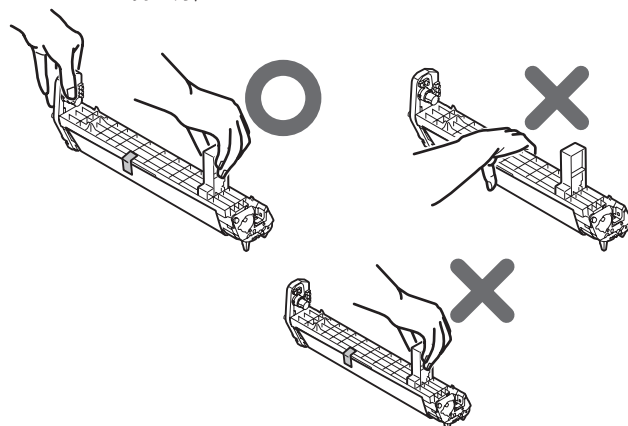
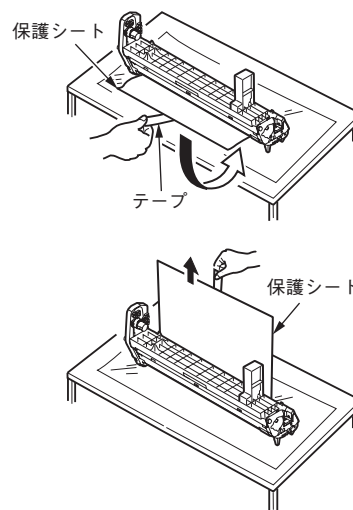
1 保護具を取り外します。

❶ プリンタ上面の乾燥剤と紙をはがします。

❷ プリンタ前面の保護テープ（3ヶ所）と紙をはがします。

❸ プリンタ後面の保護テープ（3ヶ所）をはがします。

❹ 電源部の保護テープをはがします。

❺ OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

2 イメージドラムを取り出します。

❶ イメージドラム(4個)を両手で静かに取り出します。

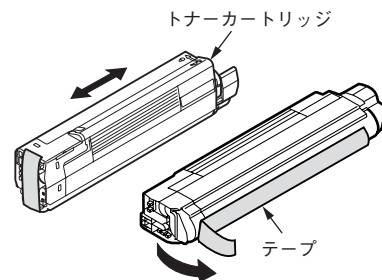
注

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

イメージドラム

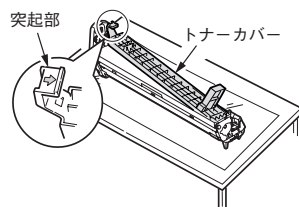
〈イメージドラムの持ち方〉

片手で持たないでください。

❷ イメージドラムを新聞紙等の上に置きます。

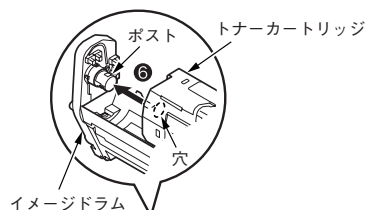
❸ 保護シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

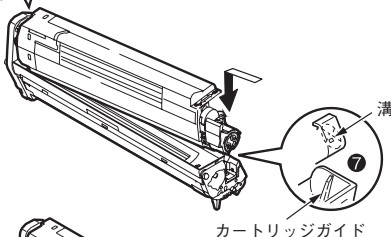
3 トナーカートリッジをイメージドラムにセットします。

❶ トナーカートリッジを包装袋から取り出します。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

必ず製品購入時にプリンタに添付されていたイメージドラムとトナーカートリッジをセットしてください。交換用、もしくは他のプリンタで使用していたものを使用すると、プリンタに添付されていたイメージドラムとトナーカートリッジは使用できなくなります。

❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムのラベルの色が合っていることを確認します。

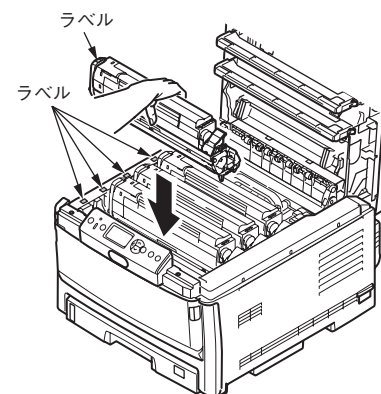
❺ イメージドラムからトナーカバーを取り外します。

❻ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムのポストに差し込みます。

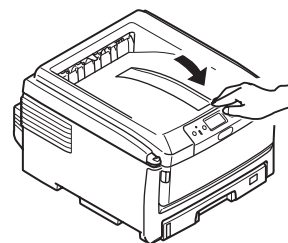
❼ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❽ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

注 製品購入時に添付されているトナーカートリッジは、約 2300 枚印刷可能です。

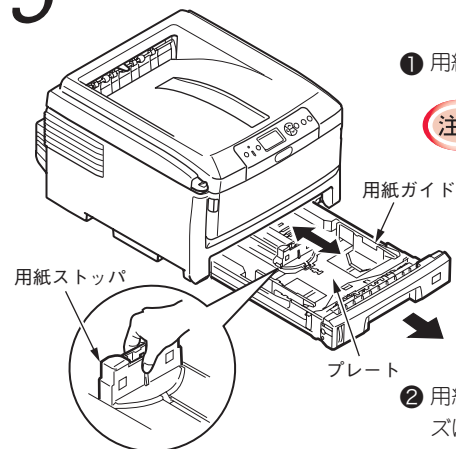
メモ トナーカートリッジの印刷可能枚数は、用紙サイズが A4、印字濃度が工場出荷設定時で「ISO/IEC 19798」に準拠した値です。実際に印刷可能な枚数は、お客様のご使用状況により、異なります。
「ISO/IEC 19798」は、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジのレバーとイメージドラムのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 イメージドラムをプリンタにセットします。

❶ イメージドラムのラベルの色とプリンタのラベルの色を合わせます。

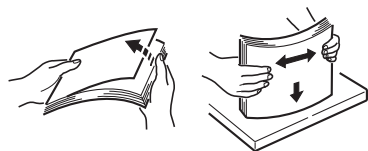
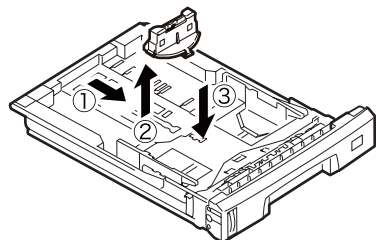
❷ イメージドラム（4 個）を静かに戻します。

❸ トップカバーを閉じます。

操作パネルの［トナーカートリッジを交換してください］の表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジのレバーが矢印の方向にいっぱいまで動かされているか確認してください。

5 用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

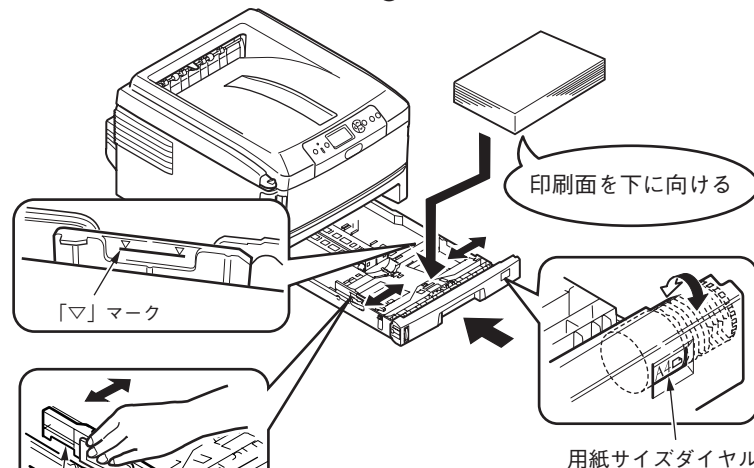
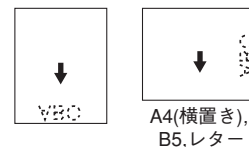
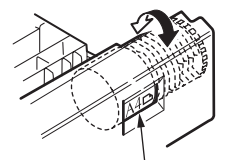
注 プレートについているゴムは、はがさないでください。

❷ 用紙ストッパと用紙ガイドを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

注 A6 サイズの用紙をセットする場合は、用紙ストッパを手前まで移動し、外してから図の位置に取り付け直します。

❸ 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

メモ 用紙については、9 章の「使用できる用紙」（130 ページ）を参考にしてください。

注 プリンタに適していない用紙を使用すると、プリンタが故障するおそれがあります。

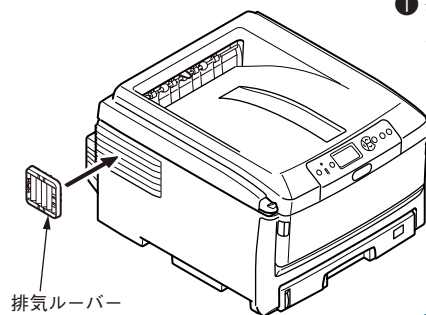
❹ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。（連量 70kg 紙で 300 枚）

❺ 用紙ガイドで用紙を固定します。

❻ 用紙サイズダイヤルを、セットした用紙のサイズに合わせます。

❼ 用紙カセットをプリンタに戻します。

排気ルーバーを取り付けます。

排気の向きを変えない場合は取り付ける必要はありません。

❶ 排気の向きを変えたい場合は、排気ルーバーを差し込みます。

メモ　4 方向、どの向きでも取り付けられます。

電源を入れます

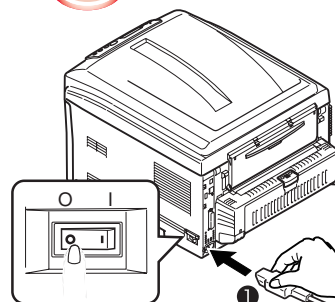
電源の条件

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC） : 100V ± 10%
  電源周波数 : 50Hz または 60Hz ± 2Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は 1350W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- UPS(無停電電源)およびインバータを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源およびインバータは使用しないでください。

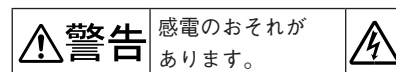
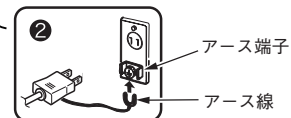
⚠警告 火災や感電のおそれがあります。

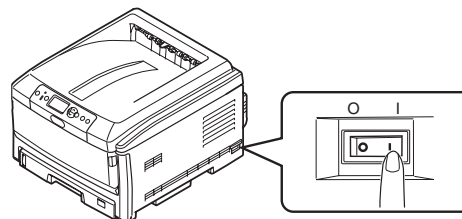
- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。アースが取れない場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
- 水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- アース端子の接続は必ず、電源プラグに電源を繋ぐ前に行ってください。また、アース端子を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードを使用し、直接コンセントに差し込んでください。他の製品用の電源コードを本プリンタに使用しないでください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 15A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- 添付の電源コードを他の製品に使用しないでください。

1 電源コードを接続します。

注 電源スイッチが OFF（○）になっていることを確認してください。

❶ 電源コードをプリンタに差し込みます。

❷ アース線をコンセントのアース端子に接続します。

⚠警告 感電のおそれがあります。

必ずアース線を接続してください。

❸ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

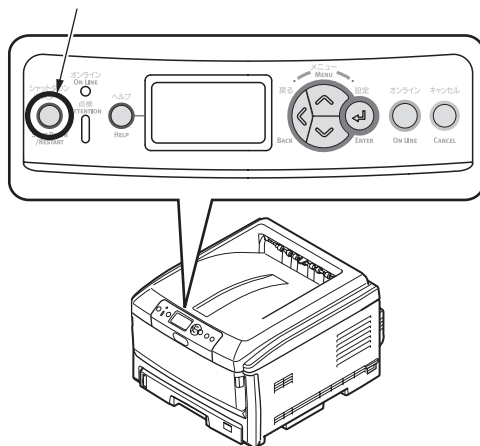
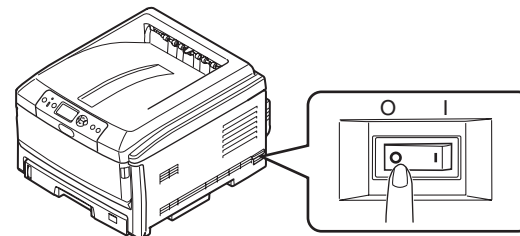
2 電源スイッチの ON（ | ）を押します。

印刷できる状態になると、［印刷できます］と表示します。

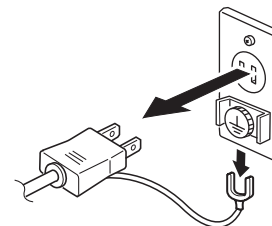
注 プリンタが冷えているときに電源を入れると、エラーになることがあります。（エラー番号 126, 169-02, 171, 175, 173, 177, 320）このような場合は、電源を切り、しばらくの間待ってから、もう一度電源を入れてください。

電源を切ります

いきなり電源を切らずに下記の手順で電源を切ります。

いきなり電源を切ると、プリンタに損傷を与え、使用不能になることがあります。

❶ ◯「シャットダウン / リスタート」ボタンを 4 秒以上押すと、[シャットダウン中です]と表示され、シャットダウン処理が開始されます。

❷ [シャットダウン完了／電源を切るかまたはリスタートボタンで再起動します] が表示されたら、電源スイッチの OFF(O)を押します。

長期間使用しないとき

連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
また、定着器にストッパリリースを取り付けてください。

アース端子を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

本プリンタは長期間（4 週間以上）電源プラグを抜いておいても、機能障害を生じません。

設定内容印刷をします

プリンタが正常に動作することを確認します。

プリンタオプション品の取り付け状況や、プリンタのメニュー設定内容、消耗品の使用状況などを、確認することができます。

❶ トレイ 1 に A4 用紙をセットします。

❷ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❸ ボタンを数回押して［プリンタ情報印刷］を選択し、 設定ボタンを押します。

❹ ボタンを押して［設定内容］を選択し、 設定ボタンを押します。

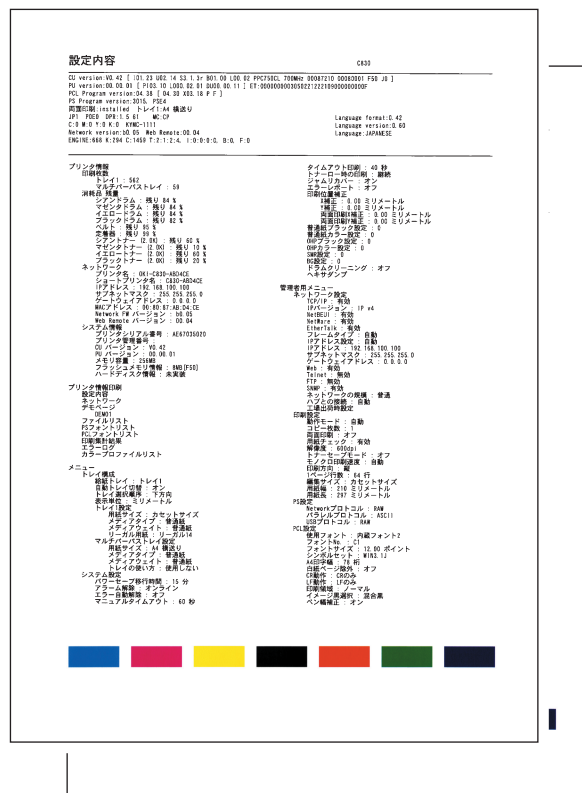
印刷できます。

❺ 設定ボタンを押します。

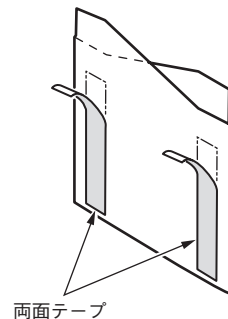
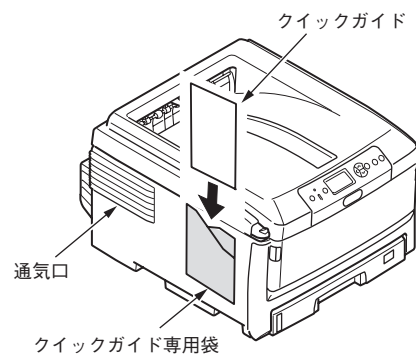
設定内容印刷が開始されます。

ネットワークの設定情報（Network Information 2 枚）を印刷するには、❸の後に ボタンを押し、［ネットワーク］を表示させてから、 設定ボタンを押します。

（サンプル）

設定内容

クイックガイドの収納

クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付け、クイックガイドを収納します。

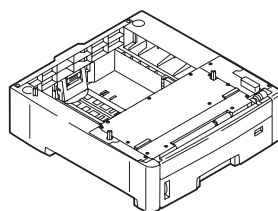
1 クイックガイド専用袋裏側の、両面テープ(2ヶ所)をはがします。

2 クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付けます。

プリンタの通気口を塞がないように貼り付けてください。

オプション品について

増設トレイ

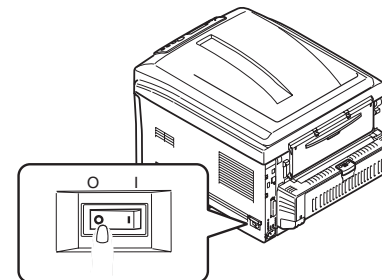
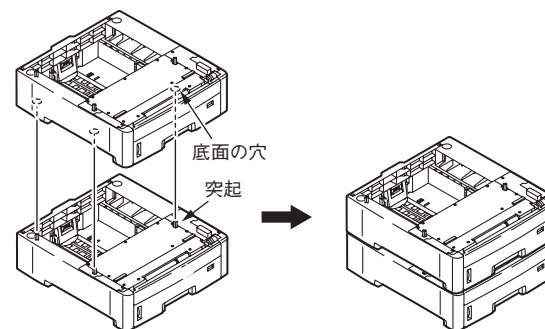
プリンタにセットできる用紙の枚数を増やしたいときに取り付けるオプショントレイユニットです。最大2つまで取り付けることができます。1つの増設トレイユニットに連量70kg紙の場合530枚セットでき、標準の用紙カセット、マルチパーパストレイと合わせて1,460枚を連続して印刷できるようになります。

A6用紙は使用できません。

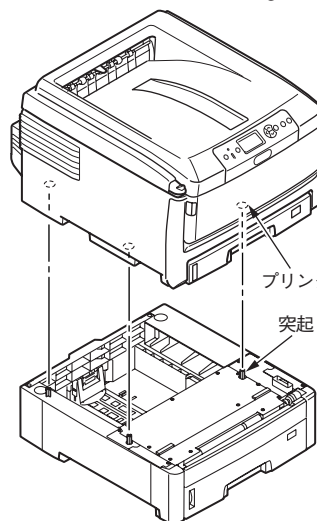
標準の用紙カセット（トレイ1）から順に下に向かって、トレイ2、トレイ3と呼びます。

型名：TRY-C3E1

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源をONのまま取り付けると､プリンタが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（23ページ）をご覧ください。

2 2つの増設トレイユニットを取り付ける場合は、予め重ねておきます。

3 プリンタを増設トレイユニットに載せます。

⚠注意 ケガをするおそれがあります。

このプリンタは約 40kg あります。2 人以上で持ち上げてください。

❶ プリンタ底面の穴と増設トレイユニットの突起を合わせます。

❷ プリンタを増設トレイユニットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

4 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON にします。

[サービスセンターへ連絡してください　182：エラー］または［サービスセンターへ連絡してください　183：エラー］が表示された場合は、増設トレイユニットを取り付け直してください。

5 設定内容印刷を行い、正しく取り付けられていることを確認します。

❶ 設定内容印刷をします。

詳しくは「設定内容印刷をします」(24 ページ)をご覧ください。

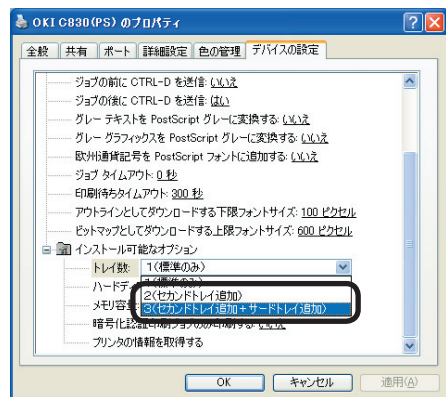
❷ [プリンタ情報] の [印刷枚数] に追加したトレイが表示されていることを確認します。

追加したトレイが表示されない場合は、増設トレイユニットを取り付け直してください。

プリンタドライバでトレイの数を設定します。

プリンタドライバで追加したトレイを認識させるための設定が必要です。プリンタドライバをセットアップしていない場合は、3章～8章を参照し、プリンタドライバをセットアップしてから以下の設定を行ってください。

コンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows PSプリンタドライバの場合

(Windows XPの画面)

❶ Windows Vista/Server 2008では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
Windows XPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows Server 2003では[スタート]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows 2000では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI C830(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスの設定]タブの［インストール可能なオプション］で[プリンタの情報を取得する]を選択し、[セットアップ]または[プリンタの情報を取得する]をクリックします。USB接続の場合は手動で［トレイ数］に該当する値を設定します。

❹ [OK]をクリックします。

Windows PCL/PCL XPSプリンタドライバの場合

(Windows XPの画面)

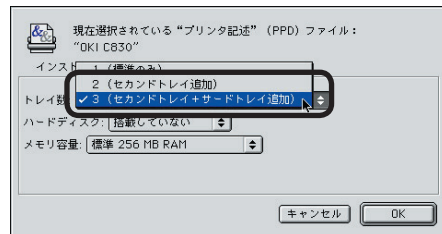
❶ Windows Vista/Server 2008では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
Windows XPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows Server 2003では[スタート]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows 2000では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI C830(**)](**はPCL またはPCL XPS(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスオプション]タブで[プリンタの情報を取得する]を選択します。USB接続の場合は手動で［利用可能な装置］に現在のトレイ総数を入力します。

❹ [OK]をクリックします。

Macintoshの場合

Macintosh ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されます。プリンタドライバをインストールした後にオプションを追加した場合は、以下手順でオプションを設定してください。

ネットワーク接続の場合

❶［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷［構成］をクリックします。

❸［トレイ数］で該当する値を選択し、［OK］をクリックします。

❹［セレクタ］を閉じます。

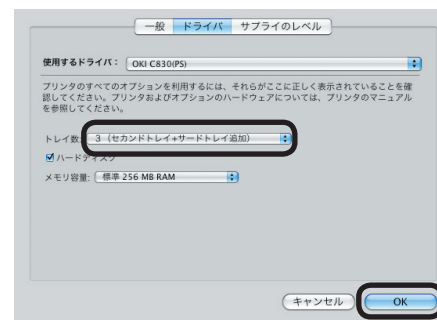
USB接続の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ　デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB 接続で Macintosh にセットアップします」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（97 ページ）をご覧ください。

Mac OS Xの場合

Mac OS X ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されますが、「IP プリント」や「Bonjour(Rendezvous)」で接続した場合は自動的にデバイス情報が取得されません。「AppleTalk」で接続した場合にもプリンタドライバのインストール後にオプションを追加した場合には自動的にデバイス情報が取得されません。
これらの場合、以下手順にてオプションを設定してください。

Mac OS X 10.5をお使いの方

❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷［プリントとファクス］をクリックします。プリンタ名を選択し、［オプションとサプライ］をクリックし、［ドライバ］タブを選択します。

❸［トレイ数］で該当する値を選択し OK をクリックします。

Mac OS X 10.5以外をお使いの方

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリンタ設定ユーティリティ］

❷［OKI C830］を選択し、［情報を見る］をクリックし［プリンタ情報］を開きます。

❸［インストール可能なオプション］を選択します。

❹［トレイ数］で該当する値を選択し、［変更を適用］をクリックします。

❺［プリンタ情報］を閉じます。

キャスタ付きキャビネット

プリンタを床置きするときには､キャスタ付きキャビネットのご使用をお勧めします。
プリンタ単体、またはプリンタと増設トレイを載せることができます。
キャビネットにはキャスタが付いていますので、プリンタの移動が楽にできます。
キャビネットの中には、用紙や消耗品を保管することができます。

ここでは増設トレイを２段使用する場合の手順を説明します。

キャビネット

型名　CAB-S1

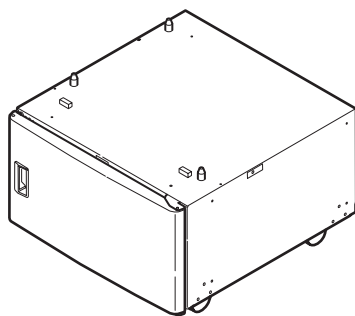
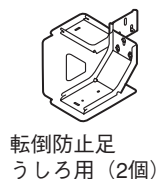
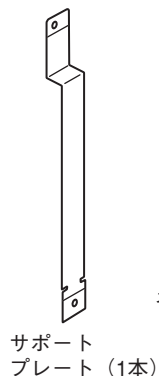
付属品

サポート
プレート（1本）

ネジ（17本）

転倒防止足
カバー（6個）

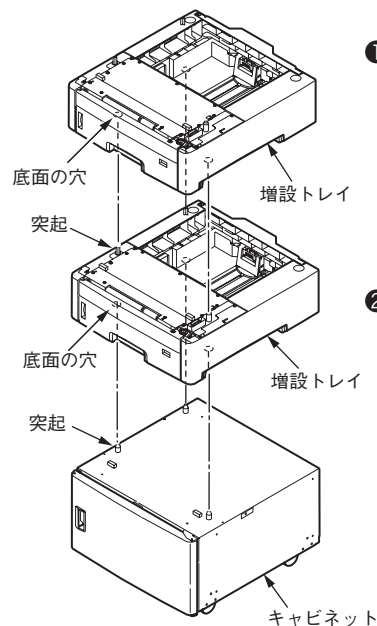
転倒防止足
うしろ用（2個）

転倒防止足
まえ用（2個）

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源を ON のまま取り付けると､プリンタが故障する恐れがあります。

電源の切り方は「電源を切ります」(23 ページ) をご覧ください。

2 増設トレイをキャビネットに載せます。

プリンタと増設トレイを一緒に持ち上げないでください。

❶ 増設トレイの底面の穴とキャビネットの突起を合わせます。

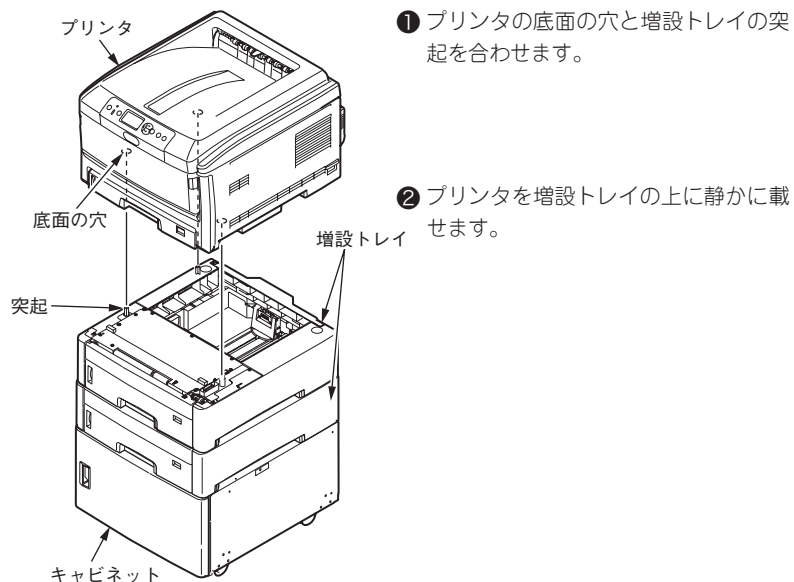
❷ 増設トレイをキャビネットの上に静かに載せます。

3 プリンタを増設トレイに載せます。

注意 ケガをするおそれがあります。

このプリンタは重量が約 40Kg あります。2 人以上で持ち上げてください。

❶ プリンタの底面の穴と増設トレイの突起を合わせます。

❷ プリンタを増設トレイの上に静かに載せます。

増設トレイが 1 段の場合には手順 5 へ進みます。

4 サポートプレートを取り付けます。

メモ 増設トレイが 2 段の場合のみ取り付けます。プリンタ単体、増設トレイが 1 段の場合は取り付けられません。

❶ マルチパーパストレイを開けます。

❷ 中央のハンドル（青色）を押し上げ、フロントカバーを開けます。

❸ OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

❹ ネジをゆるめ、プリンタのサイドカバーを取り外します。

❺ ネジを外します。

注 サポートプレートを取り付けるとき使用しますので、なくさないように注意してください。

❻ サポートプレートを、❺で外したネジと付属のネジを用いてプリンタとキャビネットに取り付けます。

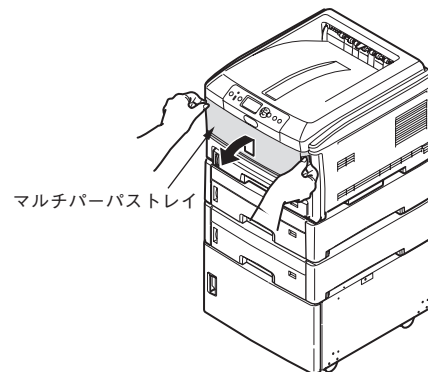
注 サポートプレートの形状に注意して取り付けてください。

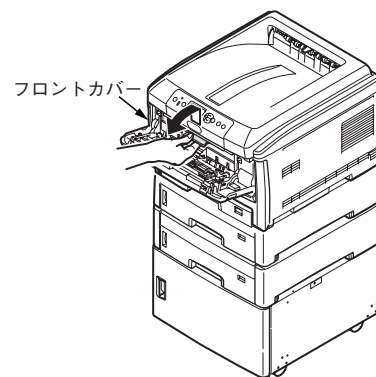
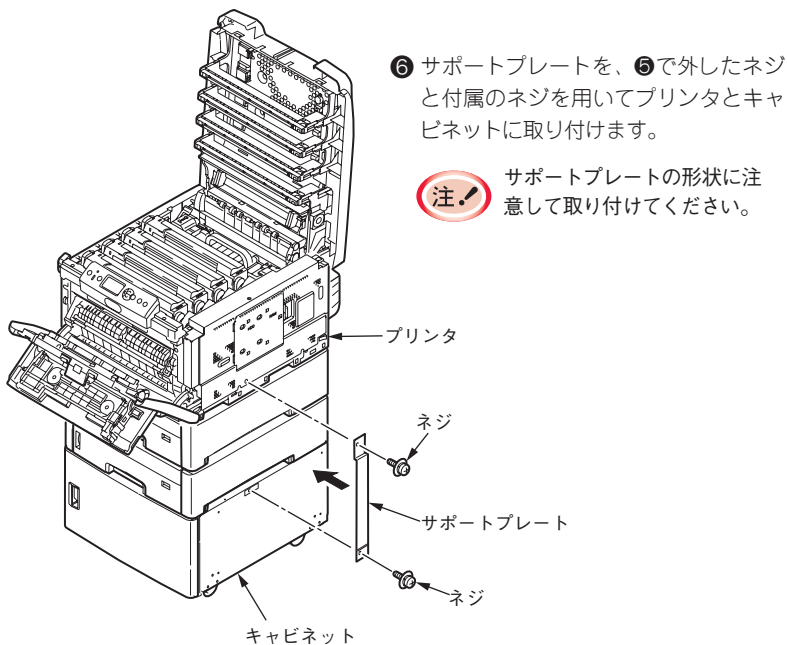
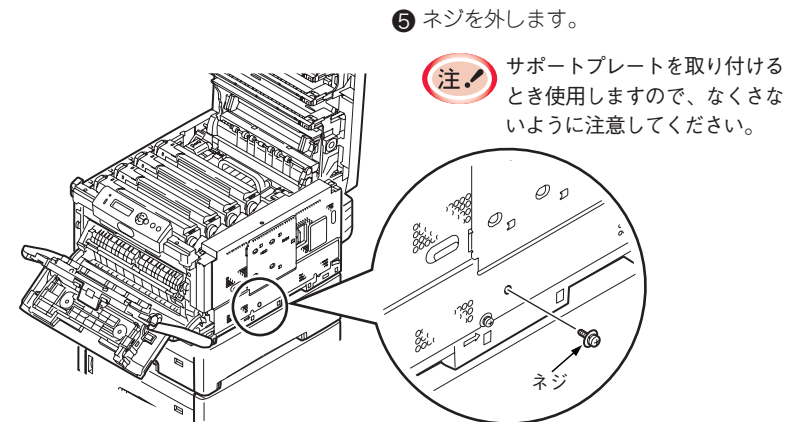
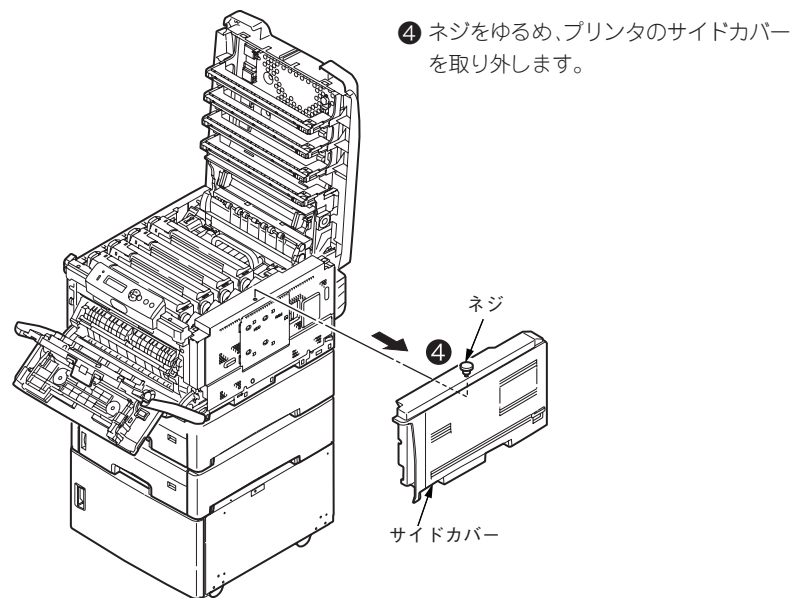
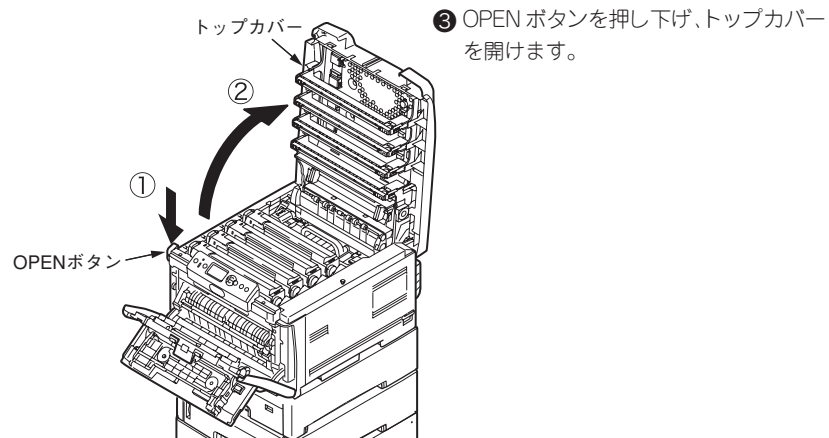
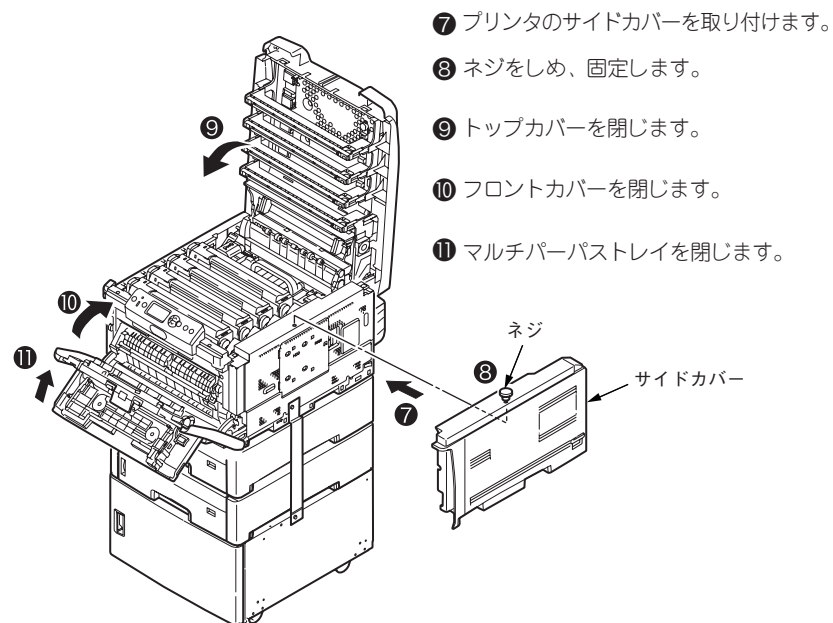
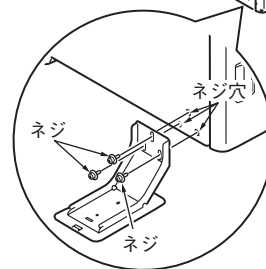
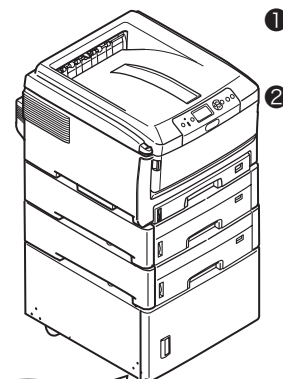
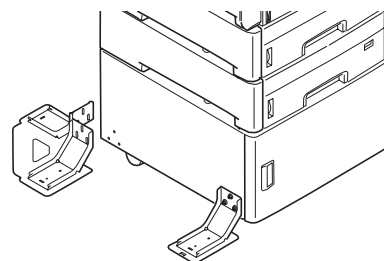
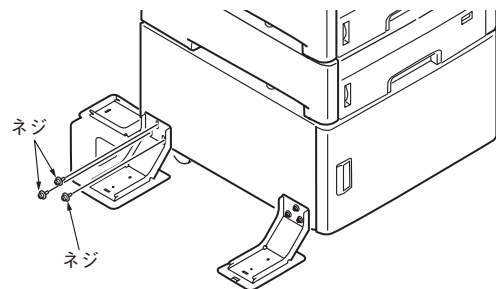
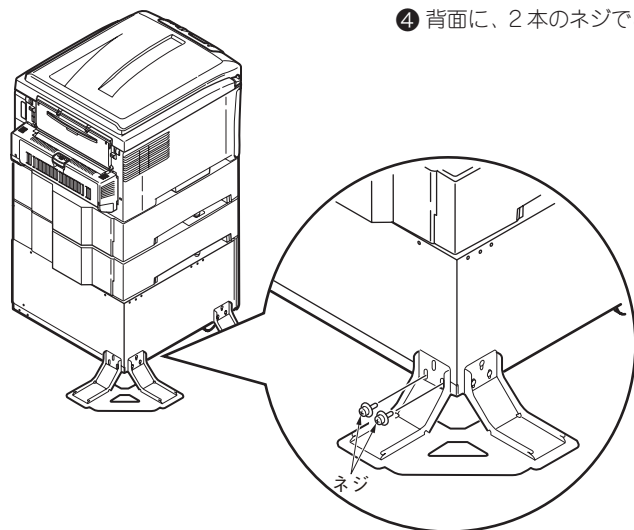
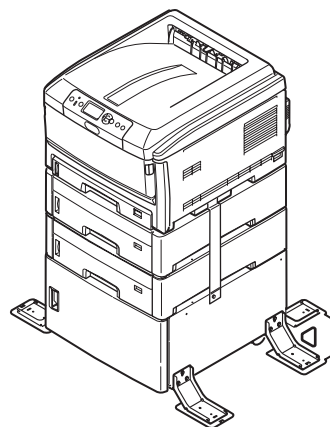
❼ プリンタのサイドカバーを取り付けます。

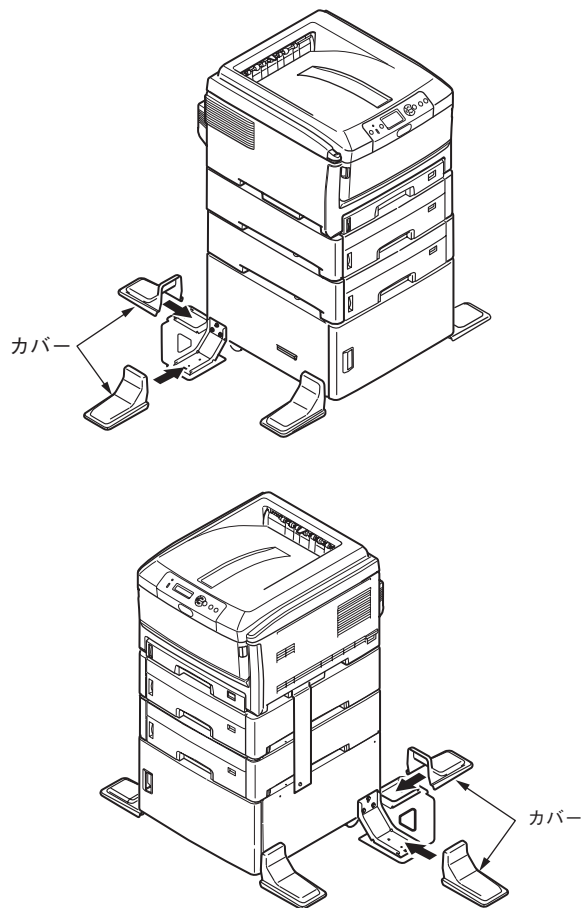
❽ ネジをしめ、固定します。

❾ トップカバーを閉じます。

❿ フロントカバーを閉じます。

⓫ マルチパーパストレイを閉じます。

5 転倒防止足を取り付けます。

❶ 転倒防止足（まえ用）をキャビネットの左側面に、3本のネジでとめます。

❷ 転倒防止足（うしろ用）をキャビネットの左奥の角に合わせます。

❸ 左側面に、3 本のネジでとめます。

❹ 背面に、2 本のネジでとめます。

❺ ❶〜❹と同じ手順で、右側面に、転倒防止足（まえ用）（うしろ用）を取り付けます。

6 転倒防止足カバーを取り付けます。

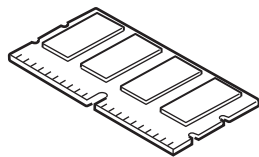
転倒防止足に、カバー（6 ヶ所）をスライドさせて取り付けます。

7 電源コード、ケーブル類を取り付け、電源を入れます。

8 増設トレイが正しく取り付けられていることを確認し、コンピュータで増設トレイの設定をしてください。

これで完了です。

メモ 詳しくは、26 ページをご覧ください。

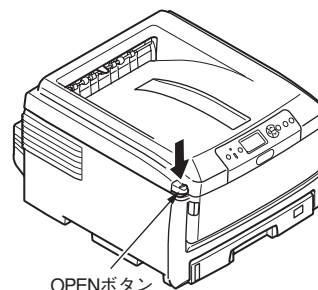
増設メモリ

プリンタのメモリ容量を増やしたいときに取り付けます。複雑なデータでメモリ不足のエラー［メモリオーバーフロー］が発生するときや、部単位印刷で［丁合印刷エラーです］が表示されるときなどに追加します。

増設メモリ

型名	メモリ量 (総メモリ量)
なし（標準）	256MB（256MB）
MEM256E	+256MB（512MB）
MEM512C	+512MB（768MB）

- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- 長尺印刷を行う場合は､256MB 以上の増設メモリの追加を推奨します。
- メモリ用スロットは 1 スロットです。

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源を ON のまま取り付けると、プリンタまたは増設メモリが故障するおそれがあります。

電源の切り方は「電源を切ります」（23 ページ）をご覧ください。

2 トップカバーとフロントカバーを開けます。

❶ OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

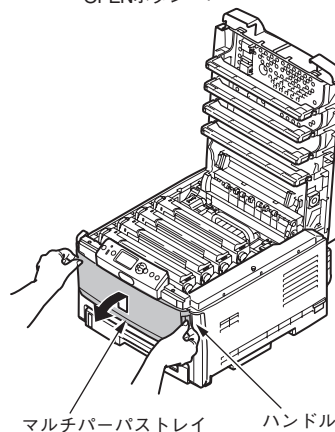
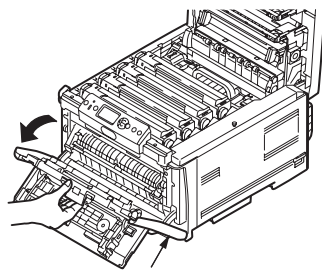
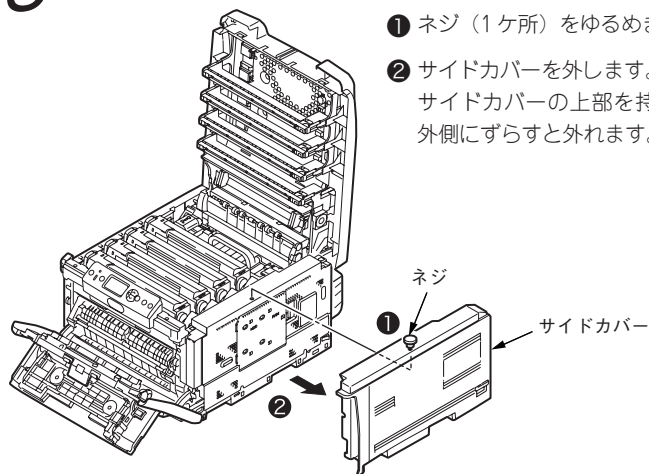
❷ マルチパーパストレイを開きます。

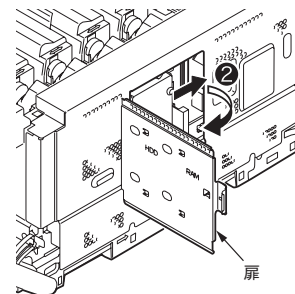
❸ フロントカバー中央のハンドル(青色)を押し上げ、フロントカバーを手前に開きます。

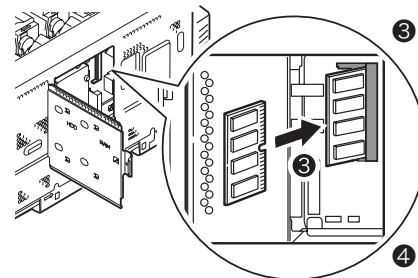
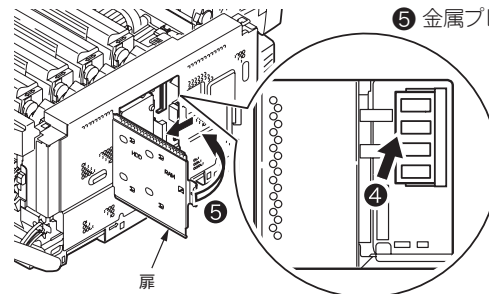
3 サイドカバーを外します。

❶ ネジ（1 ケ所）をゆるめます。

❷ サイドカバーを外します。
サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

ネジ

サイドカバー

4 メモリを取り付けます。

❶ メモリを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

❷ 金属プレートの扉を矢印のようにスライドさせて開きます。

❸ スロットにななめにメモリを差し込みます。

❹ メモリをプリンタ側に押し、固定します。

❺ 金属プレートの扉を閉じます。

- 電子部品やコネクタ端子には触らないでください。
- メモリの向きにご注意ください。メモリの端子部には切り欠き部分があり、スロットのコネクタと勘合するようになっています。

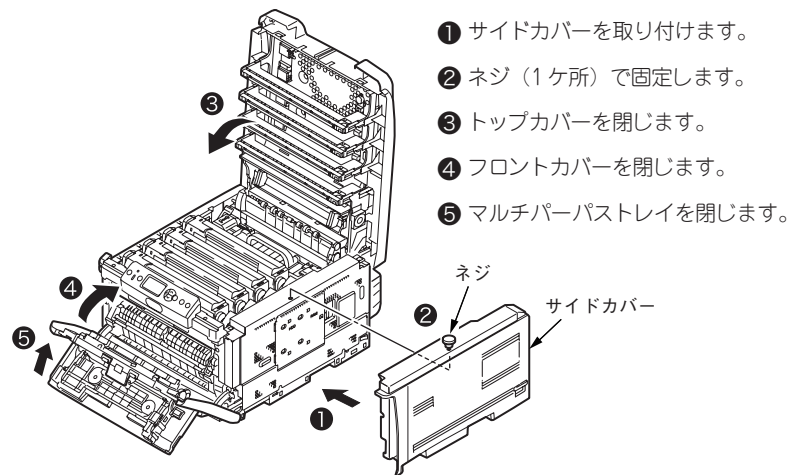
5 サイドカバーを取り付けます。

❶ サイドカバーを取り付けます。

❷ ネジ（1 ケ所）で固定します。

❸ トップカバーを閉じます。

❹ フロントカバーを閉じます。

❺ マルチパーパストレイを閉じます。

6 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON にします。

操作パネルに［サービスセンターへ連絡してください　031：エラー］が表示された場合は、メモリを取り付け直してください。

7 設定内容印刷を行い、増設メモリが正しく取り付けられていることを確認します。

プリンタ情報
　印刷枚数
　　トレイ1 : 576
　　トレイ2 : 7
　　トレイ3 : 24
　　マルチパーパストレイ : 59
　消耗品 残量
　　シアンドラム : 残り 84 %
　　マゼンタドラム : 残り 84 %
　　イエロードラム : 残り 84 %
　　ブラックドラム : 残り 82 %
　　ベルト : 残り 95 %
　　定着器 : 残り 99 %
　　シアントナー (2.0K) : 残り 60 %
　　マゼンタトナー (2.0K) : 残り 10 %
　　イエロートナー (2.0K) : 残り 60 %
　　ブラックトナー (2.0K) : 残り 20 %
　ネットワーク
　　プリンタ名 : OKI-C830-ABD4CE
　　ショートプリンタ名 : C830-ABD4CE
　　IPアドレス : 192.168.100.100
　　サブネットマスク : 255.255.255.0
　　ゲートウェイアドレス : 0.0.0.0
　　MACアドレス : 00:80:87:AB:D4:CE
　　Network FW バージョン : b0.05
　　Web Remote バージョン : 00.04
　システム情報
　　プリンタシリアル番号 : AE67035020
　　プリンタ管理番号 :
　　CU バージョン : V0.42
　　PU バージョン : 00.00.01
　　メモリ容量 : 512MB
　　フラッシュメモリ情報 : 8MB[F50]
　　ハードディスク情報 : 40.01GB[F50]

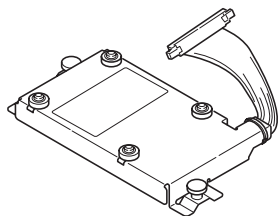
❶ 設定内容印刷をします。

詳しくは「設定内容印刷をします」（24 ページ）をご覧ください。

❷［プリンタ情報］の［システム情報］の［メモリ容量］に表示される総メモリ量を確認します。

［メモリ容量］が正しく表示されない場合は、メモリを取り付け直してください。

内蔵ハードディスク

 フォントをダウンロードすることはできません。

オプションとして、4 種類の内蔵ハードディスクが用意されています。

- 標準内蔵ハードディスク（型名：HDD-C3C）
  プリンタに追加する内蔵ハードディスクです。認証印刷､印刷ジョブの保存、バッファ印刷を行う場合や、部単位印刷で［丁合印刷エラーです］が表示されるときに使用します。
- IC カード認証用内蔵ハードディスク（カード認証キット F7（型名：JCK-F7）に付属）
  プリンタに接続した IC カード読み取り機に IC カードをかざすことで、自分のジョブを印刷します。詳しくは、カード認証キット F7 に付属の説明書をご覧ください。
- グループ印刷機能対応 IC カード認証用内蔵ハードディスク（カード認証キット F8（型名：JCK-F8）に付属）
  カード認証キット F7 の機能に加えて、グループ化された複数のプリンタの中の任意のプリンタに取り付けられた IC カード読み取り機に IC カードをかざすことで、そのプリンタから印刷できます。詳しくは、カード認証キット F8 に付属の説明書をご覧ください。
- データプロテクションキット - タイプ A3 用ハードディスク（型名：DPK-A3）
  暗号化機能を持った内蔵ハードディスクです。
  標準の内蔵ハードディスクの機能に加え、データを暗号化して格納するため、セキュリティ性が向上します。詳しくは、応用編「付録」の「データプロテクションキット（オプション）の使用方法」をご覧ください。

このうちのいずれか 1 つを取り付けることができます。

内蔵ハードディスクの取り付け

取り付け方法は、4 種類とも共通です。

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

 電源を ON のまま取り付けると､プリンタが故障するおそれがあります。

 電源の切り方は「電源を切ります」（23 ページ）をご覧ください。

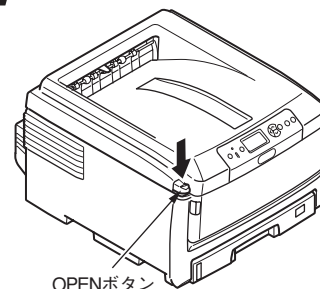
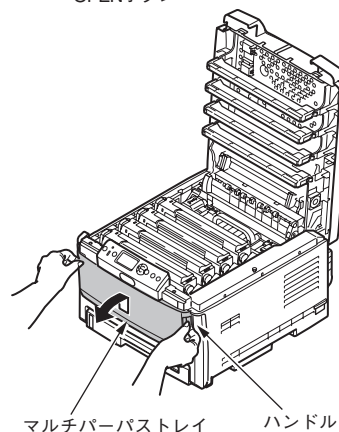
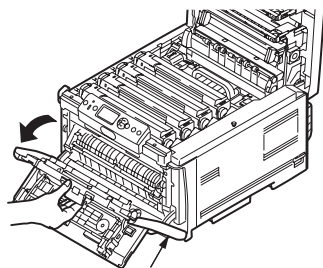
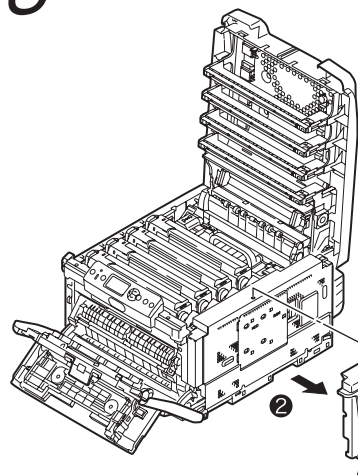
2 トップカバーとフロントカバーを開けます。

❶ OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

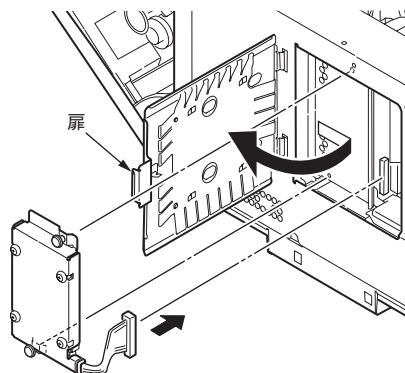
❷ マルチパーパストレイを開きます。

❸ フロントカバー中央のハンドル(青色)を押し上げ、フロントカバーを手前に開きます。

3 サイドカバーを外します。

❶ ネジ（1 ケ所)をゆるめます。

❷ サイドカバーを外します。

サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

4 内蔵ハードディスクを取り付けます。

❶ 金属プレートの扉を開けます。

❷ 内蔵ハードディスクの突起部をプリンタ側の孔に差し込みます。

❸ ねじ（2 本)で止めます。

❹ コネクタを、カチッと音がするまで押し込みます。

❺ 金属プレートの扉を閉じます。

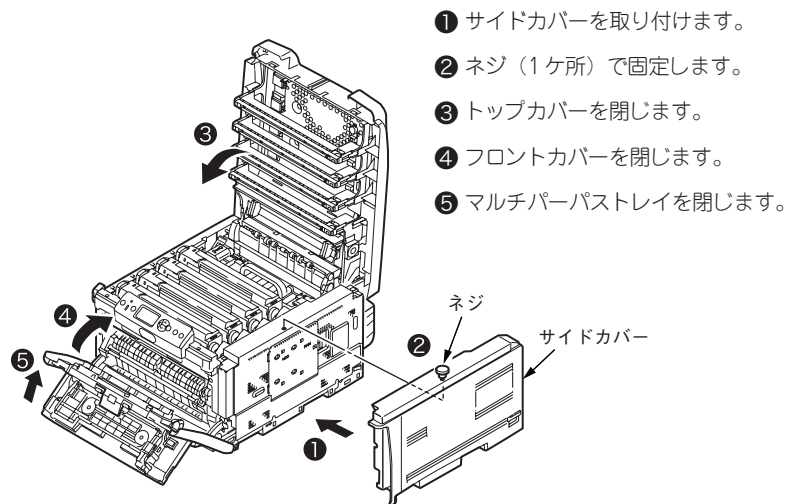
5 サイドカバーを取り付けます。

❶ サイドカバーを取り付けます。

❷ ネジ（1 ケ所）で固定します。

❸ トップカバーを閉じます。

❹ フロントカバーを閉じます。

❺ マルチパーパストレイを閉じます。

6 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON にします。

7 設定内容印刷を行い、内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていることを確認します。

```
プリンタ情報
    印刷枚数
        トレイ1 : 576
        トレイ2 : 7
        トレイ3 : 24
        マルチパーパストレイ : 59
    消耗品 残量
        シアンドラム : 残り 84 %
        マゼンタドラム : 残り 84 %
        イエロードラム : 残り 84 %
        ブラックドラム : 残り 82 %
        ベルト : 残り 95 %
        定着器 : 残り 99 %
        シアントナー (2.0K) : 残り 60 %
        マゼンタトナー (2.0K) : 残り 10 %
        イエロートナー (2.0K) : 残り 60 %
        ブラックトナー (2.0K) : 残り 20 %
    ネットワーク
        プリンタ名 : OKI-C830-ABD4CE
        ショートプリンタ名 : C830-ABD4CE
        IPアドレス : 192.168.100.100
        サブネットマスク : 255.255.255.0
        ゲートウェイアドレス : 0.0.0.0
        MACアドレス : 00:80:87:AB:D4:CE
        Network FW バージョン : b0.05
        Web Remote バージョン : 00.04
    システム情報
        プリンタシリアル番号 : AE67035020
        プリンタ管理番号 :
        CU バージョン : V0.42
        PU バージョン : 00.00.01
        メモリ容量 : 512MB
        フラッシュメモリ情報 : 0MB[F50]
        ハードディスク情報 : 40.01GB[F50]
プリンタ情報印刷
```

❶ 設定内容印刷をします。

詳しくは「設定内容印刷をします」（24 ページ）をご覧ください。

❷［プリンタ情報］の［システム情報］の［ハードディスク情報］に内蔵ハードディスクの容量が表示されていることを確認します。

メモ　ハードディスクの容量は、左図の例とは異なる場合があります。

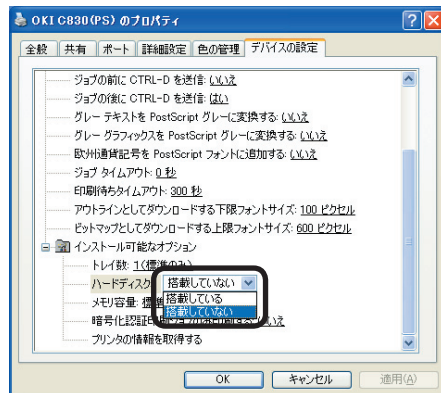
［ハードディスク情報］が［未実装］となっている場合は、内蔵ハードディスクを取り付け直してください。

IC カード認証用内蔵ハードディスクを取り付けた場合は、ハードディスク添付のマニュアルを必ずお読みください。

続けて、プリンタドライバで内蔵ハードディスクを認識させるための設定が必要です。プリンタドライバをセットアップしていない場合は、3 章～ 8 章を参照して、プリンタドライバをセットアップした後、次ページ以降の手順で設定してください。

8 プリンタドライバで［ハードディスク］を設定します。

注
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

Windows PSプリンタドライバの場合

(Windows XPの画面)

❶ Windows Vista/Server 2008では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI C830(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスの設定]タブの[インストール可能なオプション]で[プリンタの情報を取得する]をクリックし［セットアップ］または[プリンタの情報を取得する]をクリックします。USB 接続の場合は手動で［ハードディスク］を[搭載している]に設定します。

❹ [OK］をクリックします。

Windows PCLプリンタドライバの場合

(Windows XPの画面)

❶ Windows Vista/Server 2008では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

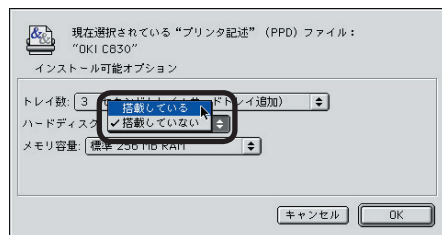
❷ [OKI C830(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスオプション]タブで[プリンタ情報を取得する]を選択します。USB 接続の場合は手動で［ハードディスク］にチェックをつけます。

❹ [OK]をクリックします。

Macintoshの場合

Macintosh ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には、自動的にオプションの情報が取得されます。
プリンタドライバをインストールした後にオプションを追加した場合は、以下の手順でオプションを設定してください。

ネットワーク接続の場合

❶ [セレクタ]でプリンタを選択し、[再設定]をクリックします。

❷ [構成]をクリックします。

❸ [ハードディスク]で[搭載している]を選択し、[OK]をクリックします。

❹ [セレクタ]を閉じます。

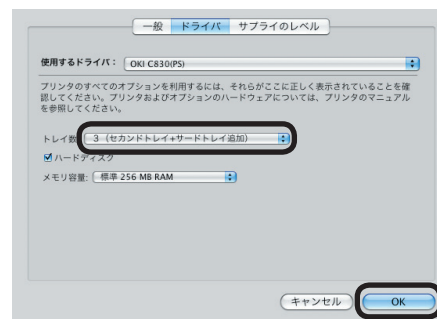
USB接続の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ　デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB 接続で Macintosh にセットアップします」の「デスクトップ・プリンタを作成します」(97 ページ)をご覧ください。

Mac OS Xの場合

Mac OS X ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されますが、「IP プリント」や「Bonjour(Rendezvous)」で接続した場合は自動的にデバイス情報が取得されません。「AppleTalk」で接続した場合にもプリンタドライバの追加後にオプションを追加した場合には自動的にデバイス情報が取得されません。
これらの場合、以下手順にてオプションを設定してください。

Mac OS X 10.5をお使いの方

❶ [アップルメニュー] - [システム環境設定] を選択します。

❷ [プリントとファクス]をクリックします。プリンタ名を選択し、［オプションとサプライ]をクリックし、[ドライバ]タブを選択します。

❸ [ハードディスク]で該当する値を選択し OK をクリックします。

Mac OS X 10.5以外をお使いの方

❶ ハードディスクの [アプリケーション]-[ユーティリティ]-[プリンタ設定ユーティリティ]をダブルクリックします。

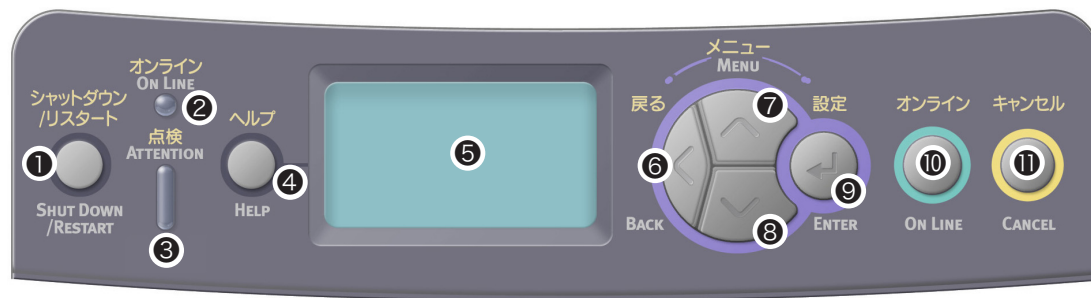
❷ [OKI C830]を選択し、[情報を見る]をクリックし[プリンタ情報]を開きます。

❸ [インストール可能なオプション]を選択します。

❹ [ハードディスク]にチェックを付け、[変更を適用]をクリックします。

❺ [プリンタ情報] を閉じます。

2 操作パネルとメニューについて

操作パネル

番　号	名　称	説　明
❶	シャットダウン / リスタートボタン	プリンタの電源を切りたいときや再起動したいときに押します。
❷	オンラインランプ	点灯：印刷できる状態です。 点滅：データを受信中です。 消灯：データを受信できない状態です。（オフライン）
❸	点検ランプ	通常は消灯しています。 点灯：エラーが発生していますが、印刷できます。 点滅：エラーが発生していて印刷できません。
❹	ヘルプボタン	表示部に [ヘルプ] と表示しているときに押すと、エラーの解除方法を表示します。
❺	表示部	プリンタの状態を表示します。
❻	戻るボタン	メニューモード中、前の画面に戻りたいときに押します。
❼ , ❽	メニュー選択ボタン	メニューモードに入り、表示内容を上下に進めます。
❾	設定ボタン	メニューモード中、表示した項目や値を確定します。
❿	オンラインボタン	印刷できる状態（オンライン）とオフラインを切り替えます。
⓫	キャンセルボタン	印刷をキャンセルしたいときや、メニューモードを抜けたいときに押します。

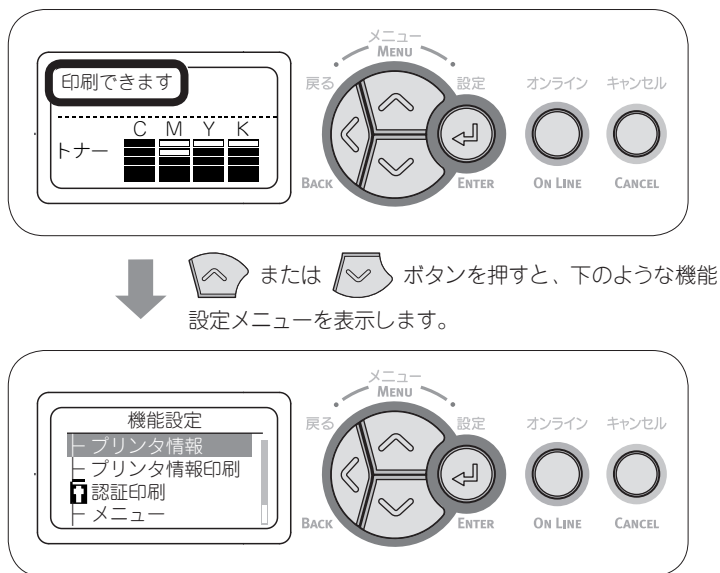
操作パネルのメニュー一覧

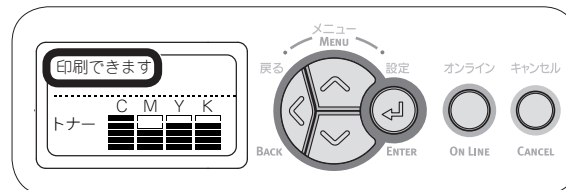
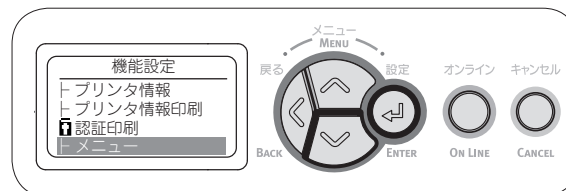
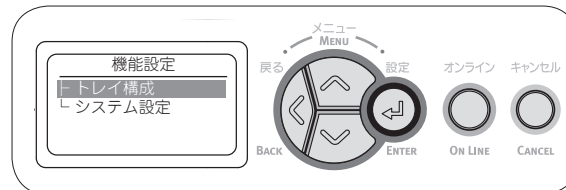
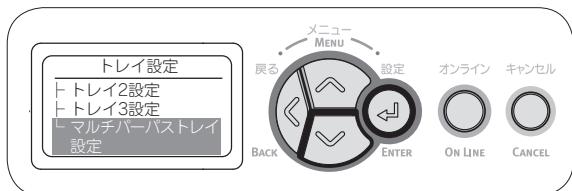
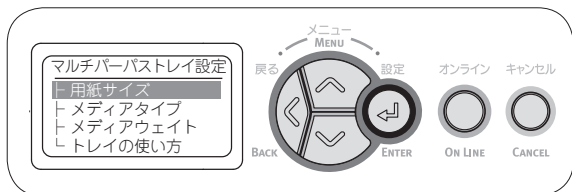
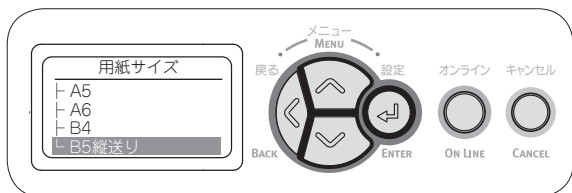
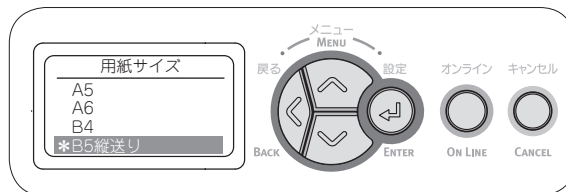
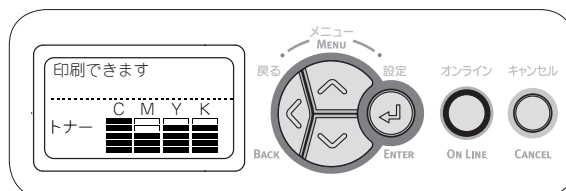
操作パネルを使って、消耗品の残量を確認したり、現在の設定を印刷したり、色の調整を行ったりします。

操作パネルで設定できる項目は、49 ページをご覧ください。

操作パネルの操作方法は、以下をご覧ください。

操作方法

または ボタンを押すと、下のような機能設定メニューを表示します。

ここでは、マルチパーパストレイの用紙サイズを B5 縦送りに設定する場合を例に説明します。

❶ 操作パネルに［印刷できます］と表示されていることを確認します。

❷ ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❸［トレイ構成］が選択されているので、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❺［用紙サイズ］が選択されているので、設定ボタンを押します。

❻ 、ボタンで設定する用紙サイズを選択し、設定ボタンを押します。ここでは、［B5 縦送り］を選択した場合を例にしています。

❼ 設定したサイズの左側に＊が付いていることを確認します。

❽ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

これで完了です。

操作パネルに表示されるメニューの一覧表です。メニューの設定方法は、「2 章 操作パネル」の「操作方法」（47 ページ）をご覧ください。

機能設定メニュー

プリンタ情報

項　目		設定値	機　能
印刷枚数	トレイ1	xxxxxx	トレイ1から給紙した用紙の枚数を表示します。
	トレイ2*	xxxxxx	各トレイから給紙した用紙の枚数を表示します。 *: オプションのトレイ2、トレイ3装着時に表示されます。
	トレイ3*	xxxxxx	
	マルチパーパストレイ	xxxxxx	マルチパーパストレイから給紙した用紙の枚数を表示します。
消耗品残量	シアンドラム	残り xxx%	シアンドラムの残寿命を%表示します。
	マゼンタドラム	残り xxx%	マゼンタドラムの残寿命を%表示します。
	イエロードラム	残り xxx%	イエロードラムの残寿命を%表示します。
	ブラックドラム	残り xxx%	ブラックドラムの残寿命を%表示します。
	ベルト	残り xxx%	ベルトユニットの残寿命を%表示します。
	定着器	残り xxx%	定着器ユニットの残寿命を%表示します。
	シアントナー（xxK）*	残り xxx%	トナーの残量を%表示します。 *: 取り付けているトナーカートリッジの種類によって変わります。 （2.3K）: スタータートナーカートリッジ （7.0K）: 標準トナーカートリッジ （2.5K）: トナーカートリッジ Sタイプ
	マゼンタトナー（xxK）*	残り xxx%	
	イエロートナー（xxK）*	残り xxx%	
	ブラックトナー（xxK）*	残り xxx%	
ネットワーク	プリンタ名*	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	"Printer Name"（DNSやNetwork PnPで使用するPrinter Name）を表示します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]が[有効]のときに表示されます。
	ショートプリンタ名*	xxxxxxxxxxxxxxx	"Short Printer Name"（NetBEUI Computer Nameで使用されるPrinter Name）を表示します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定] の [TCP/IP] および [NetBEUI] のどちらかが [有効] のときに表示されます。

項　目		設定値	機　能
ネットワーク	IPアドレス*	xxx.xxx.xxx.xxx	IPアドレスを表示します。 IPアドレス設定が自動でIPアドレスが自動取得できなかった場合、「192.168.100.100」が表示されます。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]が[有効]のときに表示されます。
	サブネットマスク*	xxx.xxx.xxx.xxx	サブネットマスクを表示します。 IPアドレス設定が自動でIPアドレスが自動取得できなかった場合、「255.255.255.0」が表示されます。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]が[有効]のときに表示されます。
	ゲートウェイアドレス*	xxx.xxx.xxx.xxx	ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを表示します。 IPアドレス設定が自動でIPアドレスが自動取得できなかった場合、「0.0.0.0」が表示されます。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]が[有効]のときに表示されます。
	MACアドレス	xx:xx:xx:xx:xx:xx	MACアドレス（イーサネットアドレス）を表示します。
	Network FWバージョン	xx.xx	ネットワークファームウェアのバージョンを表示します。
	Web Remoteバージョン	xx.xx	Webページのバージョンを表示します。
システム情報	プリンタシリアル番号	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	プリンタのシリアル番号を表示します。
	プリンタ管理番号	xxxxxxxx	プリンタ管理番号を表示します。 プリンタ管理番号とはユーザがプリンタ管理用に割り当てることのできる8文字の英数字です。
	CU バージョン	xx.xx	CU(Control Unit)ファームウェアの版数を表示します。
	PU バージョン	xx.xx.xx	PU(Print Unit)ファームウェアの版数を表示します。
	メモリ容量	xx MB	RAMのサイズを表示します。
	フラッシュメモリ情報	xx MB [Fxx]	フラッシュメモリのサイズを表示します。
	ハードディスク情報	xx.xx GB [Fxx]	ハードディスクのサイズを表示します。 *: オプションの内蔵ハードディスク装着時に表示されます。

プリンタ情報印刷

項　目		設定値	機　能
設定内容		印刷実行	メニュー設定値などの情報を印刷します。(設定内容印刷)
ネットワーク		印刷実行	ネットワークに関する情報を印刷します。
デモページ	DEMO1	印刷実行	デモ印刷を行います。
ファイルリスト		印刷実行	ファイルリストを印刷します。
PSフォントリスト		印刷実行	PSのフォントリストを印刷します。
PCLフォントリスト		印刷実行	PCLエミュレーションのフォントリストを印刷します。
印刷集計結果*		印刷実行	印刷利用状況の集計結果を印刷します。 *: [Print Statistics Menu] - [Usage Report] が Enable のときに表示されます。
エラーログ		印刷実行	エラーログを印刷します。
カラープロファイルリスト		印刷実行	カラープロファイルリストを印刷します。

認証印刷

項　目		設定値	機　能
暗号ジョブ	パスワード入力	******	暗号化認証印刷を行うためのパスワードを入力します。 *: オプションの内蔵ハードディスク装着時に表示されます。
	暗号ジョブ	ジョブがありません	印刷するデータがないときに表示します。
		印刷実行 削除	[印刷実行] を選択し、「設定」ボタンを押すと、印刷します。 [削除] を選択すると、確認画面を表示します。
保存ジョブ	パスワード入力	******	認証印刷を行うためのパスワードを入力します。 *: オプションの内蔵ハードディスク装着時に表示されます。
	保存ジョブ	ジョブがありません	印刷するデータがないときに表示します。
		印刷実行 削除	[印刷実行] を選択し、「設定」ボタンを押すと、印刷します。 [削除] を選択すると、確認画面を表示します。

メニュー

項　目			設定値	機　能
トレイ構成	給紙トレイ		トレイ1 トレイ2* トレイ3* マルチパーパストレイ	給紙トレイを指定します。 *: オプションのトレイユニット装着時に表示されます。
	自動トレイ切替		オン オフ	自動トレイ切り替え機能を設定します。
	トレイ選択順序		下方向 上方向 給紙トレイ	自動トレイ選択/自動トレイ切り換え時の、選択順序を設定します。
	表示単位		インチ ミリメートル	カスタム用紙サイズの単位を指定します。
	トレイ1設定	用紙サイズ	カセットサイズ カスタム	トレイ1の用紙を設定します。
		用紙幅*	105 ミリメートル ~ 210 ミリメートル ~ 297 ミリメートル	トレイ1のカスタム用紙の用紙幅を設定します。幅とは用紙走行方向に対して垂直方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ1設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。
		用紙長*	148 ミリメートル ~ 297 ミリメートル ~ 431 ミリメートル	トレイ1のカスタム用紙の用紙長さを設定します。 長さとは用紙走行方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ1設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。
		メディアタイプ	普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 ユーザータイプ1 ~ ユーザータイプ5	トレイ1の用紙種別を設定します。 ユーザータイプ1~5は、登録されている場合のみ表示されます。
		メディアウェイト	普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙	トレイ1の用紙厚を設定します。

項　目			設定値	機　能
トレイ構成	トレイ1設定	リーガル用紙	リーガル14 リーガル13.5 リーガル13	トレイ1のリーガル用紙サイズを設定します。
	トレイ2設定* *: オプションのトレイ装着時に表示されます。	用紙サイズ	カセットサイズ カスタム	トレイ2の用紙を設定します。
		用紙幅*	148 ミリメートル ~ 210 ミリメートル ~ 297 ミリメートル	トレイ2のカスタム用紙の用紙幅を設定します。 幅とは用紙走行方向に対して垂直方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ2設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。
		用紙長*	182 ミリメートル ~ 297 ミリメートル ~ 431 ミリメートル	トレイ2のカスタム用紙の用紙長さを設定します。 長さとは用紙走行方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ2設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。
		メディアタイプ	普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 ユーザータイプ1 ~ ユーザータイプ5	トレイ2の用紙種別を設定します。 ユーザータイプ1~5は、登録されている場合のみ表示されます。
		メディアウェイト	普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙1	トレイ2の用紙厚を設定します。
		リーガル用紙	リーガル14 リーガル13.5 リーガル13	トレイ2のリーガル用紙サイズを設定します。

項　目			設定値	機　能
トレイ構成	トレイ3設定* *: オプションのトレイ装着時に表示されます。	用紙サイズ	カセットサイズ カスタム	トレイ3の用紙を設定します。
		用紙幅*	148 ミリメートル ~ 210 ミリメートル ~ 297 ミリメートル	トレイ3のカスタム用紙の用紙幅を設定します。 幅とは用紙走行方向に対して垂直方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ3設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。
		用紙長*	182 ミリメートル ~ 297 ミリメートル ~ 431 ミリメートル	トレイ3のカスタム用紙の用紙長さを設定します。 長さとは用紙走行方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ3設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。
		メディアタイプ	普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 ユーザータイプ1 ~ ユーザータイプ5	トレイ3の用紙種別を設定します。 ユーザータイプ1~5は、登録されている場合のみ表示されます。
		メディアウェイト	普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙1	トレイ3の用紙厚を設定します。
		リーガル用紙	リーガル14 リーガル13.5 リーガル13	トレイ3のリーガル用紙サイズを設定します。

項目			設定値	機能
トレイ構成	マルチパーパストレイ設定	用紙サイズ	A3 A4縦送り A4横送り A5 A6 B4 B5縦送り B5横送り リーガル14 リーガル13.5 リーガル13 レター縦送り レター横送り エグゼクティブ カスタム Com-10 Envelope DL Envelope C5 C4 はがき 往復はがき 封筒 長形3号 封筒 洋形0号 封筒 洋形4号 封筒 角形2号 封筒 角形3号	マルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。
		用紙幅*	64 ミリメートル ∫ 210 ミリメートル ∫ 297 ミリメートル	マルチパーパストレイのカスタム用紙の用紙幅を設定します。 幅とは用紙走行方向に対して垂直方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [マルチパーパストレイ設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。
		用紙長*	105 ミリメートル ∫ 297 ミリメートル ∫ 1320ミリメートル	マルチパーパストレイのカスタム用紙の用紙長さを設定します。 長さとは用紙走行方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [マルチパーパストレイ設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。

項目			設定値	機能
トレイ構成	マルチパーパストレイ設定	メディアタイプ	普通紙 レターヘッド ラベル紙 ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 ユーザータイプ1 ∫ ユーザータイプ5	マルチパーパストレイの用紙種別を設定します。 ユーザータイプ1～5は、登録されている場合のみ表示されます。
		メディアウェイト	普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙1 ごく厚い紙2	マルチパーパストレイの用紙厚を設定します。
		トレイの使い方	用紙違いの時 使用しない	マルチパーパストレイの使い方を設定します。 用紙違いの時： 用紙違い（トレイの用紙サイズ／メディアタイプが印刷データと不一致）が発生した場合、指定トレイではなく、マルチパーパストレイに用紙要求を出します。 使用しない： 自動トレイ選択／自動トレイ切り換えの両方でマルチパーパストレイを使用不可とします。 ただし、[機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [給紙トレイ] で [マルチパーパストレイ] が指定されている場合は、「使用しない」が選択されていても、動作は「トレイとして」が選択されているのと同様になります（マルチパーパストレイを自動トレイに使用）。

項　目		設定値	機　能
システム設定	パワーセーブ移行時間	1 分 3 分 5 分 15 分 30 分 60 分 240 分	パワーセーブモードに移行するまでの時間を設定します。
	アラーム解除	オンライン ジョブ	クリア可能なワーニングの表示消去タイミングを設定します。
	エラー自動解除	オン オフ	メモリオーバーフロー、トレイリクエスト発生時、自動的にプリンタを復旧させるか否かを設定します。
	マニュアルタイムアウト	オフ 30 秒 60 秒	手差し印刷時の用紙供給を待つ時間を設定します。 この指定時間内に用紙がセットされない場合は、ジョブをキャンセルします。
	タイムアウト印刷	オフ 5 秒 10 秒 20 秒 30 秒 40 秒 50 秒 60 秒 90 秒 120 秒 150 秒 180 秒 210 秒 240 秒 270 秒 300 秒	データを受信しなくなってから強制印刷を行うまでの時間を設定します。 PSの場合、印刷は実行せずジョブキャンセルされます。
	トナーロー時の印刷	継続 中止	トナーロー検出時のプリンタ動作を設定します。 ［継続］時はオンラインのままで印刷継続可能です。 ［中止］時はオフラインになります。
	ジャムリカバー	オン オフ	ジャム時にリカバリ印刷を行うかを設定します。 ［オフ］時は発生したページを含むジョブをキャンセルします。
	エラーレポート	オン オフ	内部エラー発生時にエラーレポートを印刷するか設定します。PS, PCLXLに対してだけ有効。

項　目			設定値	機　能
システム設定	印刷位置補正	X補正	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ⟆ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ⟆ -0.25 ミリメートル	印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に垂直な方向（横方向）に補正します（0.25mm間隔）。
		Y補正	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ⟆ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ⟆ -0.25 ミリメートル	印刷イメージ全体の位置を用紙の印刷走行方向（縦方向）に補正します（0.25mm間隔）。
		両面印刷X補正	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ⟆ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ⟆ -0.25 ミリメートル	両面印刷時の裏面印刷時に印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に垂直な方向（横方向）に補正します（0.25mm間隔）。
		両面印刷Y補正	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ⟆ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ⟆ -0.25 ミリメートル	両面印刷時の裏面印刷時に印刷イメージ全体の位置を用紙の印刷走行方向（縦方向）に補正します（0.25mm間隔）。 PSではマイナス方向は無効。
	普通紙ブラック設定		0 +1 +2 -2 -1	普通紙使用時のブラックの見た目の弱さやわずかにシミ・スジといったものが目立ってきた場合に微調整を行う機能です。わずかなシミ・スジ、および濃度の高い部分が薄く印刷される場合には値を下げます。
	普通紙カラー設定		0 +1 +2 -2 -1	普通紙使用時のカラーの見た目の弱さやわずかにシミ・スジといったものが目立ってきた場合に微調整を行う機能です。わずかなシミ・スジ、および濃度の高い部分が薄く印刷される場合には値を下げます。

項　目		設定値	機　能
システム設定	SMR 設定	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	画質にむらがある場合に値を変更します。
	BG 設定	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	下地が濃い場合に値を変更します。
	ドラムクリーニング	オン オフ	横白筋を軽減するため印刷前にドラム空まわしを行なうかどうかを設定します。
	ヘキサダンプ	実行	受信したデータを16進数の形式で印刷出力します。

管理者用メニュー

項　目		設定値	機　能
パスワード入力		xxxxxxxxxxxx	管理者用メニューに入るためのパスワードを入力します。パスワードは6～12桁の数字および英小文字で、初期値は“aaaaaa”です。
ネットワーク設定	TCP/IP	有効 無効	TCP/IPプロトコルの有効/無効を設定します。
	IPバージョン*	IP v4 IP v4+v6 IP v6	IPのバージョンを設定します。 *［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］の時に表示されます。
	NetBEUI	有効 無効	NetBEUIプロトコルの有効/無効を設定します。
	NetWare	有効 無効	NetWareプロトコルの有効/無効を設定します。

項　目		設定値	機　能
ネットワーク設定	EtherTalk	有効 無効	EtherTalkプロトコルの有効/無効を設定します。
	フレームタイプ*	自動 802.2 802.3 Ethernet II SNAP	NetWareで使用するフレームタイプを設定します。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［NetWare］が［有効］のときに表示されます。
	IPアドレス設定*	自動 手動	IPアドレスの設定方法を設定します。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］のときに表示されます。
	IPアドレス*	xxx.xxx.xxx.xxx	IPアドレスを設定します。 IP アドレス設定が自動でIPアドレスが自動取得できなかった場合、「192.168.100.100」が表示されます。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］のときに表示されます。
	サブネットマスク*	xxx.xxx.xxx.xxx	サブネットマスクを設定します。IPアドレス設定でIPアドレスが自動取得できなかった場合、「255.255.255.0」が表示されます。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］のときに表示されます。
	ゲートウェイアドレス*	xxx.xxx.xxx.xxx	ゲートウェイ(デフォルトルータ)アドレスを設定します。IPアドレス設定が自動でIPアドレスが自動取得できなかった場合、「0.0.0.0」が表示されます。 0.0.0.0はルータ無しを意味します。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］のときに表示されます。
	Web*	有効 無効	Webの有効/無効を設定します。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］のときに表示されます。
	Telnet*	有効 無効	Telnetの有効/無効を設定します。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］のときに表示されます。

項　目		設定値	機　能
ネットワーク設定	FTP*	有効 無効	FTPの有効/無効を設定します。 *: ［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］のときに表示されます。
	SNMP*	有効 無効	SNMPの有効/無効を設定します。 *: ［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］の［TCP/IP］および［NetWare］のどちらかが［有効］のときに表示されます。
	ネットワークの規模	普通 小規模	［普通］の時は、スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合でも効率良く動作します。但し、コンピュータが2, 3台の小さなLANに接続すると、プリンタの起動時間が長くなります。［小規模］の時は、コンピュータが2, 3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合に効率良く動作出来ない場合があります。
	ハブとの接続	自動 100Base-TX Full 100Base-TX Half 10Base-T Full 10Base-T Half	ハブとの接続方法を設定します。
	工場出荷時設定	実行	ネットワークメニューの初期化を行うかを指定します。
印刷設定	動作モード	自動 PostScript PCL	プリンタ言語を選択します。
	コピー枚数	1 〜 999	コピー枚数を設定します。 ローカル印刷には、デモデータを除き、本設定は効きません。
	両面印刷	オン オフ	両面印刷を指定します。
	綴じ方*	長辺綴じ 短辺綴じ	両面印刷の綴じ方を指定します。 *: ［機能設定］-［管理者用メニュー］-［印刷設定］-［両面印刷］が［オン］のときに表示されます。
	用紙チェック	有効 無効	印刷データの用紙サイズとトレイの用紙サイズの不整合をチェックするか否かを設定します。定型サイズの用紙のみがチェック対象です。

項　目		設定値	機　能
印刷設定	解像度	600dpi 600x1200dpi 600dpi multi-level	解像度を設定します。
	トナーセーブモード	オン オフ	トナーセーブのオン/オフを設定します。
	モノクロ印刷速度	自動 モノクロ印刷速度優先 カラー印刷速度優先 ID寿命優先	モノクロページの印刷速度を設定します。［自動］の場合、最適な印刷速度で印刷を行います。「モノクロ印刷速度優先」は、モノクロの大量印刷に適したモードです。「カラー印刷速度優先」は、モノクロとカラーの切替えの早いモードですが、ドラム寿命が短くなります。「ID寿命優先」は、モノクロとカラーの切替えに時間がかかりますが、ドラム寿命を延ばすことができます。
	印刷方向	縦 横	印刷方向を設定します。 PSには無効です。
	1ページ行数	5 行 〜 64 行 〜 128 行	1ページに印字可能な行数を設定します。 PSには無効です。左記の初期値は、A4での値です。実際にはトレイにセットされている用紙サイズに連動して値が変わります。

項　目		設定値	機　能
印刷設定	編集サイズ	カセットサイズ A3 A4縦送り A4横送り A5 A6 B4 B5縦送り B5横送り リーガル14 リーガル13.5 リーガル13 レター縦送り レター横送り エグゼクティブ カスタム Com-10 Envelope DL Envelope C5 C4 はがき 往復はがき 封筒 長形3号 封筒 洋形0号 封筒 洋形4号 封筒 角形2号 封筒 角形3号	ホストから用紙編集サイズ指定コマンドによるサイズ指定がなかった場合に描画する領域のサイズを設定します。 PSには無効です。
	用紙幅	64 ミリメートル 〳 210 ミリメートル 〳 297 ミリメートル	カスタム用紙の用紙幅の初期値を設定します。幅とは用紙走行方向に対して垂直方向です。
	用紙長	105 ミリメートル 〳 297 ミリメートル 〳 1321 ミリメートル	カスタム用紙の用紙長さの初期値を設定します。長さとは用紙走行方向です。

項　目		設定値	機　能
PS設定	Networkプロトコル	ASCII RAW	ネットワークからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。(RAWモード時、Ctrl-Tは無効になります)
	パラレルプロトコル	ASCII RAW	パラレルからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。(RAWモード時、Ctrl-Tは無効になります)
	USBプロトコル	ASCII RAW	USBからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。(RAWモード時、Ctrl-Tは無効になります)
PCL設定	使用フォント	内蔵フォント 内蔵フォント2 ダウンロードフォント	PCLデフォルトフォントのロケーションを指定します。
	フォントNo.	IO C0 S1	PCLフォント番号を設定します。
	フォントピッチ	0.44　CPI 〳 10.00 CPI 〳 99.99 CPI	PCLデフォルトフォントの幅を設定します。CPIは、1インチあたりの文字数を表します。
	フォントサイズ	4.00 ポイント 〳 12.00 ポイント 〳 999.75 ポイント	PCLデフォルトフォントの高さを設定します。［フォントNo.］で選択されたフォントが比例スペーシングのスケーラブルフォントである場合のみ表示します。

項目			設定値	機能
PCL設定	シンボルセット		PC-8 PC-8 Dan/Nor PC-8 Grk PC-8 TK PC-775 PC-850 PC-851 Grk PC-852 PC-855 PC-857 TK PC-858 PC-862 Heb PC-864 L/A PC-866 PC-866 Ukr PC-869 PC-1004 Pi Font Plska Mazvia PS Math PS Text Roman-8 Roman-9 Roman Ext Serbo Croat1 Serbo Croat2 Spanish Ukrainian VN Int'l VN Math VN US Win 3.0 Win 3.1 Arb Win 3.1 L/G Win 3.1 Blt Win 3.1 Cyr Win 3.1 Grk Win 3.1 Heb Win 3.1 L1 Win 3.1 L2 Win 3.1 L5 Wingdings Dingbats MS Symbol OCR-A OCR-B OKI-OCRB	PCLのシンボルセットを設定します。

項目		設定値	機能
PCL設定	シンボルセット	HP ZIP USPSFIM USPSSTP USPSZIP Arabic-8 Bulgarian CWI Hung DeskTop German Greek-437 Greek-437 Cy Greek-737 Greek-8 Greek-928 Hebrew NC Hebrew OC Hebrew-7 Hebrew-8 IBM-437 IBM-850 IBM-860 IBM-863 IBM-865 ISO Dutch ISO L1 ISO L2 ISO L4 ISO L5 ISO L6 ISO L9 ISO Swedish1 ISO Swedish2 ISO Swedish3 ISO-2 IRV ISO-4 UK ISO-6 ASC ISO-10 S/F ISO-11 Swe ISO-14 JASC ISO-15 Ita ISO-16 Por ISO-17 Spa ISO-21 Ger ISO-25 Fre ISO-57 Chi ISO-60 Nor ISO-61 Nor	PCLのシンボルセットを設定します。

項目		設定値	機能
PCL設定	シンボルセット	ISO-69 Fre ISO-84 Por ISO-85 Spa ISO-Cyr ISO-Grk ISO-Hebrew Kamenicky Legal Math-8 MC Text MS Publish PC Ext D/N PC Ext US PC Set1 PC Set2 D/N PC Set2 US WIN3.1J	PCLのシンボルセットを設定します。
	A4印字幅	78 桁 80 桁	PCLでA4用紙の自動改行する桁数設定します。但し、10CPIのキャラクタで、自動復帰改行モードOFFの場合の数値です。
	白紙ページ除外	オン オフ	PCLでFFコマンド(0CH)を受信時に、印刷するデータが無いページ(白紙)を印刷しないようにすることができます。 ［オフ］で印刷します。
	CR動作	CRのみ CR+LF	PCLでCRコード受信時の動作を設定します。 CRは復帰です。 CR+LFは復帰改行です。
	LF動作	LFのみ LF+CR	PCLでLFコード受信時の動作を設定します。 LFは改行です。 LF+CRは改行復帰です。
	印刷領域	ノーマル 1/5 インチ 1/6 インチ	用紙の印刷不可能領域を設定します。
	イメージ黒選択	単色黒 混合黒	イメージデータの黒をCMYK混色で印刷するかブラックトナーのみで印刷するかを設定します。 PSには無効です。
	ペン幅補正	オン オフ	細い線を見えるように補正します。 PSには無効です。

項目			設定値	機能
PCL設定	トレイ ID#	トレイ2*	1 〜 5 〜 59	PCL5の給紙先指定コマンド(ESC&l#H)において、トレイ2指定の番号を設定します。 *: オプションのトレイユニット装着時のみ表示されます。
		トレイ3*	1 〜 20 〜 59	PCL5の給紙先指定コマンド(ESC&l#H)において、トレイ3指定の番号を設定します。 *: オプションのトレイユニット装着時のみ表示されます。
		マルチパーパストレイ	1 〜 4 〜 59	PCL5の給紙先指定コマンド(ESC&l#H)において、マルチパーパストレイ指定の番号を設定します。
カラー設定	インクシミュレーション		オフ SWOP Euroscale Japan	プリンタで標準印刷色をシミュレートします。本機能はPS言語ジョブに対してのみ有効です。
	UCR		少ない 普通 多い	カラー印刷するときの墨版(黒)の量を選択できます。墨版の量を多くすると他の3色のトナー量の節約にもなります。
	CMY100%濃度		有効 無効	CMY100%階調値に対する100%出力を有効とするかどうかを選択します。
	CMYK変換		オン オフ	［オフ］の場合、PostScript印刷でCMYKデータの変換処理を簡易に行い、処理時間を短くできます。
メモリ設定	受信バッファサイズ		自動 0.5 MB 1 MB 2 MB 4 MB 8 MB 16 MB 32 MB*	受信バッファサイズを設定します。 *: メモリ容量により表示されない設定値があります。

項目			設定値	機能
メモリ設定	リソースセーブエリア		自動 オフ 0.5 MB 1 MB 2 MB 4 MB 8 MB 16 MB 32 MB*	フォントキャッシュエリアのサイズを設定します。 *: メモリ容量により表示されない設定値があります。
フラッシュメモリ設定*3	初期化		実行	フラッシュメモリを初期化します。
ハードディスク設定*4	初期化		実行	HDDを工場出荷状態に初期化します。
	パーティション変更	PCL xx%	xx %	パーティションのサイズを設定します。
		共通 xx%	xx %	
		PS xx%	xx %	
		＜適用＞		
	フォーマット		PCL 共通 PS	指定パーティションのフォーマットを行います。
システム設定	ニアライフ時のステータス		有効 無効	ドラム、定着器、ベルトのニアライフワーニング発生時のLCD表示制御の設定を行います。
	ニアライフ時のLED		有効 無効	トナー、ドラム、定着器、ベルトのニアライフワーニング発生時のLED点灯制御の設定を行います。
パスワード変更	新しいパスワード		xxxxxxxxxxxx	[管理者用メニュー] に入るための新しいパスワードを設定します。
	パスワードの再入力		xxxxxxxxxxxx	[新しいパスワード] で設定した、[管理者用メニュー] メニューに入るための新しいパスワードを確認入力します。
設定値	出荷時に戻す		実行	CUのEEPROMをリセットします。ユーザメニュー設定を工場出荷時状態に戻します。
	設定の保存		実行	現在のメニュー設定を保存します。
	設定の呼び出し		実行	保存しているメニュー設定に変更します。

*3 [Boot Menu]-[Storage Setup]-[Enable Initialization]が[Yes]のときに表示されます。
*4 [Boot Menu]-[Storage Setup]-[Enable Initialization]が[Yes]で、オプションの内蔵ハードディスク装着時に表示されます。

プリンタ調整

項目		設定値	機能
自動濃度補正モード		オン オフ	濃度補正と階調補正を自動で行うかを選択します。 オンの場合：エンジンが規定する所定の条件で自動的に濃度補正を実行し、階調補正に反映します。 オフの場合：自動的に濃度補正を行いません。濃度補正を行いたいときは、[濃度補正] メニューを選択し、実行します。
濃度補正		実行	実行を選択すると、濃度補正行います。 プリンタが処理を行っていないときに実行してください。
色ずれ補正		実行	このメニューを選択すると、プリンタは自動色ずれ補正動作を実行します。 プリンタが処理を行っていないときに実行してください。
調整パターン印刷		実行	カラー調整のためのパターンを印刷します。
シアン調整	Highlight	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンのハイライト部(薄い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンのダーク部(濃い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。

項目		設定値	機能
マゼンタ調整	Highlight	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタのハイライト部(薄い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタのダーク部(濃い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
イエロー調整	Highlight	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローのハイライト部(薄い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローのダーク部(濃い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
ブラック調整	Highlight	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックのハイライト部(薄い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックのダーク部(濃い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
シアン濃度		+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの濃度を調整します。

項　目	設定値	機　能
マゼンタ濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの濃度を調整します。
イエロー濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの濃度を調整します。
ブラック濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの濃度を調整します。

Print Statistics Menu

Print Statistics Menu とは、印刷集計メニューのことです。

Print Statistics Menu を表示するには、 ボタンを押しながら、電源スイッチを入れます。

項　目	設定値	機　能
Enter Password	****	印刷集計メニューに入るためのパスワードを入力します。 初期値は"0000"です。
Usage Report	Enable Disable	印刷集計結果の印刷有効/無効を設定します。
Group Counter	Enable Disable	印刷集計結果のグループカウンタの有効/無効を設定します。
Supplies Report	Enable Disable	印刷集計結果の消耗品交換回数の有効/無効を設定します。
Reset Main Counter	Execute	印刷集計結果のメインカウンタをリセットします。
Reset Group Counter	Execute	印刷集計結果のグループカウンタをリセットします。
Reset Supplies Counter	Execute	印刷集計結果の消耗品交換回数をリセットします。
Change Password		パスワードを変更します。 *: ［Print Statistics］ - ［Usage Report］ が Enableのとき表示されます。
New Password	****	［印刷集計］ メニューに入るための新しいパスワードを設定します。
Verify Password	****	［New Password］ で設定した、［印刷集計］ メニューに入るための新しいパスワードを確認入力します。

2 操作パネルのメニュー一覧

Boot Menu

プリンタのシステム設定を変更することができます。
プリンタのシステム管理者の方のみ使用してください。
Boot Menu を表示するには、設定ボタンを押しながら、電源スイッチを入れます。

メモ Boot Menu を表示するには､パスワードの入力が必要です。パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

分類	項目	設定値	機能
	Enter Password	************	Boot Menuに入るためのパスワードを入力します。パスワードは、6～12桁の数字および英小文字で、初期値は“aaaaaa”です。
Parallel Setup	Parallel	Enable Disable	パラレルインタフェースの有効/無効を設定します。
	Bi-Direction	Enable Disable	パラレルインタフェースの双方向の有効/無効を設定します。
	ECP	Enable Disable	ECPモードの有効/無効を設定します。
	Ack Width	Narrow Medium Wide	コンパチ受信時のACK幅を設定します。 NARROW = 0.5μs MEDIUM = 1.0μs WIDE = 3.0μs
	Ack/Busy Timing	Ack in Busy Ack while Busy	コンパチ受信時のBUSY信号とACK信号の出力順序を設定します。
	I-Prime	3 microseconds 50 microseconds Disable	I- PRIME信号の有効時間/無効を設定します。
	Offline Receive	Enable Disable	アラームが発生してもI/F信号を変化させずに、受信可の状態を保つ機能の有効/無効を設定します。
USB Setup	USB	Enable Disable	USBインタフェースの有効/無効を設定します。
	Speed	480Mbps 12Mbps	USBインタフェースの最大転送速度を設定します。
	Soft Reset	Enable Disable	Soft Reset コマンドの有効/無効を設定します。
	Offline Receive	Enable Disable	アラームが発生してもI/F信号を変化させずに、受信可の状態を保つ機能の有効/無効を設定します。
	Serial Number	Enable Disable	USBシリアルナンバーの有効/無効を指定します。
Security Setup	Job Limitation	Off Encrypted Job	受け付けるジョブを制限します。暗号化認証印刷のみ受け付けます。 オプションの内蔵ハードディスク装着時に表示します。
	Reset Cipher Key	Execute	暗号化ハードディスクで使用される暗号鍵を再生成します。 オプションの内蔵ハードディスク装着時で、暗号化ハードディスク機能が有効なときに表示します。
Storage Setup	Check File System	Execute	ファイルシステムの実(空き)容量と表示空き容量の不整合の解決と管理データ(FAT情報)の修復を行います。
	Check All Sectors	Execute	HDDのセクタ情報不良の修復と上記ファイルシステムの不整合の修復を行います。
	Enable HDD	No Yes	HDDが破損して装着時に起動不可の場合に、Noに設定することでHDDの有無に関わらず、HDDを未装着扱いで装置起動します。
	Erase HDD	Execute	ハードディスクに格納されている全データを復元できないように消去します。 オプションの内蔵ハードディスク装着時に表示します。
	Enable Initialization *	No Yes	内蔵ハードディスク、フラッシュメモリについて、初期化を伴う変更をできないようにします。
Power Setup	Peak Power Control	Normal Low	低ピーク電力制御を設定します。
	Power Save	Enable Disable	パワーセーブモードの有効/無効を設定します。
	USB Host Power	Off On	パワーセーブモード中のUSB Hostに対しての電力供給を設定します。
Language Setup	Language Initialize	Execute	フラッシュメモリ内のメッセージファイルを消去します。

3 ネットワーク接続で Windows にセットアップします

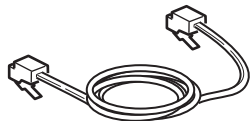
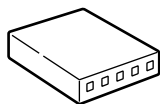
動作環境

- Windows Vista/Vista(x64 版)
  Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
- Windows Server 2008/Server 2008(x64 版)
  Windows Server 2008 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
- Windows XP/XP (x64版)
  Windows XP 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
- Windows Server 2003/Server 2003 (x64版)
  Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
- Windows 2000
  Windows 2000 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- PCL XPS プリンタドライバは、Windows XP/Server 2003/2000 ではご利用いただけません。
- プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

ケーブルを接続します

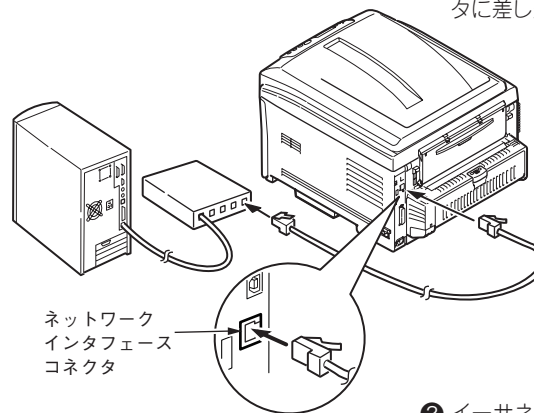
1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉 〈ハブ〉

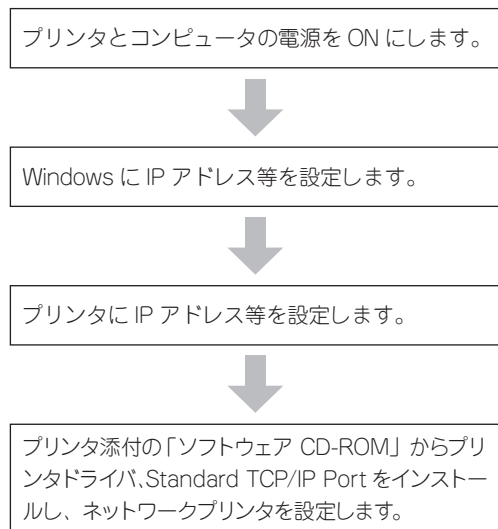
2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

メモ プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」（23 ページ）をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

Windows にセットアップします

セットアップの流れ

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

Windows に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバ、Standard TCP/IP Port をインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

Windows Vista/Server 2008 には、PS プリンタドライバ、PCL プリンタドライバ、PCL XPS プリンタドライバの 3 種類があります。PCL プリンタドライバは、ビジネス文書の印刷に適しています。PS プリンタドライバは、PostScript フォントや EPS データを含んだ文書の印刷に適しています。PCL XPS プリンタドライバは、XPS 対応アプリケーションからの印刷に適しています。

セットアップします

ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上に DHCP サーバ、もしくは BOOTP サーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。
現在のプリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、「設定内容印刷をします」（24 ページ）をご覧ください。

- IP アドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりインターネットに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバ（DHCP など）は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップには管理者の権限が必要です。
- 「セットアップします」の手順は、特に表記がない限り、Windows Vista での操作方法を記載しています。OS によって画面や操作手順が異なる場合があります。

メモ

- プリンタはネットワーク Plug&Play に対応しています。接続しているコンピュータがすべて Windows Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000 の場合や、接続しているルータがネットワーク Plug&Play に対応している場合は、ネットワーク上にサーバが存在しなくても自動的に IP アドレスを設定します。コンピュータとプリンタに IP アドレスを手動で設定する必要はありませんので、「手順 4　プリンタドライバをインストールします」(70 ページ) からセットアップしてください。
- コンピュータ 1 台とプリンタ 1 台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。

コンピュータ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0（使用しません）
DNS	: 使用しません

プリンタ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか（コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTP を使用する	: チェックしない
RARP を使用する	: チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決	: チェックしない
LAN	: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: Windows Vista Home Premium Edition
プリンタ	: C830dn（PCL）
IP アドレス	: 192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 Windows に IP アドレス等を設定します。

すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 3「プリンタに IP アドレス等を設定します」(69 ページ) へ進みます。

❶ Windows を起動します。

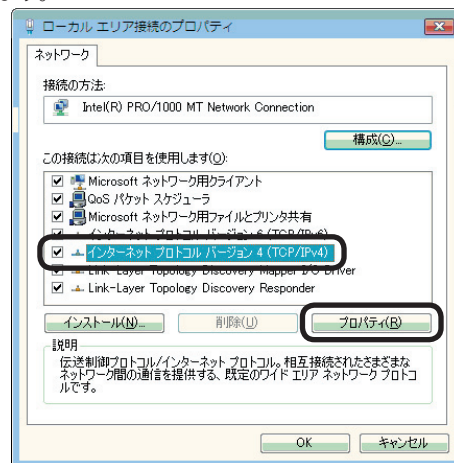
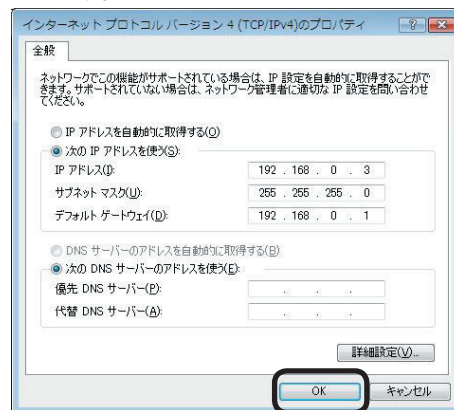
❷ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。
Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークと共有センター］を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークとインターネット接続］-［ネットワーク接続］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［ネットワークと共有センター］を選択します。

3
Windows にセットアップします

❸［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

Windows XP/Server 2003/2000 では、この手順を行う必要がありません。

❹［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、「ローカルエリア接続の状態」画面の［プロパティ］をクリックします。「ユーザアカウント制御」画面が表示されたら［続行］をクリックします。

❺［インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❻ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

- DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。

❼［ローカルエリア接続］を閉じます。

❽［ローカルエリア接続のプロパティ］で［OK］をクリックします。

❾「ローカルエリア接続の状態」画面で［閉じる］をクリックします。

3 プリンタに IP アドレス等を設定します。

メモ すでにプリンタに IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4「プリンタドライバをインストールします」（70 ページ）へ進みます。

❶電源スイッチのオン（I）を押します。

❷操作パネルに［印刷できます］と表示していることを確認します。

❸ ボタンを数回押し、［管理者用メニュー］を選択し、 設定ボタンを押します。

❹パスワード入力画面になるので、 ボタンまたは ボタンで 1 桁目の英小文字または数字を選択し、 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

最後に 設定ボタンを押します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❺ ボタンまたは ボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、 設定ボタンを押します。

❻ ボタンを数回押して［IP アドレス］を選択し、 設定ボタンを押します。

❼ ボタンまたは ボタンを押し、IP アドレスの 1 桁目を設定します。

ボタンを 2 秒以上押すと、早送りします。

❽ 設定ボタンを押します。

❾❼～❽を繰り返し、全ての桁を設定します。

❿ 4 桁目を設定すると設定した値の左側に＊がつきます。

⓫ 戻るボタンを押します。

⓬［IP アドレス］と同様に、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定します。

⓭ オンラインボタンを押します。

プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

［印刷できます］と表示されたら完了です。

4 プリンタドライバをインストールします。

❶ プリンタの電源が ON で、Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［自動再生］が表示されたら、[Startup.exe の実行］をクリックします。

❸［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

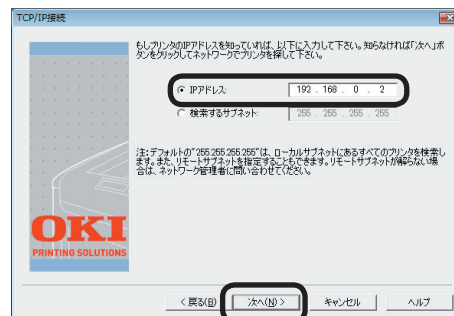
❹「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

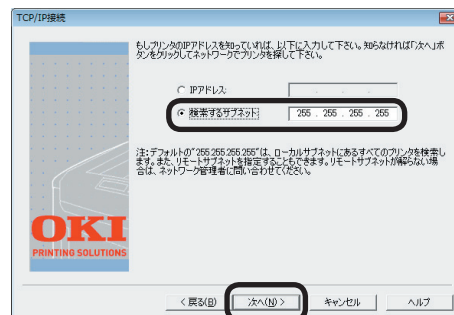
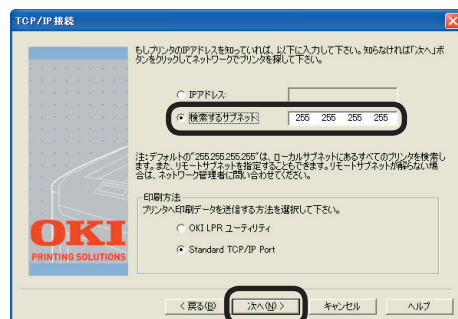
メモ 画面を閉じる場合は、右上の×をクリックします。

❺［ドライバのインストール］をクリックします。

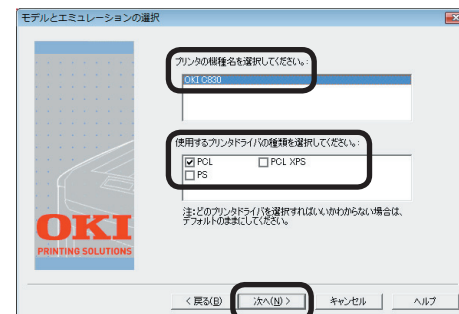
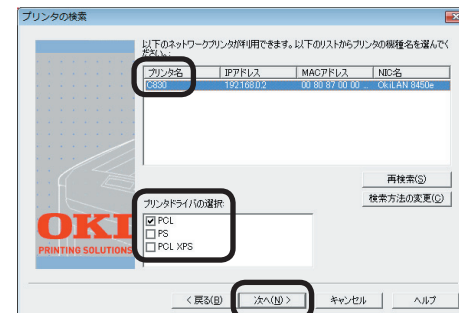
❻［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❼［TCP/IP プロトコル］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽ 手順 3（69 ページ）で設定したプリンタの IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

Windows Vista/Server 2008 の場合

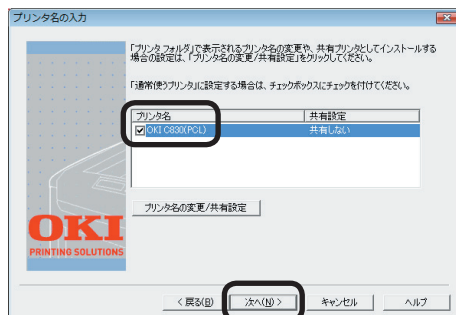
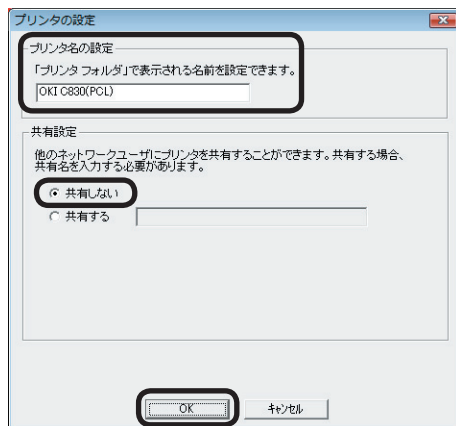
プリンタの IP アドレスが自動取得の場合や、IP アドレスがわからない場合は、［検索するサブネット］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows XP/Server 2003/2000 の場合

メモ

- IP アドレスを自動取得にした場合には、「印刷方法」で OKILPR ユーティリティを選択してください。
- プリントドライバインストール後、OKILPR ユーティリティを起動し、［オプション］-［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］をチェックしてください。（詳細はユーザーズマニュアル（応用編）を参照してください。）

❾ 手順❽でプリンタの IP アドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

手順❽で［検索するサブネット］を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ

- Windows Vista/Server 2008 には、PS プリンタドライバ、PCL プリンタドライバ、PCL XPS プリンタドライバの 3 種類があります。PCL プリンタドライバは、ビジネス文書の印刷に適しています。PS プリンタドライバは、PostScript フォントや EPS データを含んだ文書の印刷に適しています。PCL XPS プリンタドライバは、XPS 対応アプリケーションからの印刷に適しています。
- 複数のプリンタドライバの種類を選択し、同時にインストールすることができます。

⓾ 一覧中のチェックボックスにチェックを付け、［次へ］をクリックします。プリンタ名の変更や、共有設定を行う場合は、［プリンタ名の変更 / 共有設定］をクリックします。

Windows PCL XPS プリンタドライバは、プリンタの共有に対応していません。

⓫ プリンタ名を入力し、［共有しない］を選択し、［OK］をクリックします。

⓬ プリンタドライバと Standard TCP/IP と Network Extension と色見本印刷ユーティリティがインストールされます。
［Windows セキュリティ］画面が表示されたら、［ このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。
Windows XP/Server 2003 の場合で、［ソフトウェアをインストール］画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

⓭「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、「再起動する」を選択し、［完了］をクリックします。Windows が再起動します。

⓮「インストールの完了」画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

⓯［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

メモ
複数のドライバをインストールした場合は、インストールした数分のプリンタアイコンが追加されます。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100M ランプ(緑)/LINK 10M ランプ(緑)を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUS ランプ(橙)を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブの LINK ランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「ハブとの接続」を「10Base-T Half」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ 電源スイッチのオン（I）を押します。

❷ 操作パネルに［印刷できます］と表示したことを確認します。

❸ ボタンを数回押し、［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ パスワード入力画面になるので、ボタンまたは ボタンで 1 桁目の数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

最後に 設定ボタンを押します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❺ ボタンまたは ボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ボタンを数回押して［ハブとの接続］を選択し、設定ボタンを押します。

❼［10Base-T Half］を選択し、設定ボタンを押します。

❽ オンラインボタンを押します。

［印刷できます］と表示されたら完了です。

- ハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重）を「自動切替」から「10Base-T Half」にしてください。（設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

- [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続] を選択します。
  (Windows Vista/Server 2008では[スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークの状態とタスクの表示] - [ネットワーク接続の管理] を選択します。
  Windows Server 2003 では[スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワーク接続] を選択します。
  Windows 2000 では [スタート]-[設定]-[ネットワークとダイアルアップ接続] を選択します。)
  [ローカルエリア接続] をダブルクリックし、[プロパティ] に [インターネットプロトコル (TCP/IP)] が表示されていることを確認します。
- [インターネットプロトコル(TCP/IP)]の[プロパティ]をクリックし、[IP アドレス], [サブネットマスク], [デフォルトゲートウェイ]が正しいことを確認します。
- セットアップ時に IP アドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これは Windows Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000 の仕様によるものです。
- [プリンタと FAX](Windows Vista/2000 は[プリンタ])フォルダから、[OKI C830 (PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択し、[ポート]タブの [ポートの構成]をクリックして [プリンタ名または IP アドレス] が、プリンタの IP アドレスと一致しているか確認します。
- 「OKI LPR ユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IP アドレス]がプリンタの IP アドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPR ユーティリティの最新版は沖データホームページ (http://www.okidata.co.jp) で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦 “OKI LPR ユーティリティを削除” してから最新版をインストールしてください。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IP アドレス]	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

4 USB 接続で Windows にセットアップします

動作環境

● Windows Vista/Vista(x64 版)
Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows Server 2008/Server 2008(x64 版)
Windows Server 2008 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows XP/XP (x64版)
Windows XP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX(PC-9821 を除く)で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows Server 2003/Server 2003 (x64版)
Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

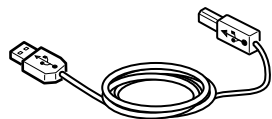
● Windows 2000
Windows 2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

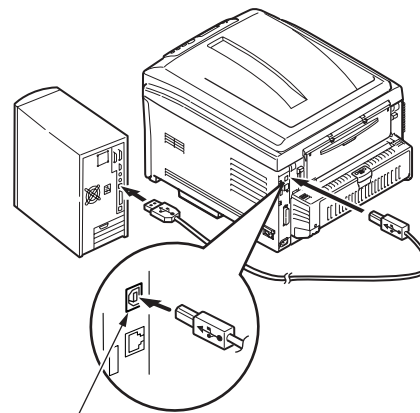
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「****」「****(コピー 1)」「****(コピー 2)」(**** はプリンタ機種名)と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。
- プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。
- PCL XPS プリンタドライバは、Windows XP/Server 2003/2000 ではご利用いただけません。

USB インタフェースケーブルは USB2.0 仕様で長さ 5m 以内(2m 以内を推奨)のものをお使いください。

ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

- プリンタのケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様のケーブルを別途用意してください。
- USB2.0 の「Hi-Speed」モードで接続する場合は、Hi-Speed 仕様の USB ケーブルを使用してください。

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

- プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」（23 ページ）をご覧ください。
- USB ケーブルはコンピュータ、プリンタの電源が ON の状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USB ドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源を OFF にしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USB ケーブルをコンピュータの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

Windows にセットアップします

 管理者の権限が必要です。

以下の説明は Windows Vista Home Premium Edition を例にしています。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

 プリンタの電源が ON になっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、[キャンセル] をクリックし、プリンタの電源を OFF にしてから次に進んでください。

 電源の切り方は「電源を切ります」(23 ページ) をご覧ください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷ [自動再生] が表示されたら、[Startup.exe の実行] をクリックします。

❸ [ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

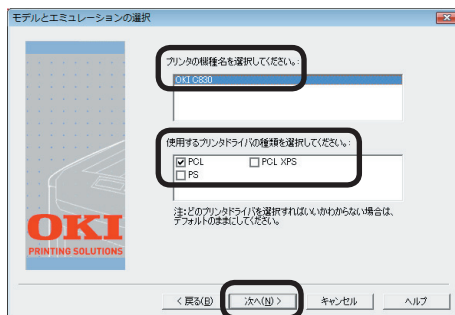
3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❷ [ドライバのインストール] をクリックします。

❸ [ローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「ネットワーク接続で Windows にセットアップします」(63 ページ) をご覧ください。

❹ ポートで［USB］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ プリンタの機種名とプリンタドライバドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

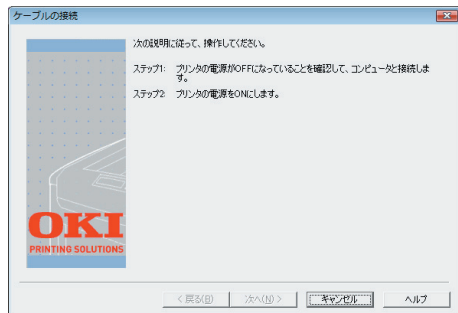
メモ

- Windows Vista/Server 2008 には、PS プリンタドライバ、PCL プリンタドライバ、PCL XPS プリンタドライバの 3 種類があります。PCL プリンタドライバは、ビジネス文書の印刷に適しています。PS プリンタドライバは、PostScript フォントや EPS データを含んだ文書の印刷に適しています。PCL XPS プリンタドライバは、XPS 対応アプリケーションからの印刷に適しています。
- 複数のプリンタドライバの種類を選択し、同時にインストールすることができます。

ファイルのコピーが行われます。

☞ 手順 4（80 ページ）へ進みます。

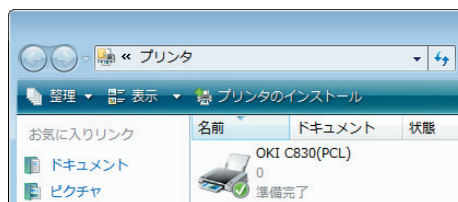
4 USB ドライバをインストールします。

❶「ケーブル接続」の画面が表示されたら、画面の指示に従い USB ドライバをインストールします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ❹に進みます。

❷「インストール完了」の画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

❸ [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択します。
(Windows XP では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows Server 2003 では [スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。)

[プリンタ]または [プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

 複数のドライバをインストールした場合は、インストールした数分のプリンタアイコンが追加されます。

☞ ❶からの続き

❹ [再起動する] にチェックを付け、[完了] をクリックします。

Windows が再起動されます。

❺ Windows が完全に起動したら、❶に戻ります。

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合

プリンタドライバが正しくセットアップされていません。再度プリンタドライバのセットアップを行ってください。
詳細は、「Windows にセットアップします」（78 ページ）をご覧ください。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ Windows Vista では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択します。

❸ [ポート]タブの[印刷するポート]で、接続先のポートを下記の設定にします。

USB ケーブルで接続する場合：[USBxxx]

［印刷するポート］に［USBxxx］が表示されないときは、プリンタの電源が ON になっていることを確認して USB ケーブルを接続し直し、再度❶～❸を行ってください。

一つのプリンタドライバしかインストールできない場合

2 つ目以降のプリンタドライバをインストールする場合は以下のようにしてください。

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ポートの選択」画面で接続先のポートを「FILE」に設定します。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。
詳細は、「Windows にセットアップします」（78 ページ）をご覧ください。

❹［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 では［プリンタとFAX］フォルダ）で 2 つ目以降のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❺［ポート］タブの［印刷するポート］で［USBxxx］にチェックを付けます。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合

USB 接続する場合、プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行っているか確認してください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ USB ケーブルを接続します。

❸ プリンタの電源を ON にします。

❹ Windows を起動します。

❺「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「ソフトウェア CD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
コンピュータが USB インタフェースに対応していません。	デバイスマネージャで USB コントローラが表示されるか確認してください。
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	「ソフトウェア CD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：Windows Vista/Server2008/XP/Server2003/2000 の場合 「E:¥Drivers¥JPN¥WinXP2k」 Windows Vista（x64版）/XP（x64版）/Server2003（x64版）の場合 「E:¥Drivers¥JPN¥WinXP64」 （ここでは CD-ROM ドライブが E：の場合を例にしています）
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。

5 ネットワーク接続で Macintosh にセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境 日本語版が動作する Macintosh で EtherTalk 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- MacOS8.0 以前のシステムには対応していません。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合もあります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

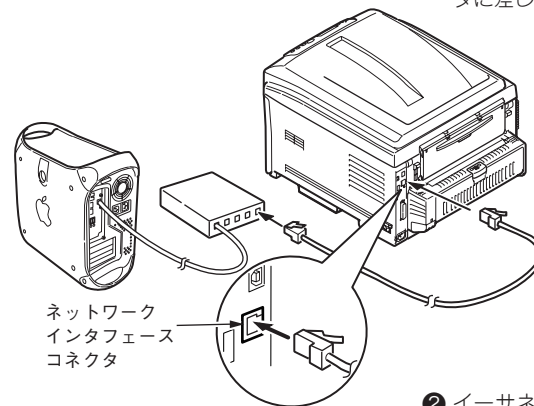
プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉　〈ハブ〉

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（23 ページ）をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします

以下の説明は、MacOS 9.0 を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［AppleTalk］を選択します。

❸［Ethernet］を選択し、［AppleTalk］を閉じます。

❹「設定の保存」画面が表示されたら、［保存］をクリックします。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ① [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[機能拡張マネージャ]を選択します。
  ② [セット]を[Mac OS x.x.x 基本](x.x.x は Mac OS のバージョン)設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、[機能拡張マネージャ]の[セット]を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、[省略時セット]を選択してください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [Driver] フォルダを開きます。

❸ [Installer for MacOS] をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶ [アップルメニュー] の [セレクタ] を選択します。

❷ [LaserWriter8]をクリックし、[PostScript プリンタの選択]で [C830]を選択します。

プリンタ名は、MicrolinePS Utility で変えることができます。

- [PostScript プリンタの選択]で[C830]が表示されない場合には、Macintoshとプリンタが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルのコネクタが正しく差し込まれているか、ケーブルが傷ついていないか確認してください。
- [セレクタ]に[LaserWriter8]が表示されない場合は、Mac OS のシステム CD-ROM から LaserWriter8 プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8プリンタドライバをインストールします」(91 ページ)をご覧ください。

❸ [作成] をクリックします。
プリンタ名の横にアイコンが表示されます。

❹ [セレクタ] を閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

5 プリントプラグインを設定します。

❶［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント ...］を選択します。

❷［プリンタ：］が［C830］であることを確認し、ポップアップメニュー［一般設定］をクリックし、［プラグイン初期設定］を選択します。

❸［プリントタイム・フィルタ］の左に表示されている［▷］印をクリックして［プリントタイム・フィルタ］を開き、［プリントタイム・フィルタ］と［ジョブタイプ］にチェックを付けます。

❹［設定の保存］をクリックします。

❺ 確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❻［キャンセル］をクリックし、［印刷ダイアログ］を閉じます。

6 欧文スクリーンフォントをインストールします。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Fonts］フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ Macintosh を再起動します。

- ［Chicago］、［Geneva］、［Monaco］、［NewYork］は添付されていません。MacOS 添付のフォントをご使用ください。
- Macintosh のシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントは MacOS 添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

7 9 章「印刷します」（129 ページ）へ進みます。

LaserWriter8 プリンタドライバをインストールします

MacOS9.x.x付属のLaserWriter8 プリンタドライバをカスタムインストールします。

［セレクタ］に［LaserWriter8］がすでに存在している場合は、インストール不要です。

以下の説明は、MacOS9.2.2 を例にしています。

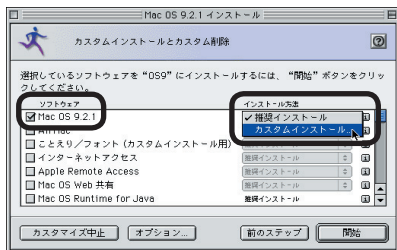
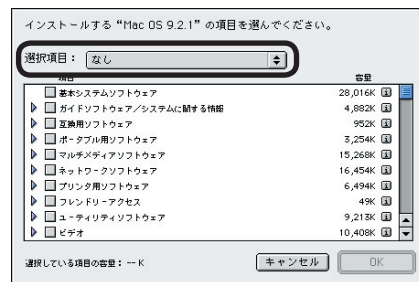
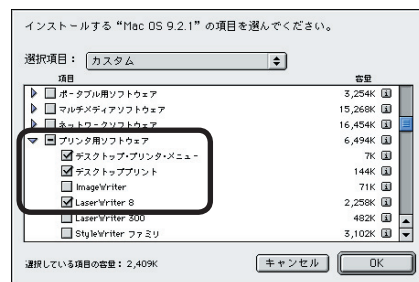
❶「MacOS9.x.x システム CD-ROM」をセットします。

❷［MacOS インストーラ］をダブルクリックします。

❸「ようこそ MacOS9.x.x へ」画面で［続ける］をクリックします。

❹［インストール先ディスク］を選択し、［選択］をクリックします。

❺［追加 / 削除］をクリックします。

❻［ソフトウェア］で［MacOS9.x.x］にチェックをつけ、［インストール方法］で［カスタムインストール］を選択します。

❼［選択項目］で［なし］を選択します。

❽［プリンタ用ソフトウェア］の［▷］印をクリックし、［デスクトップ・プリンタ・メニュー］、［デスクトッププリント］、［LaserWriter8］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

❾［開始］をクリックします。

❿［続ける］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

⓫［再起動］をクリックします。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100M ランプ（緑）/LINK 10M ランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUS ランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブの LINK ランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「ハブとの接続」を「10Base-T Half」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ 電源スイッチのオン（I）を押します。

❷ 操作パネルに［印刷できます］と表示したことを確認します。

❸ ボタンを数回押し、［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで 1 桁目の数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で 6 桁目まで入力します。

メモ　パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

最後に設定ボタンを押します。

❺ ボタンまたはボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ボタンを数回押して［ハブとの接続］を選択し、設定ボタンを押します。

❼［10Base-T Half］を選択し、設定ボタンを押します。

❽ オンラインボタンを押します。

［印刷できます］と表示されたら完了です。

- ハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重）を「自動切替」から「10Base-T Half」にしてください。（設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

- ［アップルメニュー］-［セレクタ］で、「LaserWriter 8」をクリックしたとき「プリンタ名」が表示されるか確認します。プリンタ名の初期値は「C830」です。プリンタ名はネットワークの設定情報（Network Information）に表示されている［EtherTalk Configuration］の［Printer Name］です。

6 USB 接続で Macintosh にセットアップします

動作環境

MacOS9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- USB 拡張ボードには対応していません。
- USB ケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、デスクトップ・プリンタ Utility に「****」、「**** 1」、「**** 2」（**** はプリンタ機種名）と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブをご使用になる場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合があります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。
- Mac OS X Classic 環境には対応していません。
- プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

USB インタフェースケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 5m 以内(2m 以内を推奨)のものをお使いください。

ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様の USB ケーブルを別途用意してください。

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

- 電源の切り方は「電源を切ります」(23 ページ)をご覧ください。
- USB ケーブルはコンピュータ、プリンタの電源が ON の状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USB ドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源を OFF にしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

注 USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします

1 プリンタの電源を ON にします。

2 Macintosh を起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ① [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[機能拡張マネージャ]を選択します。
  ② [セット] を [Mac OS x.x.x 基本] (x.x.x は Mac OS のバージョン) 設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、[機能拡張マネージャ] の [セット] を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、[省略時セット] を選択してください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [Driver] フォルダを開きます。

❸ [Installer for MacOS] をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

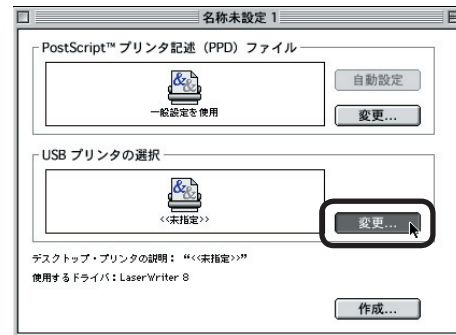
4 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶ [Apple エクストラ]-[Apple LaserWriter ソフトウェア］フォルダ（Mac OS 9.1 以降では、[Applications(MacOS9)] - ［ユーティリティ]フォルダ)内の［デスクトップ・プリンタ Utility］をダブルクリックします。

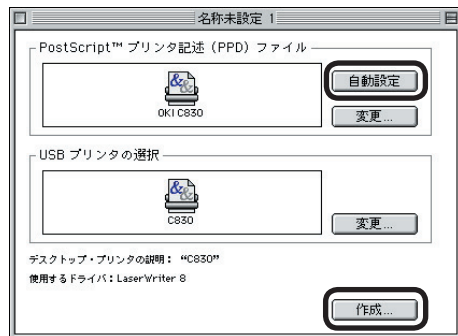
デスクトップ・プリンタ Utility

❷ [プリンタ]で[LaserWriter8]を、[デスクトップに作成]で[プリンタ(USB)]を選択し、[OK]をクリックします。

［プリンタ］に［LaserWriter8]が表示されない場合は、Mac OS のシステム CD-ROM から LaserWriter8 プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8 プリンタドライバをインストールします」(91 ページ）をご覧ください。

❸ [USB プリンタの選択］の［変更］をクリックします。

❹ [USB プリンタの選択］で［C830］を選択し、[OK］をクリックします。

[USB プリンタの選択]で[C830]が表示されない場合には、Macintosh とプリンタが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルのコネクタが正しく差し込まれているか、ケーブルが傷ついていないか、確認してください。

❺ [PostScript プリンタ記述(PPD)ファイル］で［自動設定］をクリックします。

❻［作成］をクリックします。

❼［デスクトップ・プリンタの保存名］を入力し、［保存］をクリックします。

❽ デスクトップ・プリンタ Utility を終了します。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

メモ USBインタフェースで接続する場合は、「セレクタ」画面で「LaserWriter8」を選択しても、画面の右側にプリンタ名は表示されません。プリンタを選択するときはデスクトップ上に作成されたプリンタアイコンを選択して、「Finder」の［プリンタ］メニューで［省略時プリンタに指定］を選択して使用します。

5 プリントプラグインを設定します。

❶［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント ...］を選択します。

❷［プリンタ：］が［C830］であることを確認し、ポップアップメニュー［一般設定］をクリックし、［プラグイン初期設定］を選択します。

❸［プリントタイム・フィルタ］の左に表示されている［▷］印をクリックして［プリントタイム・フィルタ］を開き、［プリントタイム・フィルタ］と［ジョブタイプ］にチェックを付けます。

❹［設定の保存］をクリックします。

❺ 確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❻［キャンセル］をクリックし、［印刷ダイアログ］を閉じます。

6 欧文スクリーンフォントをインストールします。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Fonts］フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ Macintosh を再起動します。

- ［Chicago］、［Geneva］、［Monaco］、［NewYork］は添付されていません。MacOS 添付のフォントをご使用ください。
- Macintosh のシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントは MacOS 添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

7 9 章「印刷します」（129 ページ）へ進みます。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
MacOS のバージョンが対応していません。	USB 接続できるのは MacOS9.0 以降です。（94 ページ）
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルを短時間で抜き差ししています。	USB ケーブルを抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタと Macintosh を直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。（96 ページ）
プリンタの電源スイッチが OFF になっています。	プリンタの電源を ON にしてください。（22 ページ）
デスクトッププリンタアイコンに手のマークがついています。	Macintosh のプリンタメニューの［プリントキューの開始］を選択してください。
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。（96 ページ）
［オフライン］になっています。	「オンライン」ボタンを押して、［オンライン］にしてください。

7 ネットワーク接続で Mac OS X にセットアップします

動作環境

Mac OS X 10.3 ～ 10.5.2 日本語版が動作する Macintosh でネットワークインタフェースを搭載している機種

- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMin-cho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット（CMYK 混合色）で印刷される場合があります。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- ブラックオーバープリント、トナーセーブ、CMYK シミュレーションはアプリケーションによっては使用できないことがあります。
- Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉　〈ハブ〉

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（23 ページ）をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします（Mac OS X 10.3 ～ 10.4.11 をお使いの方）

Mac OS X 10.5 をお使いの方は、「セットアップします（Mac OS X 10.5 をお使いの方）」（110 ページ）をご覧ください。

ネットワーク接続のセットアップについて

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

1 印刷する方法を決めます。

Mac OS X から印刷するためには、EtherTalk を使用する方法、Bonjour（ボンジュール）/Rendezvous（ランデブー）を使用する方法の 2 種類があります。まず、どちらを利用するか決めます。

印刷する方法	特　長
EtherTalk	Mac OS X が標準で持っている機能を使用します。
Bonjour（ボンジュール）Rendezvous（ランデブー）	Mac OS X 10.4 ～（Mac OS X 10.3 以前では Rendezvous）が標準で持っている機能を使用します。EtherTalk が使用できないネットワークでは、こちらを使用します。

2 セットアップの流れ

EtherTalk

Macintosh に Ether Talk を設定します。

プリンタドライバをインストールします。

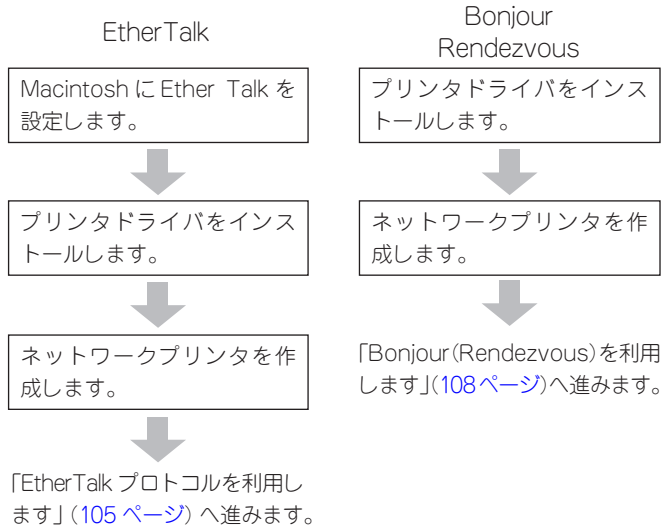
ネットワークプリンタを作成します。

「EtherTalk プロトコルを利用します」（105 ページ）へ進みます。

Bonjour Rendezvous

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

「Bonjour（Rendezvous）を利用します」（108 ページ）へ進みます。

EtherTalk プロトコルを利用します

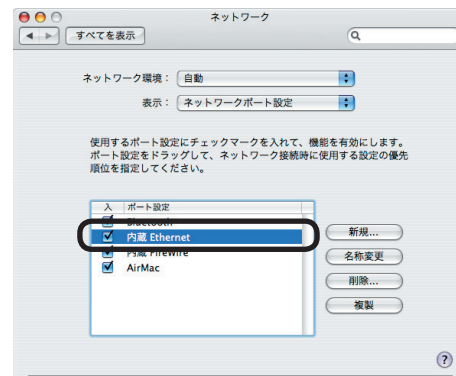
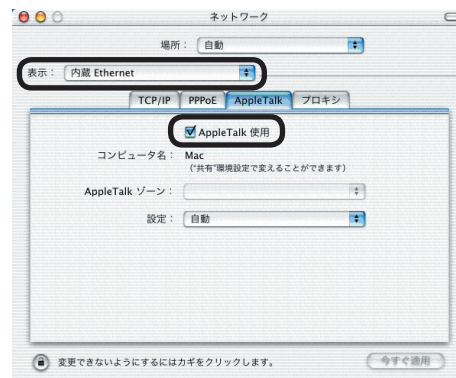
以下の説明は、Mac OS X 10.4 を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

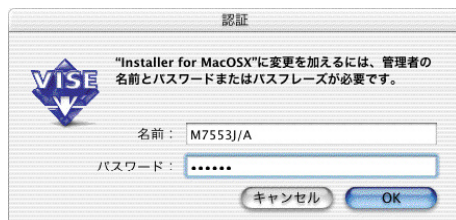
❸［表示］-［動作中のネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックがついていることを確認します。

❹［表示］-［内蔵 Ethernet］-［AppleTalk］タブを選択し、［AppleTalk 使用］にチェックがついていることを確認します。

3 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

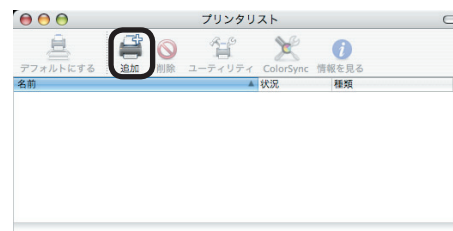
❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

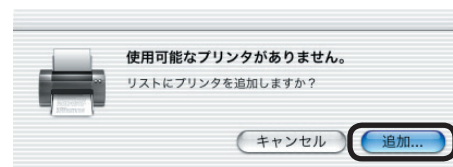
❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

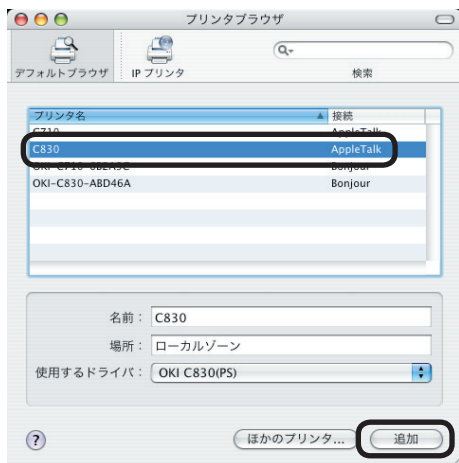
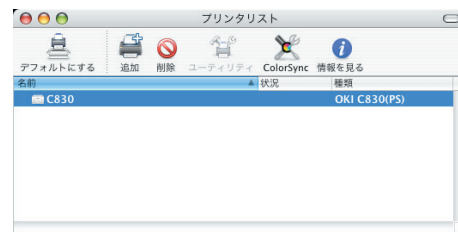
❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

注 プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷［追加］をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

❸ MacOSX10.3 以前では［AppleTalk］を選択します。

❹ プリンタ名を選択し、［追加］をクリックします。

❺［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

5 設定を確認します。

❶ テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリントセンター］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

Bonjour（Rendezvous）を利用します

1 プリンタの電源を ON にします。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

❸［表示］-［ネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックがついていることを確認します。

3 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

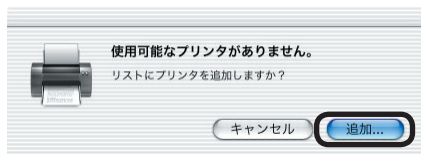
画面に従い、インストールを行ないます。

4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

注 プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷［追加］をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、[追加]をクリックします。

❸ Mac OS X 10.3 以前では［Rendezvous］を選択します。

❹ プリンタ名を選択し(Mac OS X 10.3 以前では、[プリンタの種類]で[Oki]を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します)、[追加]をクリックします。

メモ
- プリンタ名は「OKI-C830」+「MAC Address の英数字下 6 桁」です。
- MAC Address は、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（24 ページ）

❺［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

5 設定を確認します。

❶ テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

注 プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

セットアップします（Mac OS X 10.5 をお使いの方）

プリンタドライバをインストールします

メモ Mac OS X 10.3～10.4.11 をお使いの方は、「セットアップします（Mac OS X 10.3 ～ 10.4.11 をお使いの方）」（104 ページ）をご覧ください。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for MacOSX］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

EtherTalkプロトコルを利用してプリンタの設定をします

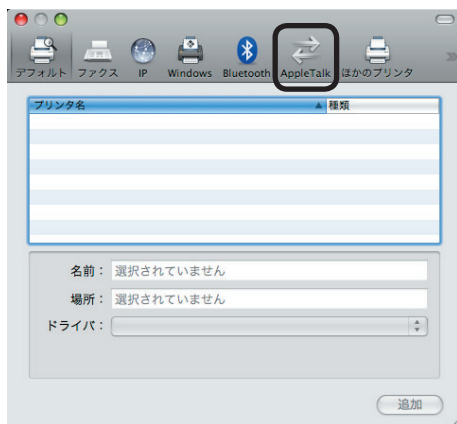
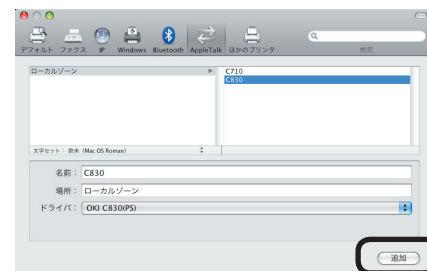
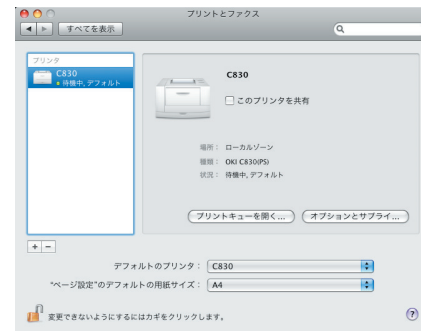
メモ Bonjour をご利用の方は、「Bonjour を利用してプリンタの設定をします」（112 ページ）をご覧ください。

注［プリンタとファクス］が既に開いている場合は、X をクリックして閉じてください。

❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷［プリントとファクス］をクリックします。

❸ [+] をクリックします。

❹ [AppleTalk] をクリックします。最初に設定する場合、プリンタが表示されるまでにしばらく時間がかかります。

❺ プリンタを選択し、[ドライバ] メニューに正しい機種名が表示されたら、[追加] をクリックします。

❻ プリンタリストに追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリントとファクス] を閉じます。

❼ 設定を確認するため、テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❽ [ファイル] - [ページ設定] を開きます。

❾ [対象プリンタ] で追加したプリンタ名を選択します。

⑩［対象プリンタ］のメニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

注 プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリントとファクス］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを登録してください。

⑪ 9 章「印刷します」（129 ページ）へ進みます。

Bonjour を利用してプリンタの設定をします

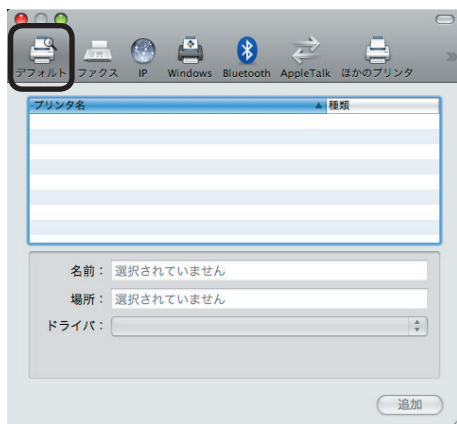
メモ EtherTalk プロトコル接続の方は、「EtherTalk プロトコルを利用してプリンタの設定をします」（110 ページ）をご覧ください。

注 ［プリントとファクス］が開いている場合は、X をクリックして閉じてください。

❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷［プリントとファクス］をクリックします。

❸［+］をクリックします。

❹［デフォルト］をクリックします。

❺プリンタ名が表示されたら、［種類］に接続したいポート名が表示されていることを確認します。

❻プリンタを選択し、［ドライバ］メニューに正しい機種名が表示されたら、［追加］をクリックします。

メモ　Bonjour 接続の場合、プリンタ名は［OKI-C830］+［MAC Address の英数字下 6 桁］です。

❼プリンタリストに追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタとファクス］を閉じます。

❽ 設定を確認するため、テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❾［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❿［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

⓫［対象プリンタ］のメニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

注 プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリントとファクス］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを登録してください。

⓬ 9 章「印刷します」（129 ページ）へ進みます。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100M ランプ（緑）/LINK 10M ランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯していない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUS ランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブの LINK ランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「ハブとの接続」を「10Base-T Half」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ 電源スイッチのオン（I）を押します。

❷ 操作パネルに［印刷できます］と表示したことを確認します。

❸ ボタンを数回押し、[管理者用メニュー]を選択し、設定ボタンを押します。

❹ パスワード入力画面になるので、ボタンまたは ボタンで 1 桁目の数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で 6 桁目まで入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

最後に 設定ボタンを押します。

❺ ボタンまたは ボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ボタンを数回押して[ハブとの接続]を選択し、設定ボタンを押します。

❼ ［10Base-T Half］を選択し、設定ボタンを押します。

❽ オンラインボタンを押します。

［印刷できます］と表示されたら完了です。

- ハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重）を「自動切替」から「10Base-T Half」にしてください。（設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

- [アップルメニュー]-[システム環境設定]-[インターネットとネットワーク]-[ネットワーク]-[表示]-[ネットワークポート設定]で[内蔵 Ethernet]にチェックがついていることを確認します。
- ［表示］-［内蔵 Ethernet］-［AppleTalk］で［AppleTalk 使用］にチェックがついていることを確認します。
- ハードディスクの［アプリケーション]-[ユーティリティ]-［プリンタ設定ユーティリティ］で、[追加]をクリックし、[AppleTalk]を選択したときに[C830]が表示されるか確認します。

8 USB 接続で Mac OS X にセットアップします

動作環境

Mac OS X 10.3 〜 10.5.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMincho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット（CMYK 混合色）で印刷される場合があります。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- Classic 環境が動作しているときは、Mac OS X からの印刷ができません。Classic 環境を終了させてから印刷してください。
- ブラックオーバープリント、トナーセーブ、CMYK シミュレーションはアプリケーションによっては使用できないことがあります。
- Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

USB インタフェースケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 5m 以内（2m 以内を推奨）のものをお使いください。

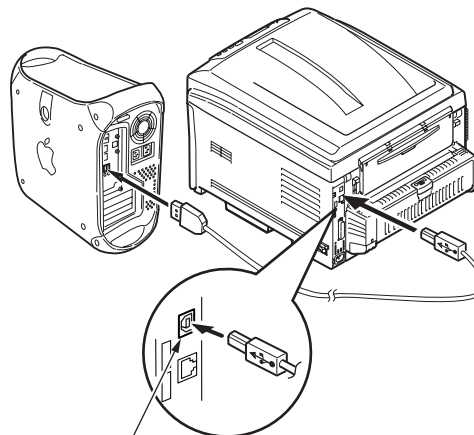
ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様の USB ケーブルを別途用意してください。

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(23 ページ) をご覧ください。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

注 USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします（Mac OS X 10.3 ～ 10.4.11 をお使いの方）

Mac OS X 10.5 をお使いの方は、「セットアップします（Mac OS X 10.5 をお使いの方）」（124 ページ）をご覧ください。

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

1 プリンタの電源を ON にします。

2 プリンタの操作パネルで［USB PS プロトコル］を［ASCII］にします。

- Mac OS X で使用する場合は、必ず設定してください。設定しないと正常に印刷できないことがあります。
- MacOS 9 で使用する場合は、設定を［RAW］に戻してください。

❶ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷ パスワード入力画面になるので、ボタンまたは ボタンで 1 桁目の英小文字または数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

最後に 設定ボタンを押します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❸ ボタンを数回押して［PS 設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［USB プロトコル］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ボタンを数回押して［ASCII］を選択し、設定ボタンを押します。

❻［ASCII］の左側に「＊」がついたことを確認します。

❼ オンラインボタンを押し、［印刷できます］と表示します。

❽ プリンタの電源を OFF/ON します。

プリンタの電源を OFF/ON しないと、［ASCII］の設定は有効になりません。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（23 ページ）をご覧ください。

3 Macintosh を起動します。

4 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

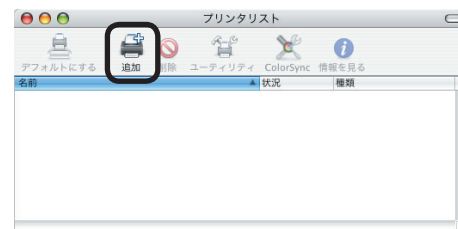
❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

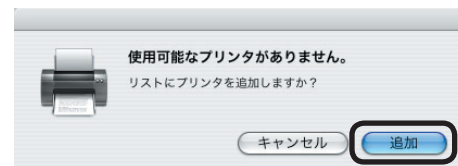
❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

5 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

注 プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

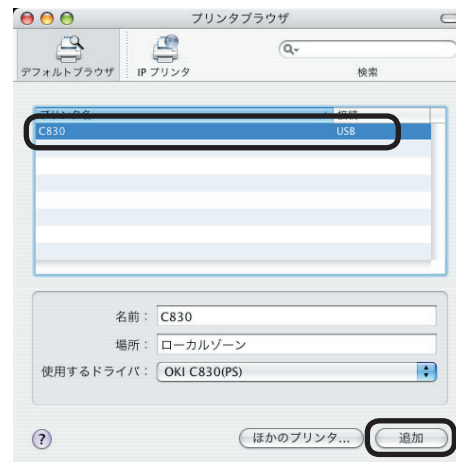
❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷［追加］をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

注 インストールしようとしているプリンタの名前がすでに表示されている場合は、プリンタ名を選択して［削除］をクリックします。

❸ プリンタのリストを表示します。

Mac OS X 10.3 以前では［USB］を選択します。

❹ 使用するプリンタを選択します。

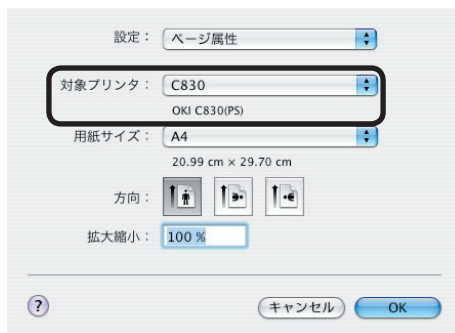
［接続］に［USB］（Mac OS X 10.3 では［種類］に［OKI DATA CORP］）、［追加］をクリックします。

❺［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

6 設定を確認します。

❶ テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

セットアップします（Mac OS X 10.5 をお使いの方）

プリンタドライバをインストールします

メモ　Mac OS X 10.3～10.4.11 をお使いの方は、「セットアップします（Mac OS X 10.3 ～ 10.4.11 をお使いの方）」（120 ページ）をご覧ください。

注　ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for MacOSX］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

USB 接続でプリンタの設定をします

注　［プリントとファクス］が開いている場合は、X をクリックして閉じてください。

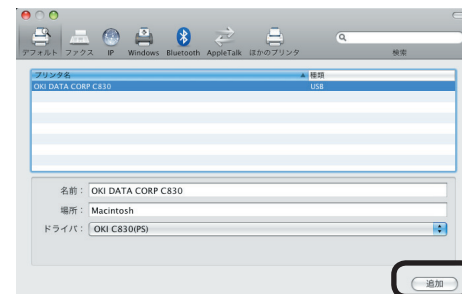
❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷［プリントとファクス］をクリックします。

❸［+］をクリックします。

❹［デフォルト］をクリックします。

❺プリンタ名が表示されたら、［種類］に接続したいポート名が表示されていることを確認します。

❻プリンタを選択し、［ドライバ］メニューに正しい機種名が表示されたら、［追加］をクリックします。

❼インストール可能なオプションの取得画面で、［構成 ...］をクリックしてプリンタオプションを選択します。

❽プリンタリストに追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタとファクス］を閉じます。

❾ プリンタを再起動します。

❿ 設定を確認するため、テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

⓫［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

⓬［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

⓭［対象プリンタ］のメニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリントとファクス］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを登録してください。

⓮ 9 章「印刷します」（129 ページ）へ進みます。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルを短時間で抜き差ししています。	USB ケーブルを抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタと Macintosh を直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。（120, 124 ページ）
プリンタの電源スイッチが OFF になっています。	プリンタの電源を ON にしてください。（22 ページ）
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。（120, 124 ページ）
［オフライン］になっています。	「オンライン」ボタンを押して、［オンライン］にしてください。

9 印刷します

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があったり、プリンタのメニュー設定の［メディアウェイト］、［メディアタイプ］で設定する内容が異なります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」(136 ページ)と「メディアウェイトとメディアタイプを設定します」(137 ページ)をご覧ください。

種類	サイズ　単位：mm（インチ）		厚さ
普通紙	A3	297 × 420	連量 55 ～ 189 ㎏(64 ～ 220g/ ㎡) 両面印刷の場合、連量 55 ～ 90 ㎏(64 ～ 105g/ ㎡) 使用できる用紙サイズは、「A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル (13 インチ)、リーガル (13.5 インチ)、リーガル (14 インチ)、エグゼクティブ」です。
	A4	210 × 297	
	A5	148 × 210	
	A6	105 × 148	
	B4	257 × 364	
	B5	182 × 257	
	レター	215.9 × 279.4 (8.5 × 11)	
	リーガル (13 インチ)	215.9 × 330.2 (8.5 × 13)	
	リーガル (13.5 インチ)	215.9 × 342.9 (8.5 × 13.5)	
	リーガル (14 インチ)	215.9 × 355.6 (8.5 × 14)	
	エグゼクティブ	184.2 × 266.7 (7.25 × 10.5)	
	カスタム	幅 64 ～ 297 長さ 105 ～ 1320	連量 55 ～ 189 ㎏(64 ～ 220g/ ㎡)
はがき	はがき	100 × 148	郵便はがき
	往復はがき	148 × 200	
封筒	封筒 (長形 3 号)	120 × 235	85g/ ㎡の紙を使用したもの
	封筒 (洋形 0 号)	120 × 235	
	封筒 (洋形 4 号)	105 × 235	
	封筒 (角形 2 号)	240 × 332	
	封筒 (角形 3 号)	216 × 277	
	Com-10	104.8 × 241.3 (4.125 × 9.5)	24lb の紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	DL	110 × 220 (4.33 × 8.66)	
	C5	162 × 229 (6.4 × 9)	
	C4	229 × 324 (9 × 12.8)	
ラベル紙	A4	210 × 297	0.1 ～ 0.2 ㎜
	レター	215.9 × 279.4 (8.5 × 11)	
部分印刷用紙	普通紙に準じます。		連量 55 ～ 189 ㎏(64 ～ 220g/ ㎡)
カラー用紙	普通紙に準じます。		連量 55 ～ 189 ㎏(64 ～ 220g/ ㎡)

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙： OKI カラーページプリンタ用紙 エクセレントホワイト A4（型名：PPR-CA4NA）, A3（型名：PPR-CA3NA）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：［普通紙］
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：普通紙
  メディアタイプ ：普通紙
  両面印刷の場合は、エクセレントホワイト A4（厚口）（型名：PPR-CA4DA）, A3（厚口）（型名：PPR-CA3DA）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：［厚い紙］
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：厚い紙
  メディアタイプ ：普通紙

弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

- 用紙の厚さが連量 55 ～ 189kg（64 ～ 220g/m^2）の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）（グリーン購入法に適合した電子写真プリンタ用再生紙に対応しています）再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（230 度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- マルチパーパストレイで印刷するとシワが出ることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 郵便はがき、および折っていない郵便往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用はがき
- 2mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒
- 坪量 85g/m^2 の紙を使用した封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒
- 撥水加工された封筒

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約 5mm は印刷品位が低下することがあります。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- 角形 2 号封筒は手差しで印刷します。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：LBP-F7XXX（コクヨ製）（総厚：0.1 ～ 0.2mm）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[ラベル紙]
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：より厚い紙
  メディアタイプ　：ラベル紙
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用のラベル紙
- プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが 0.1 ～ 0.2mm のラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙
- 台紙に切れ目や折れ目のないラベル紙

- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 普通紙の条件を満足している用紙
- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの

- 印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
  書き出し位置精度：± 2mm、用紙の斜行：± 1mm/100mm、画像伸縮：± 1mm/100mm（連量 70kg の場合）
- インクの上に本プリンタで印刷することはできません。

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの
- 用紙特性が普通紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- 推奨紙：エクセレントホワイト
  A4 長尺（OKI カラーページプリンタ用紙，110kg, 型名：PPR-CT4DA）
  A3 長尺（OKI カラーページプリンタ用紙，110kg, 型名：PPR-CT5DA）

  プリンタドライバの用紙厚の設定：より厚い紙
  操作パネルで設定する場合は メディアウエイト：より厚い紙
  メディアタイプ ：普通紙

- 用紙サイズは幅 210 ～ 297mm、長さ 356 ～ 1320mm
  連量 110kg（128g/m^2）

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（230℃）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
- 長さが 400mm を超える用紙は、「きれい」（1200 × 600dpi）では印刷されません。「ふつう」（600 × 600dpi）で印刷されます。
- 連量 110kg 以外の長尺用紙は、印刷品位は保証できません。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度 20℃、湿度 50% RH の環境

次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙」（130 ページ）をご覧ください。

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

◎：片面、両面印刷とも使用できます
○：片面印刷のみ使用できます
◬：一部のサイズで使用できます（片面印刷、両面印刷とも）
△：一部のサイズで使用できます（片面印刷のみ）
×：使用できません

種類	厚さ	サイズ	給紙方法				排出方法	
			用紙カセット *1			マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ（表排出）	フェイスダウン（裏排出）
			トレイ 1	トレイ 2*2	トレイ 3*2			
普通紙 *7	連量 55 ～ 90kg (64 ～ 105g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル（13 インチ） リーガル（13.5 インチ） リーガル（14 インチ）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	×	○	○	×
		カスタム *3	◬ *4	◬ *5	◬ *5	◬	◬	◬ *4
	連量 91 ～ 103kg (106 ～ 120g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル（13 インチ） リーガル（13.5 インチ） リーガル（14 インチ）	○	○	○	○	○	○
		A6	○	×	×	○	○	×
		カスタム *3	△ *4	△ *5	△ *5	○	○	△ *4
	連量 104 ～ 150kg (121 ～ 176g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル（13 インチ） リーガル（13.5 インチ） リーガル（14 インチ）	×	○	○	○	○	○
		A6	×	×	×	○	○	×
		カスタム *3	×	△ *5	△ *5	○	○	△ *4
普通紙 *7	連量 151 ～ 189kg (177 ～ 220g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル（13 インチ） リーガル（13.5 インチ） リーガル（14 インチ）	×	×	×	○	○	×
		A6	×	×	×	○	○	×
		カスタム *3	×	×	×	○	○	×
はがき *6	―	はがき、 往復はがき	×	×	×	○	○	×
封筒 *6*7	―	封筒（長形 3 号） 封筒（洋形 0 号） 封筒（洋形 4 号） 封筒（角形 2 号） 封筒（角形 3 号） Com-10, DL, C5, C4	×	×	×	○	○	×
ラベル紙 *6	―	A4	×	×	×	○	○	×

*1：上から順にトレイ 1、トレイ 2、トレイ 3 となります。
*2：トレイ 2、トレイ 3 はオプションです。
*3：カスタムは幅 64 ～ 297mm、長さ 105 ～ 1320mm です。両面印刷可能なサイズは幅 148 ～ 297mm、長さ 182 ～ 431mm です。Mac OS X 10.2 ～ 10.2.2 ではカスタム用紙はサポートされません。
*4：幅 105 ～ 297mm、長さ 148mm、182 ～ 431mm です。
*5：幅 148 ～ 297mm、長さ 182 ～ 431mm です。
*6：はがき、封筒、ラベル紙を設定すると印刷速度が遅くなります。
*7：高温多湿により波打ちが発生した用紙は使用しないでください。（用紙にシワが発生することがあります。）

用紙サイズを A6、A5、A4 縦送りおよび用紙幅が 150mm 以下を設定すると、印刷速度が遅くなる場合があります。

メディアウェイト、メディアタイプを設定します

印刷する用紙の種類により、プリンタの操作パネルでメディアウェイト、メディアタイプを設定する必要があります。
メディアウェイトは用紙の厚さ、メディアタイプは用紙の種類に関する設定です。

- メディアウェイト、メディアタイプを適切な値に設定しないと印刷品質が低下したり、定着器ユニットを傷めるおそれがあります。
- 用紙の種類と厚さにより、設定が必要な項目や設定値が異なります。

1 用紙の種類と厚さから、メディアウェイト、メディアタイプの設定値を確認します。

種類	厚さ	操作パネルの設定値		プリンタドライバの［用紙厚］の設定 *2
		メディアウェイト（用紙の厚さ）	メディアタイプ（用紙の種類）*1	
普通紙 *3	55～70kg（64～82g/m^2）	普通紙	普通紙	普通紙
	71～77kg（83～90g/m^2）	やや厚い紙		やや厚い紙
	78～90kg（91～105g/m^2）	厚い紙		厚い紙
	91～110kg（106～128g/m^2）	より厚い紙		より厚い紙
	111～175kg（129～203g/m^2）	ごく厚い紙 1		ごく厚い紙 1
	176～189kg（204～220g/m^2）	ごく厚い紙 2		ごく厚い紙 2
はがき *4	—	—	—	—
封筒 *4	—	—	—	—
ラベル紙	0.1～0.17mm 未満	より厚い紙	ラベル紙	ラベル紙 1
	0.17～0.2mm	ごく厚い紙 1		ラベル紙 2

*1：メディアタイプの工場出荷時の設定は［普通紙］です。
*2：用紙の厚さ・種類は操作パネルとプリンタドライバで設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバ設定が優先されます。プリンタドライバの[給紙方法]で[自動選択]が選択されている場合、または[用紙厚]で[プリンタ設定]が選択されている場合は、操作パネルの設定で印刷します。
*3：両面印刷できる用紙の厚さは連量 55～90kg(64～105g/m^2)です。
*4：はがき、封筒はメディアウェイト、メディアタイプの設定の必要はありません。

メディアウェイトの［より厚い紙］、［ごく厚い紙］、メディアタイプの［ラベル紙］を設定すると、印刷速度が遅くなります。

2 メディアウェイトを設定する場合

- プリンタドライバでメディアウエイトを設定した場合は、操作パネルで以下の設定を行う必要はありません。
- メディアウエイトは、給紙するトレイごとに設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。

ここでは、トレイ 1 から普通紙(連量90kg 紙)に印刷するときの設定手順を説明します。

❶ ボタンを数回押し、[メニュー] を選択します。

❷ 「設定」ボタンを押します。

❸ ボタンまたは ボタンを数回押し、[トレイ構成] を選択します。

❹ 「設定」ボタンを押します。

❺ ボタンまたは ボタンを数回押し、[トレイ 1 設定] を選択します。

❻ 「設定」ボタンを押します。

❼ ボタンまたは ボタンを数回押し、[メディアウェイト] を選択します。

❽ 「設定」ボタンを押します。

❾ ボタンまたは ボタンを数回押し、[厚い紙] を選択します。

❿ 「設定」ボタンを押し、設定値の右側に「*」を付けます。

⓫ 「オンライン」ボタンを押し、[印刷できます] を表示します。

3 メディアタイプを設定する場合

- プリンタドライバでメディアタイプを設定した場合は、操作パネルで以下の設定を行う必要はありません。
- メディアタイプの工場出荷時の設定は [普通紙] です。普通紙に印刷する場合はそのまま使用してください。
- メディアタイプは、給紙するトレイごとに設定してください。
- ラベル紙は必ず設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。

ここでは、マルチパーパストレイからラベル紙に印刷するときの設定手順を説明します。

❶ ボタンを数回押し、[メニュー] を選択します。

❷ 「設定」ボタンを押します。

❸ ボタンまたは ボタンを数回押し、[トレイ構成] を選択します。

❹ 「設定」ボタンを押します。

❺ ボタンまたは ボタンを数回押し、[マルチパーパストレイ設定] を選択します。

❻ 「設定」ボタンを押します。

❼ ボタンまたは ボタンを数回押し、[メディアタイプ] を選択します。

❽ 「設定」ボタンを押します。

❾ ボタンまたは ボタンを数回押し、[ラベル紙] を選択します。

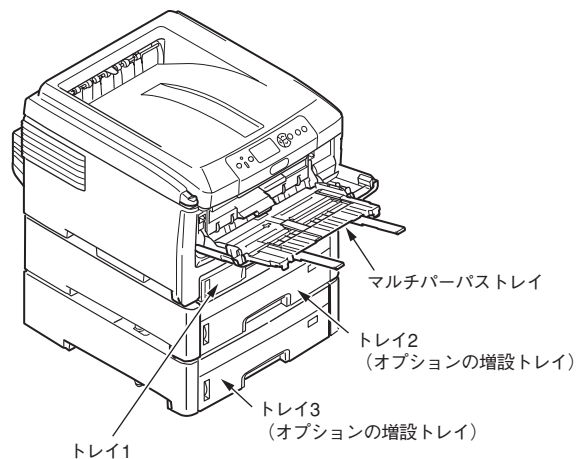
❿ 「設定」ボタンを押し、設定値の右側に「*」を付けます。

⓫ 「オンライン」ボタンを押し、[印刷できます] を表示します。

印刷します

給紙方法は、トレイ 1、トレイ 2（オプション）、トレイ 3（オプション）、マルチパーパストレイの 4 通りあります。

普通紙（A6 はトレイ 1 のみ）は、用紙カセットから印刷します。
はがき、封筒、ラベル紙は、マルチパーパストレイから印刷します。
用紙カセットは、トレイと呼ぶ場合があります。
トレイ 1、トレイ 2(オプション)、トレイ 3(オプション)とも同じ操作になります。
A4 縦送りも設定可能ですが、印刷速度が遅くなる場合があります。

マルチパーパストレイで手差し印刷をすることもできます。
コンピュータから印刷を実行した後にプリンタに用紙をセットし、1 枚ずつ確認してから ◯「オンライン」ボタンを押して印刷をします。

1 用紙をセットします。

用紙カセットの場合（トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3）

マルチパーパストレイの場合

❶

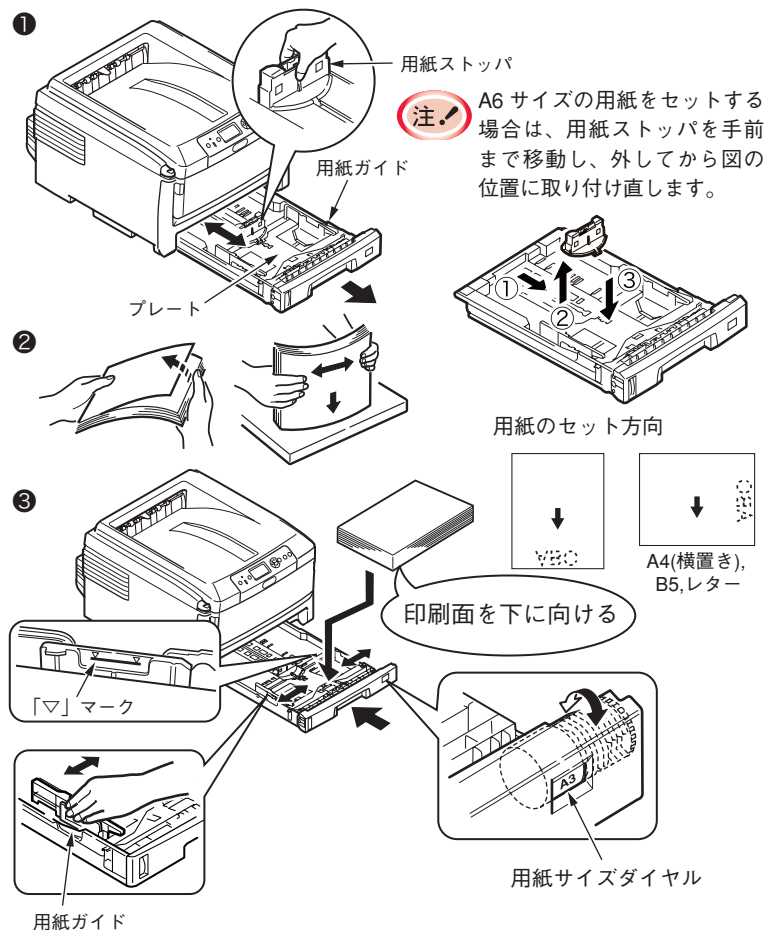
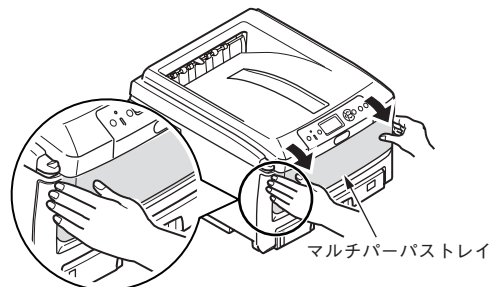
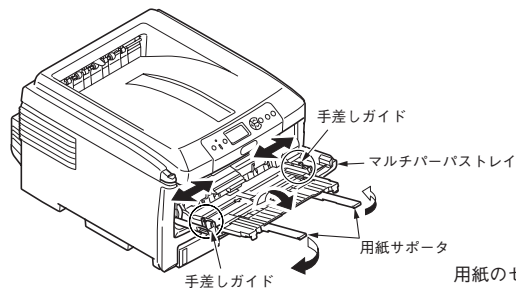
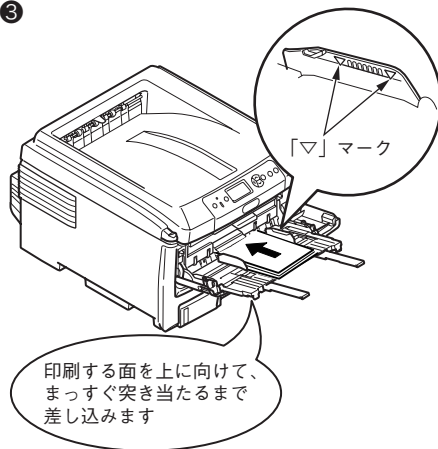
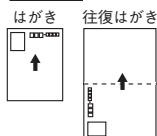
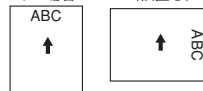
マルチパーパストレイ

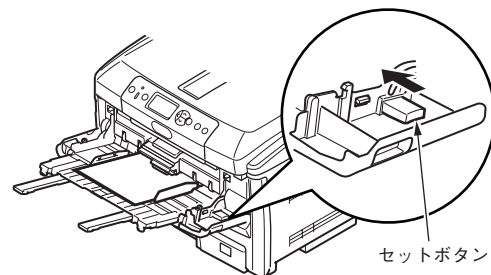
❷

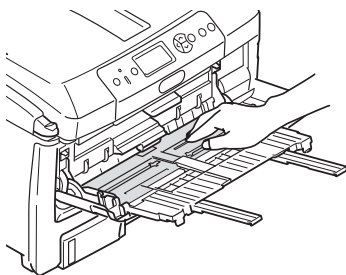
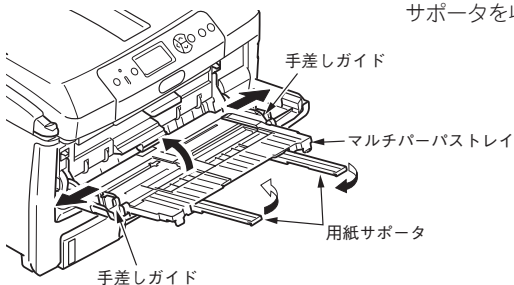
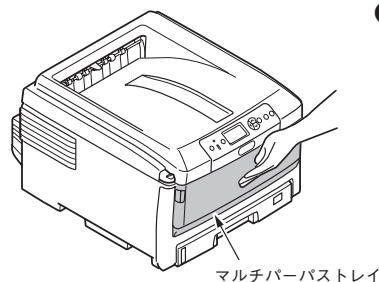
手差しガイド
マルチパーパストレイ
用紙サポータ
手差しガイド

❸

「▽」マーク

印刷する面を上に向けて、まっすぐ突き当たるまで差し込みます

用紙のセット方向

用紙に上下がある場合 ABC
A4, B5, レター（横置き） ABC
はがき
往復はがき
封筒（長形3号）
封筒（角形3号, 2号）
封筒（洋形0号, 4号）

❹

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。（用紙にシワが発生することがあります。）
- 用紙ガイドと用紙ストッパは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットしてください。（連量 70kg 紙で 300 枚）（トレイ 2（オプション）、トレイ 3（オプション）では 530 枚、マルチパーパストレイでは 100 枚）
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中の用紙カセットおよび両面印刷時やトレイ 2（オプション）、トレイ3（オプション）からの印刷時のトレイ 1 の用紙カセットは引き出さないでください。
- 他のプリンタ等で一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
- 用紙カセットでは、はがき、封筒を使用できません。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。（マルチパーパストレイ）
- 封筒は縦送りでセットしてください。（マルチパーパストレイ）
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。

マルチパーパストレイの閉じ方

❶ マルチパーパストレイのプレートを、ロックするまで手で押し下げます。

❷ 手差しガイドをいっぱいに広げ、用紙サポータを収納します。

❸ マルチパーパストレイを閉じます。

2 用紙サイズを設定します。

トレイ 1, トレイ 2, トレイ 3 の場合

用紙カセットの用紙サイズダイヤルを回して用紙サイズをセットします。

マルチパーパストレイの場合

プリンタ出荷時にはマルチパーパストレイの用紙サイズが［A4 横送り］で設定されています。A4 以外の用紙で印刷する場合には、下記の手順に従ってユーザメニューの用紙サイズを変更する必要があります。

ここでは、マルチパーパストレイから横置きの B5 用紙に印刷するときの設定手順を説明します。

❶ ボタンを数回押し、［メニュー］ を選択します。

❷ 「設定」ボタンを押します。

❸ ボタンまたは ボタンを数回押し、［トレイ構成］を選択します。

❹ 「設定」ボタンを押します。

❺ ボタンまたは ボタンを数回押し、［マルチパーパストレイ設定］を選択します。

❻ 「設定」ボタンを押します。

❼ ボタンまたは ボタンを数回押し、［用紙サイズ］ を選択します。

❽ 「設定」ボタンを押します。

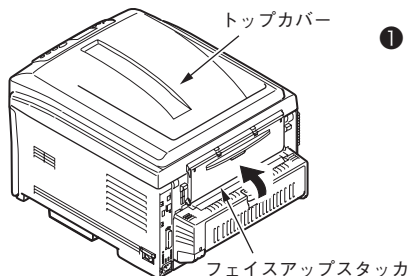
❾ ボタンまたは ボタンを数回押し、［B5 横送り］ を選択します。

❿ 「設定」ボタンを押し、設定値の右側に「✽」を付けます。

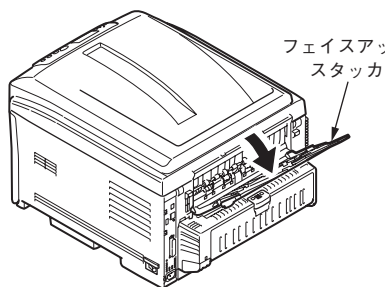
⓫ 「オンライン」ボタンを押し、［印刷できます］ を表示します。

3 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量 70kg 紙で約 250 枚をためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量 70kg 紙で約 100 枚ためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。
紙づまりの原因になります。

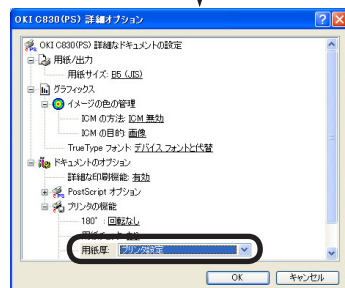
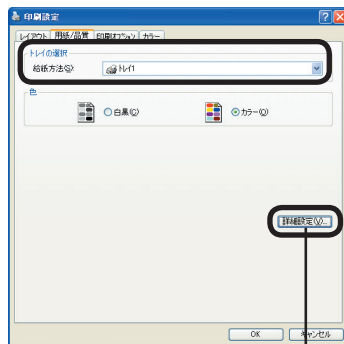
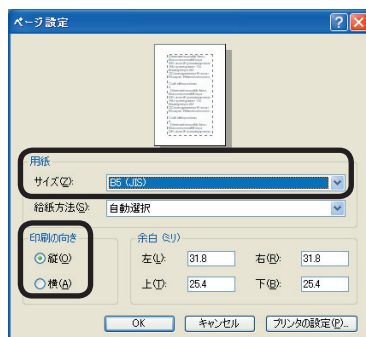
4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

- Windows では［ワードパッド］、Macintosh では［SimpleText］、Mac OS X では［テキストエディット］を使い、トレイ 1 で B5 サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではメディアウエイト、メディアタイプと同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は、「便利な印刷機能」の「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（応用編）をご覧ください。

メモ ［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「便利な印刷機能」の「トレイを自動的に選択したい」（応用編）をご覧ください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［B5］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

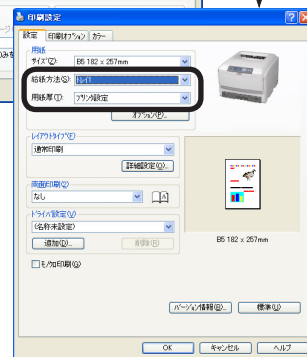
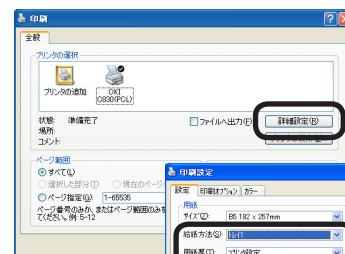
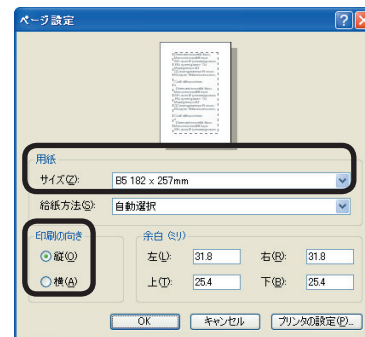
❹［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙／品質］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択します。

❻［詳細設定］をクリックし、［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

❼［OK］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❽「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［B5］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

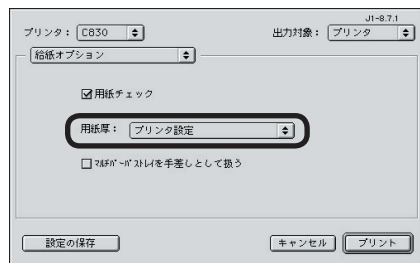
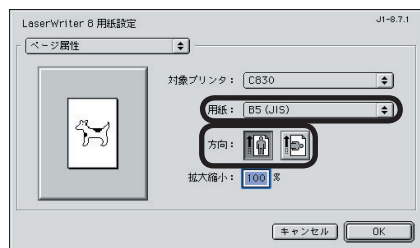
❹［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択します。

❻［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❼［OK］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❽「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

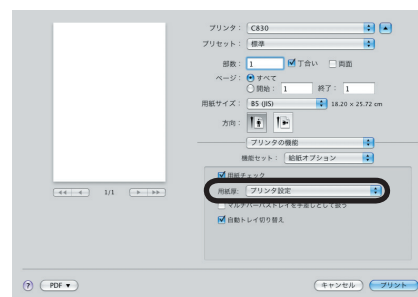
❷［用紙］で［B5］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙元］で［トレイ 1］を選択します。

❺［給紙オプション］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙サイズ］で［B5］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙］パネルで［トレイ 1］を選択します。

❺［プリンタの機能］パネルの［給紙オプション］機能セットの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

10 プリンタの設定項目について

現在の設定を確認します（設定内容印刷）

プリンタのメニューに設定されている値や消耗品の使用状況、印刷した枚数などを確認したい場合に印刷してください。

❶ トレイ 1 に A4 用紙をセットします。

❷ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❸ ボタンを数回押して［プリンタ情報印刷］を選択し、 設定ボタンを押します。

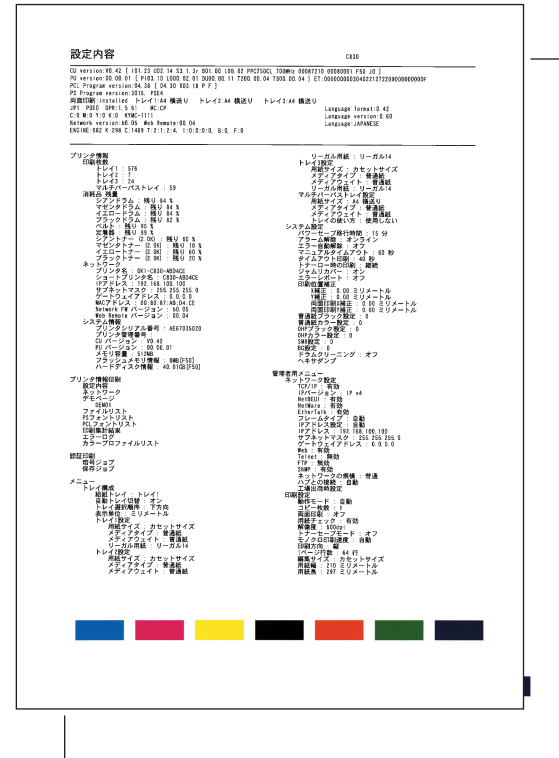
❹ ボタンを数回押して［設定内容］を選択し、 設定ボタンを押します。

❺ 設定ボタンを押します。

設定内容印刷が開始されます。

メモ　ネットワーク設定情報 (Network Information 2 枚) を印刷するには、❸の後に メニュー選択ボタンを押して、［ネットワーク］を選択し、 設定ボタンを押します。
ネットワークの他にも、デモページ、ファイルリストなども同様にして印刷することができます。

（サンプル）

設定内容

現在のメニュー設定を保存します

プリンタの操作パネルでの設定を保存できます。

「ネットワーク設定」カテゴリは保存されません。

❶ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで１桁目の英小文字、または数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

メモ パスワードの初期値は、「aaaaaa」です。

最後に設定ボタンを押します。

❸ ボタンを数回押して［設定値］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［設定の保存］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ 設定ボタンを押します。

❻ ［はい］を選択し、設定ボタンを押します。

設定値が保存されます。

メモ 現在の設定を、保存されている設定に変更することができます。

❶ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで１桁目の英小文字、または数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

メモ パスワードの初期値は、「aaaaaa」です。

最後に設定ボタンを押します。

❸ ボタンを数回押して［設定値］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［設定の呼び出し］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ 設定ボタンを押します。

❻ ［はい］を選択し、設定ボタンを押します。

設定値が、保存されている設定に変更されます。

設定値を初期化します

「ネットワーク設定」カテゴリの初期化は、「ネットワーク設定」カテゴリ内の［工場出荷時設定］で行ってください。

❶ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで1桁目の英小文字、または数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

メモ　パスワードの初期値は、「aaaaaa」です。

最後に設定ボタンを押します。

❸ ボタンを数回押して［設定値］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［出荷時に戻す］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ 設定ボタンを押します。

11 メンテナンスをします

トナーカートリッジを交換します

⚠警告

- トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。

- トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。

- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。床などにこぼれてしまったトナーは、ぬれた布などでふき取ってください。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし、子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

- トナーが目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲んでトナーをうすめてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- 紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。
- 衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

- トナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。

- 使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに［＊　トナーが少なくなっています］（＊は各色を表わします）のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると［トナーカートリッジを交換してください］を表示して印刷を停止しますので、トナーカートリッジを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、イメージドラム内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、以下の通りです。

- 標準トナーカートリッジの場合：約 7,000 枚
- トナーカートリッジ S タイプの場合：約 2,500 枚
- イメージドラム添付のトナーカートリッジの場合：約 2,700 枚

新しいドラムカートリッジに 1 本目のトナーカートリッジを取りつけたときの交換の目安は以下のようになります。

- 標準トナーカートリッジの場合：約 5,500 枚
- トナーカートリッジ S タイプの場合：約 1,000 枚
- イメージドラム添付のトナーカートリッジの場合：約 1,200 枚

印刷できます
＊　トナーが少なくなっています

トナーカートリッジを交換してください
＊

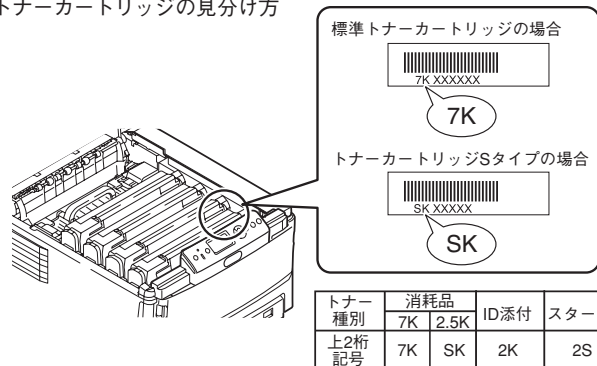
メモ ［トナーが少なくなっています］を表示してから［トナーカートリッジを交換してください］になるまでの目安は、約 250 枚です。

- 製品購入時に添付されているトナーカートリッジは、約 2,300 枚印刷可能です。
- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- ［トナーカートリッジを交換してください］表示の後も、トップカバーを開閉することにより A4 サイズ、ISO パターンで約 100 枚（約 20 枚を 5 回）印刷することができますが、それ以降の印刷動作ができなくなります。イメージドラムの故障の原因となりますので、トナーカートリッジを交換してください。

メモ トナーカートリッジの印刷可能枚数は、用紙サイズが A4、印字濃度が工場出荷時設定で「ISO/IEC 19798」に準拠した値です。実際に印刷可能な枚数は、お客様のご使用状況により、異なります。「ISO/IEC 19798」は国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

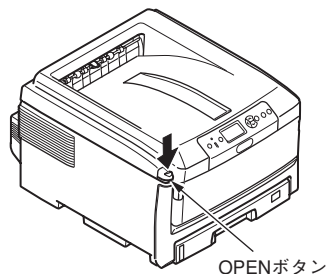
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

品　名	型　名
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C3KK1
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C3KY1
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C3KM1
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C3KC1
トナーカートリッジ　ブラック S	TNR-C3KK3
トナーカートリッジ　イエロー S	TNR-C3KY3
トナーカートリッジ　マゼンタ S	TNR-C3KM3
トナーカートリッジ　シアン S	TNR-C3KC3

※お近くの販売店でお求めください。

トナーカートリッジを交換します

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

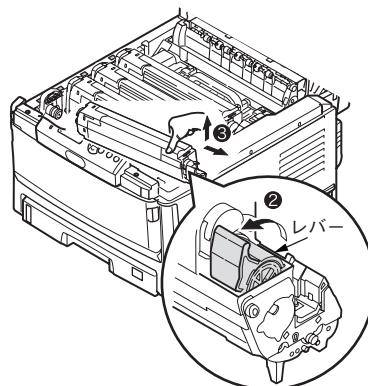
⚠警告	使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

メモ 使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(185 ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

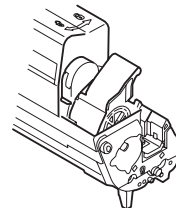
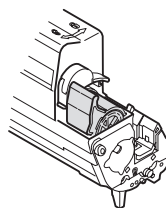
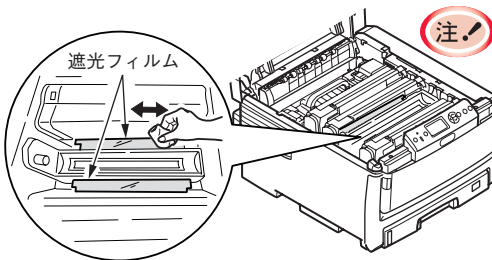
❶ 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

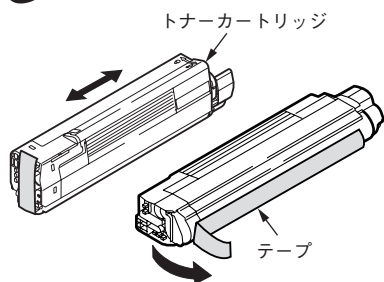
❷ トナーカートリッジの青いレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

❸ トナーカートリッジのレバー側の端を持って、斜めに持ち上げます。

❹ トナーカートリッジを斜めにしたまま、横方向に引き抜きます。

【トナーカートリッジのレバー位置】

トナーカートリッジを外す位置

トナーカートリッジを取り付けた状態

注! トナーカートリッジのレバーと反対側はイメージドラムのポストが差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポストが破損することがあります。

注! トナー交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LED レンズにトナーがつく可能性があります。柔らかいティッシュペーパーで拭きとってください。

3 新しいトナーカートリッジをセットします。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

❷ 縦と横に数回振ります。

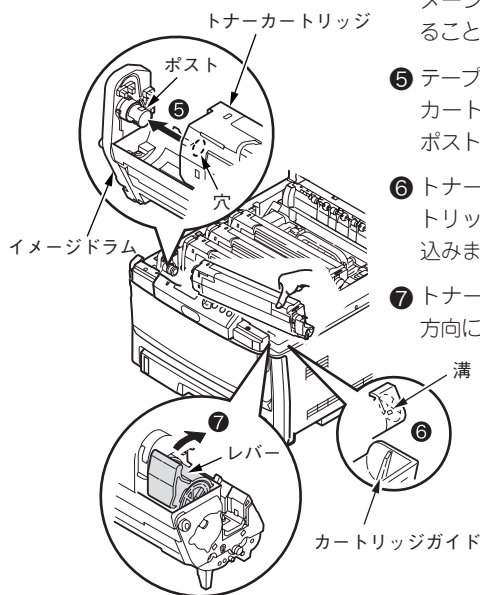
❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

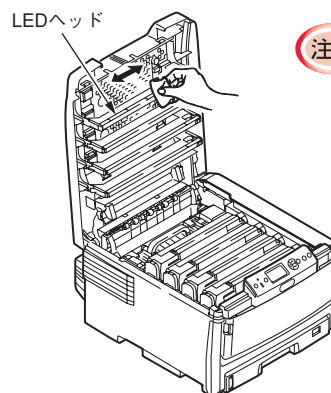
❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムのラベルの色が合っていることを確認します。

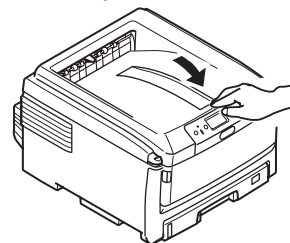
❺ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムのポストに差し込みます。

❻ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

トナーカートリッジ
ポスト
穴
イメージドラム
レバー
溝
カートリッジガイド

- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジのレバーとイメージドラムのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 柔らかいティッシュペーパーでLEDヘッドのレンズ面を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

5 トップカバーを閉じます。

トナーカートリッジを交換しても、[トナーがありません] のメッセージが消えないときは、トナーカートリッジを取り付け直してください。

イメージドラムを交換します

⚠警告

・トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。

・トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。

・こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。床などにこぼれてしまったトナーは、ぬれた布などでふき取ってください。

⚠注意

・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

・トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし、子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

・トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

・トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

・トナーが目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

・トナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲んでトナーをうすめてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

・紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
・衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

・トナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。

・使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。

イメージドラム交換の目安

イメージドラムが寿命になると操作パネルに［✱　イメージドラムの寿命が近づいています］（✱は各色を表わします）のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［イメージドラムを交換してください／イメージドラム寿命です］を表示して印刷を停止します。
イメージドラム交換の目安は、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 20,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況（一度に 3 枚ずつ）で印刷した場合の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。（連続印刷で約 27,000 枚に相当します。）

印刷できます
＊　イメージドラムの寿命が近づいています

イメージドラムを交換してください
イメージドラム寿命です

- ［イメージドラムの寿命が近づいています］を表示してから［イメージドラム寿命です］になるまでの目安は、約 500 枚です。（A4 サイズ、片面印刷、一度に 3 枚ずつ印刷した場合）
- トナーがほとんど無くなっている場合には、トップカバーを開閉しての印刷継続は制限されます。

- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムを準備してください。
- ［イメージドラムを交換してください］表示の後も、トップカバーを開閉することにより印刷動作を継続することができますが、イメージドラム内のトナーが無くなった時点でそれ以降の印刷動作ができなくなります。
- ［イメージドラムの寿命が近づいています］を表示以降にトナーがほとんど無くなった場合には、500 枚以下で［イメージドラム寿命です］となります。また、お使いの環境によっては、［イメージドラム寿命です］が表示される前に印刷が薄くなることもあります。
- 封筒、はがき、ラベル紙、ごく厚い紙の場合、モノクロ印刷でもカラードラムを消費する場合があります。

- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
- 純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

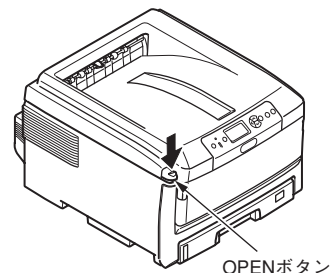
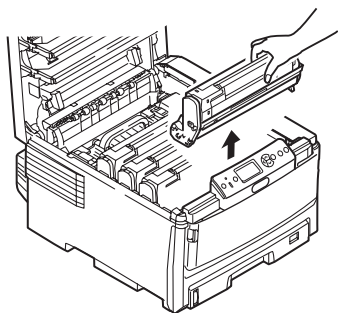
品　名	型　名
イメージドラム　ブラック	ID-C3KK
イメージドラム　イエロー	ID-C3KY
イメージドラム　マゼンタ	ID-C3KM
イメージドラム　シアン	ID-C3KC

お近くの販売店でお求めください。

イメージドラムを交換します

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意　やけどのおそれがあります。

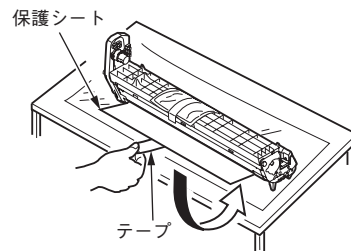
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのイメージドラムを取り出します。

❶ 交換するイメージドラムをラベルの色で確認します。

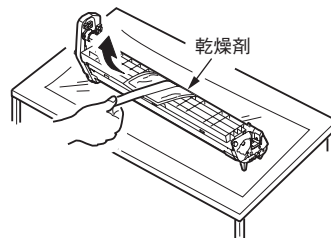
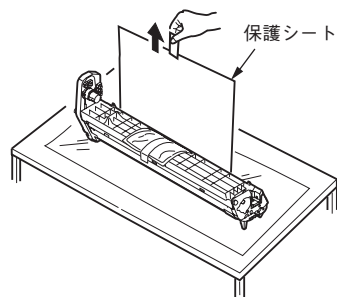
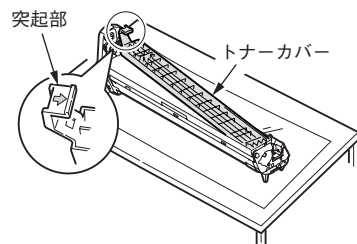
❷ トナーカートリッジをつけたまま、イメージドラムを取り出します。

メモ 使用済みイメージドラムとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(185 ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	使用済みイメージドラムとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

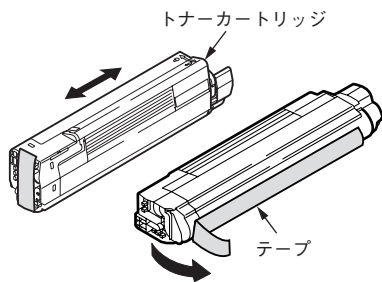
3 新しいイメージドラムを準備します。

- イメージドラムを傾けないでください。トナーがこぼれる場合があります。
- イメージドラム(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムは、直射日光や強い光(約 1500 ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

❶ イメージドラムを新聞紙等の上に置きます。

❷ 保護シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

❸ 乾燥剤を取り外します。

❹ トナーカバーを取り外します。

4 新しいトナーカートリッジをイメージドラムに取り付けます。

注 今まで使用していたトナーカートリッジをセットすることも可能ですが、以下の理由により、新しいトナーカートリッジを使用されることを推奨します。

- 今まで使用していたトナーカートリッジが開封後 1 年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
- 新しいイメージドラム内にはトナーが入っていないため、セットしたトナーカートリッジからトナーが充填されます。残量の少ないトナーカートリッジをセットした場合、すぐに「＊　トナーがありません」のメッセージが表示される場合があります。
- 今まで使用していたトナーカートリッジをセットした場合、「トナーが少なくなっています」のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。

トナーカートリッジ

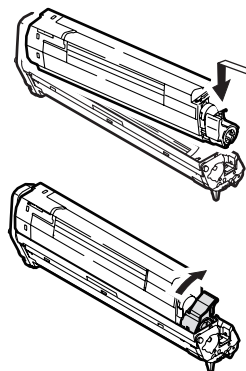
テープ

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

注 新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

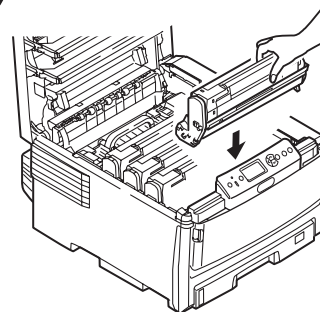
❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

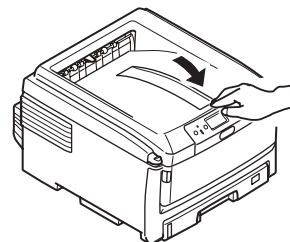
❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムのラベルの色が合っていることを確認します。

❺ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムのポストに差し込みます。

❻ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

5 イメージドラムをプリンタにセットします。

❶ イメージドラムのラベルの色とプリンタのラベルの色が合っていることを確認します。

❷ イメージドラムを静かにセットします。

6 トップカバーを閉じます。

ベルトユニットを交換します

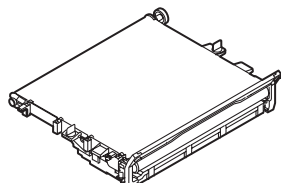
ベルトユニット交換の目安

ベルトユニットの交換時期になると、操作パネルに[ベルトの寿命が近づいています]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[ベルトを交換してください／ベルト寿命です]を表示し印刷を停止しますので、新しいベルトユニットに交換してください。
ベルトユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙(片面印刷時)で約 80,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合(一度に 3 枚ずつ)の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でベルトユニットの寿命になります。

印刷できます ベルトの寿命が近づいています	→	ベルトを交換してください ベルト寿命です

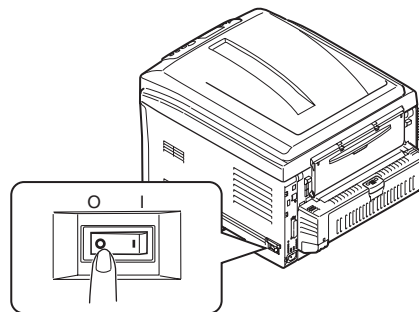
[ベルトの寿命が近づいています]を表示してから[ベルト寿命です]になるまでの目安は、約 1,000 枚です。(A4 横サイズ、片面印刷、一度に 3 枚ずつ印刷した場合)

「ベルトを交換してください」表示の後も、トップカバーを開閉することにより印刷動作を継続することができますが、ある程度印刷すると(印刷動作状況により変動します)、それ以降の印刷動作ができなくなります。プリンタの故障の原因となりますので、ベルトユニットを交換してください。

ベルトユニット

型名：BLT-C3C

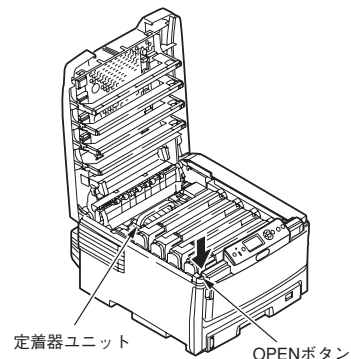
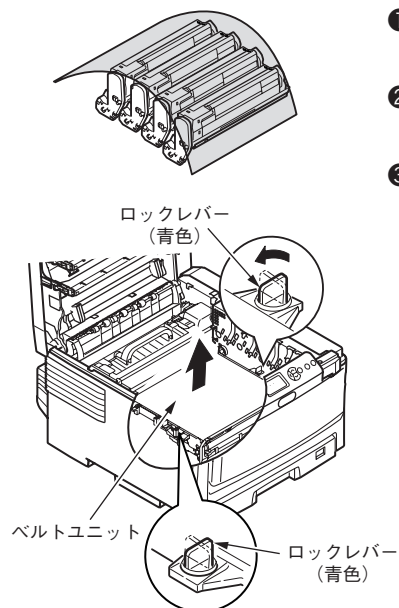
お近くの販売店でお求めください。

ベルトユニットを交換します

1 プリンタの電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(23 ページ) をご覧ください。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みのベルトユニットを取り出します。

❶ イメージドラム(4 個)を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

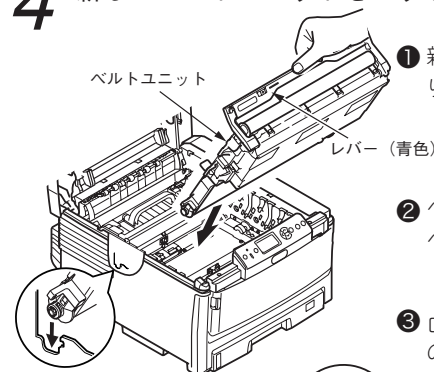
❷ 取り出したイメージドラムに黒い紙をかぶせます。

❸ ロックレバー(青色 2 ヶ所)を矢印 の方向に回転し、レバー(青色)を持ち、ベルトユニットを取り外します。

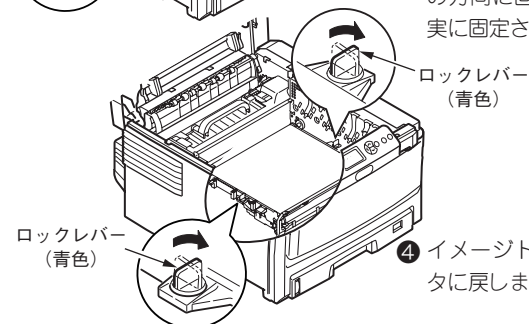
メモ
- 使用済みのベルトユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」(185 ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

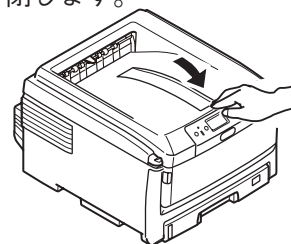
注
- イメージドラム(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムは直射日光や強い光(約1500 ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

⚠警告	使用済みベルトユニットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

4 新しいベルトユニットをセットします。

❶ 新しいベルトユニットを包装袋から取り出します。

❷ ベルトユニットのレバー(青色)を持ち、ベルトユニットをセットします。

❸ ロックレバー(青色 2 ヶ所)を矢印 の方向に回転し、ベルトユニットが確実に固定されたことを確認します。

❹ イメージドラム(4 個)を静かにプリンタに戻します。

5 トップカバーを閉じます。

注 イメージドラムがセットできなかったり、トップカバーが閉まらない場合は、ベルトユニットのロックレバーの位置を確認してください。また、ロックレバーが正常な位置でない場合、黄色の印刷汚れが発生したり、“Y トナーセンサーエラー” が表示される場合があります。

定着器ユニットを交換します

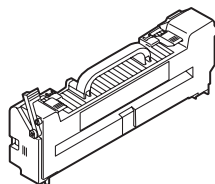
定着器ユニット交換の目安

定着器ユニットの交換時期になると、操作パネルに[定着器の寿命が近づいています]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると、操作パネルに[定着器を交換してください／定着器寿命です]のメッセージが表示され、印刷を停止しますので、新しい定着器ユニットに交換してください。
定着器ユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 100,000 枚です。

印刷できます 定着器の寿命が近づいています	→	定着器を交換してください 定着器寿命です

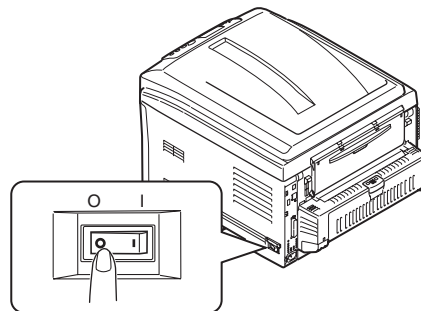
[定着器の寿命が近づいています]を表示してから[定着器寿命です]になるまでの目安は、A4 サイズ（片面印刷）で約 1,250 枚です。

「定着器を交換してください」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、プリンタの故障や紙づまりの原因となりますので、定着器ユニットを交換してください。

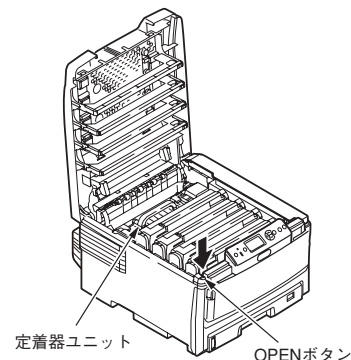
定着器ユニット

型名：FUS-C3E

お近くの販売店でお求めください。

定着器ユニットを交換します

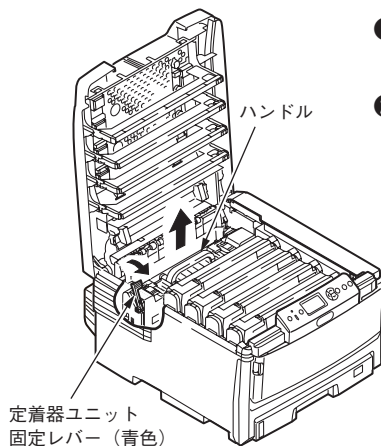
1 プリンタの電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（23 ページ）をご覧ください。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みの定着器ユニットを取り出します。

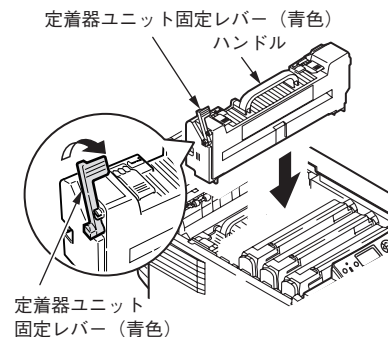
⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色）を矢印の方向へ起します。

❷ 定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

注 LEDヘッドに当たらないように注意してください。

メモ 使用済みの定着器ユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（185ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

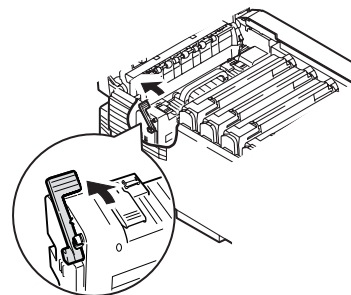
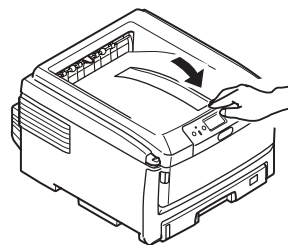
4 新しい定着器ユニットをセットします。

❶ 新しい定着器ユニットを包装袋から取り出します。

❷ 定着器ユニットの固定レバーを矢印の方向に起こします。

❸ 定着器ユニットのハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに入れます。

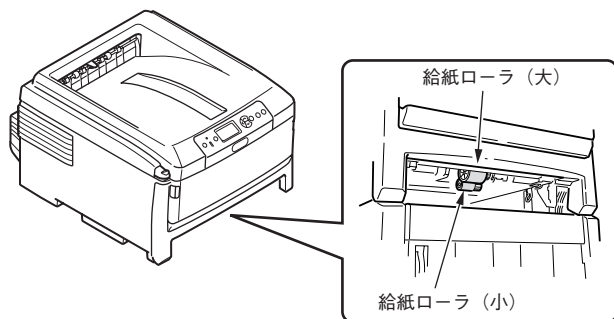
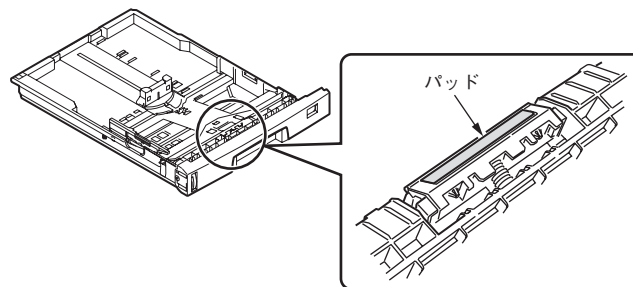
❹ 定着器ユニット固定レバー（青色）を奥側に倒し、固定します。

5 トップカバーを閉じます。

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

給紙ローラとパッドを清掃します

［391：紙づまりです］が頻発する場合に行ってください。

1 用紙カセットを引き出します。

2 給紙ローラ(大)、給紙ローラ(小)を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

3 用紙カセットのパッド部分を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

- [392：紙づまりです]が頻発する場合はトレイ 2(オプションの増設トレイ)を同様に清掃してください。
- [393：紙づまりです]が頻発する場合はトレイ 3(オプションの増設トレイ)を同様に清掃してください。
- [390：紙づまりです]が頻発する場合は、マルチパーパストレイの給紙ローラを同様に清掃してください。

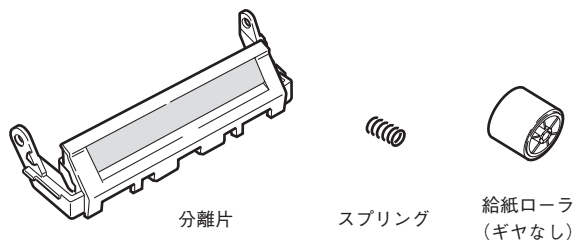
給紙ローラとパッドを清掃します

11

給紙ローラとパッドを交換します

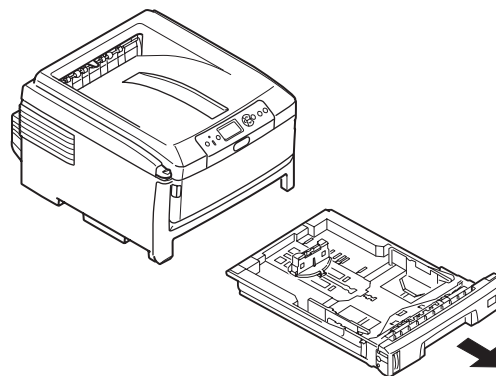
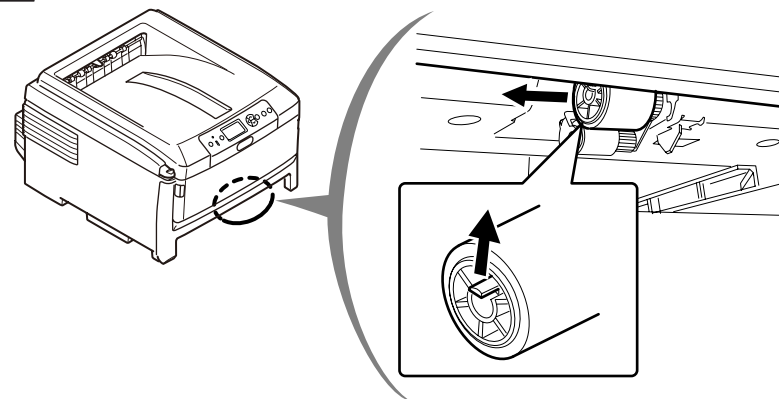
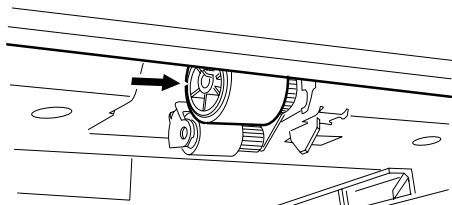
給紙ローラとパッドを清掃しても給紙ミスが頻発する場合、給紙ローラとパッドを交換します。
トレイ１では、給紙ローラ１ヶと用紙カセットの分離片(パッド)を交換します。
トレイ2, 3（オプション)では、給紙ローラを３ヶ交換します。(165 ページ)
マルチパーパストレイでは、給紙ローラ１ヶを交換します。(168 ページ)
交換の目安は、各トレイとも、約120,000 枚です。(使用環境や用紙によって異なります)

トレイ１の給紙ローラと分離片を交換します

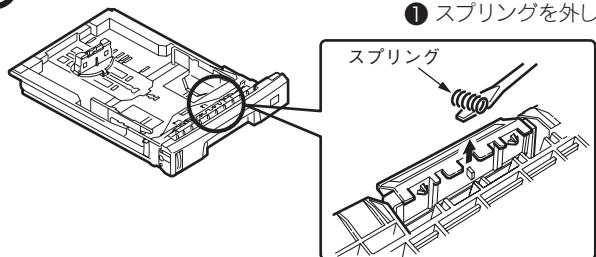
給紙ローラセット（トレイ１用）

型名： RS-C3D

給紙ローラと分離片は必ずセットで交換してください。

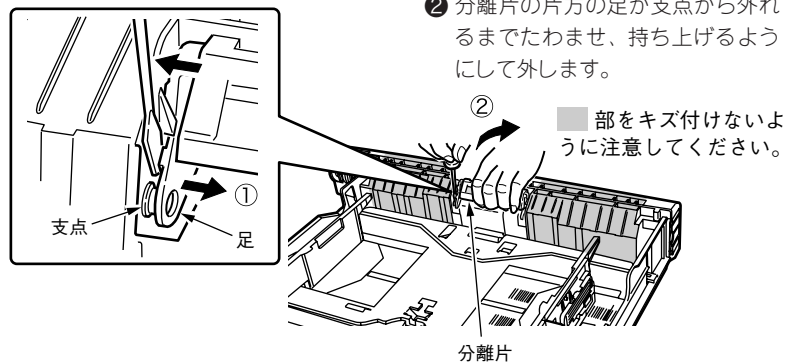
1 プリンタの電源を切り、用紙カセットを引き抜きます。

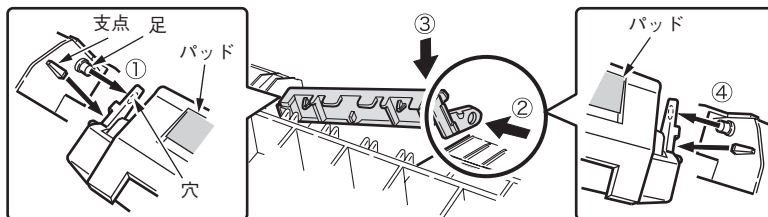
メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(23 ページ) をご覧ください。

2 給紙ローラ（大）の爪を外側に広げながら、軸から外します。

3 新しい給紙ローラを軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

4 ローラが抜けないか、確認します。

5 用紙カセットの分離片を外します

❶ スプリングを外します。

スプリング

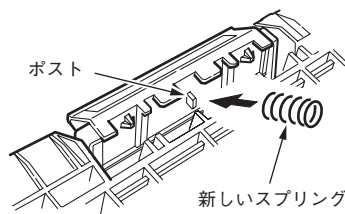
❷ 分離片の片方の足が支点から外れるまでたわませ、持ち上げるようにして外します。

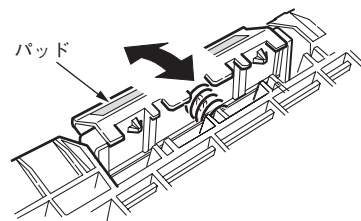
■部をキズ付けないように注意してください。

6 新しい分離片を取り付けます。

❶ 新しい分離片の片方の足の穴を支点にいれ、もう片方の足をたわませながら足の穴に支点が入るように真上から押し込みます。

注 パッド（ゴムの部分）にさわらないよう、注意してください。

❷ 両方の足の穴に支点が入っていることを確認します

❸ 新しいスプリングを分離片のポストに差し込んで取り付けます。

- スプリングがとばないよう、注意してください。
- 先に取り外したスプリングも使用可能です。

❹ 支点を中心に分離片がなめらかに動くことを確認します。

注 パッド（ゴムの部分）にさわらないよう、注意してください。

7 給紙ローラとパッドを清掃します。

162 ページを参照して、給紙ローラとパッドを清掃します。

8 用紙カセットをプリンタにもどします。

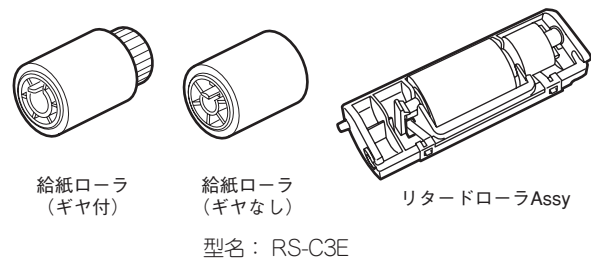
トレイ 2, 3(オプション)の給紙ローラを交換します

給紙ローラセット（トレイ 2, 3 用）

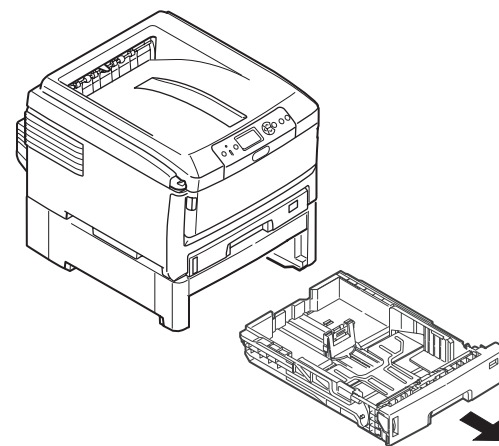
給紙ローラ
（ギヤ付）

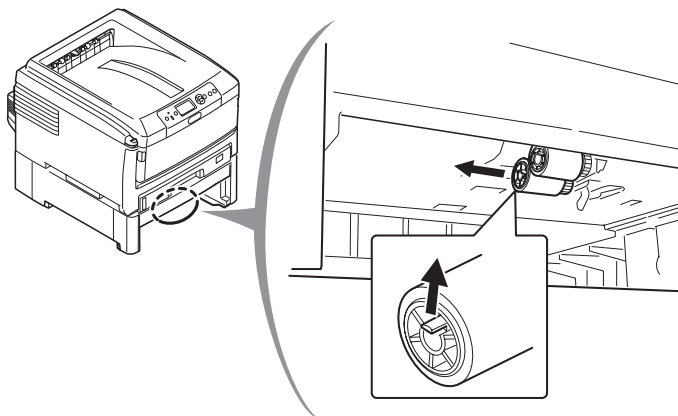
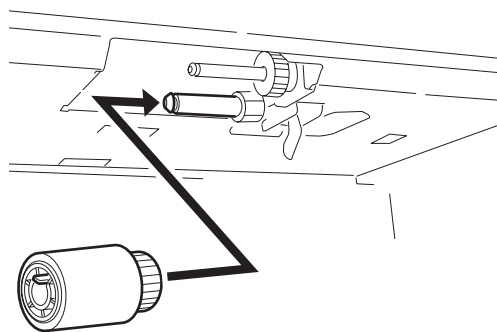
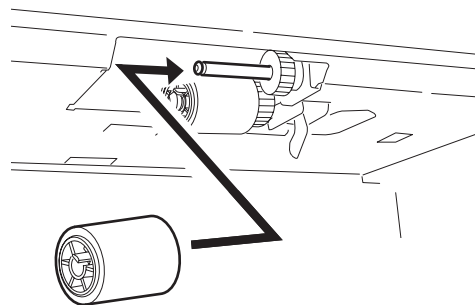
給紙ローラ
（ギヤなし）

リタードローラAssy

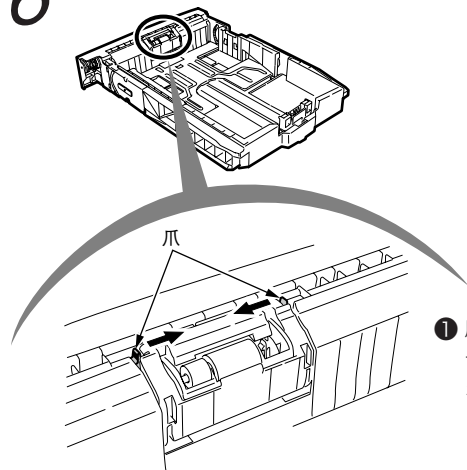
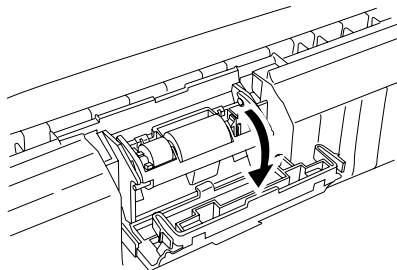
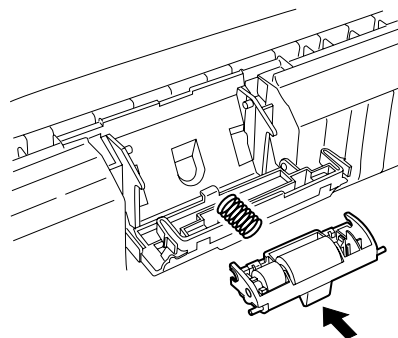
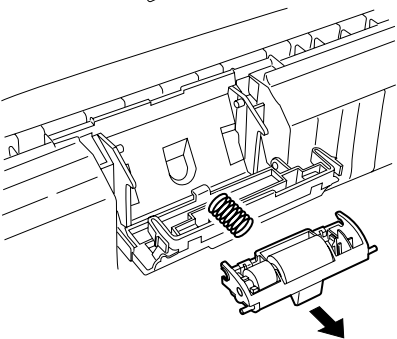
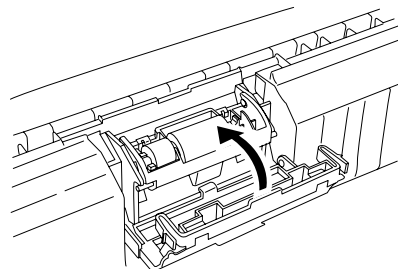
型名： RS-C3E

給紙ローラは必ず 3 個とも交換してください。

1 プリンタの電源を切り、トレイ 2, 3 の用紙カセットを引き抜きます。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(23 ページ) をご覧ください。

2 給紙ローラの爪を外側に広げながら、軸から外します。

2個とも外します。

3 新しい給紙ローラ(ギヤ付)を奥側の軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

4 新しい給紙ローラ(ギヤなし)を手前側の軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

5 ローラが抜けないか、確認します。

6 用紙カセットのローラを交換します。

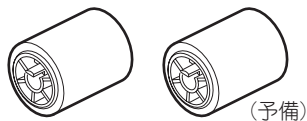
爪

❶ 用紙カセットの両側の爪をたわませて外し、手前に回転させ、カバーを開けます。

❷ リタードローラ Assy を矢印方向に引っ張り、軸から外します。

❸ 新しい部品を取り付けます。
リタードローラ Assy 背面のボス部にスプリングをはめ、カセット側の軸にリタードローラ Assy の軸受け部を斜め下方向から押し込みます。
リタードローラ Assy が軸を支点になめらかに動作することを確認します。

❹ カバーを閉じます。

❺ ローラが回転することを確認します。

7 用紙カセットをプリンタにもどします。

マルチパーパストレイの給紙ローラを交換します

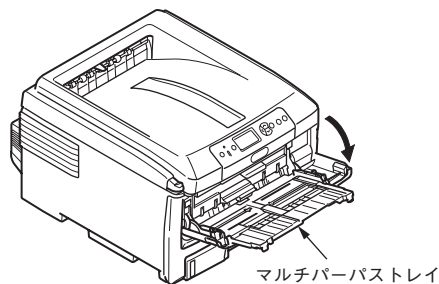
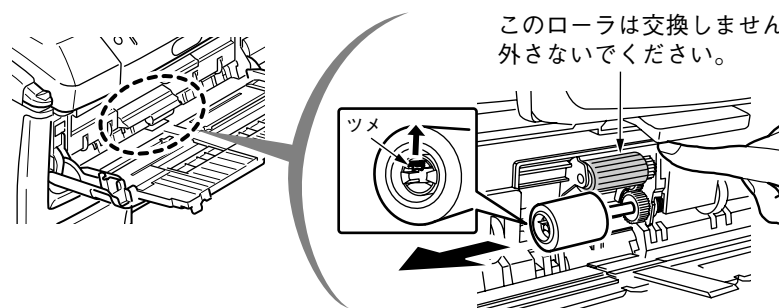
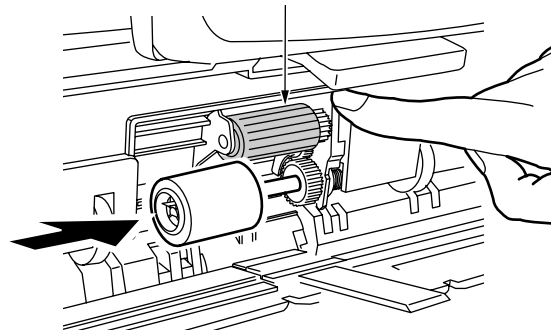
給紙ローラセット（MPT 用）

（予備）

型名： RS-C3F

給紙ローラセット（MPT 用）には給紙ローラが 2 個入っていますが、給紙ローラを交換するときは給紙ローラ 1 個を使用してください。もう 1 個の給紙ローラは予備として保管ください。

1 プリンタの電源を切ります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（23 ページ）をご覧ください。

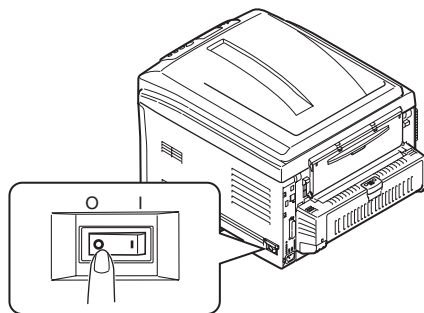
2 マルチパーパストレイを開きます。

3 用紙ピックアップ部を持ち上げ、給紙ローラの爪を外側に広げながら、軸から外します。

4 新しい給紙ローラを軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

5 ローラが抜けないか、確認します。

6 マルチパーパストレイを閉じます。

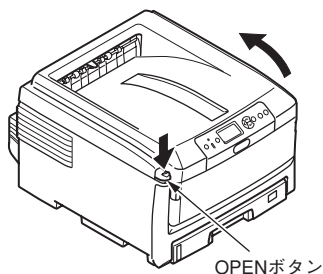
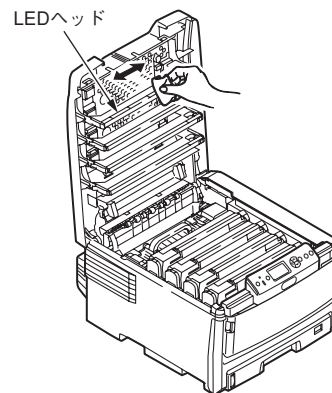
LEDヘッドを清掃します

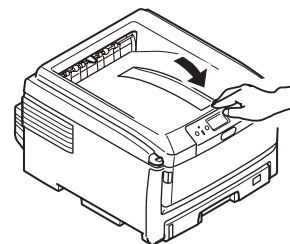
印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

1 プリンタの電源をOFFにします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(23ページ)をご覧ください。

2 OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 柔らかいティッシュペーパーでLEDヘッドのレンズ面(4ヶ所)を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

4 トップカバーを閉じます。

色ずれ補正調整をします

プリンタは電源をONにしたときやトップカバーを開閉したとき、また連続して印刷しているとき400枚印刷するごとに自動的に色ずれ補正調整を行いますが、色ずれが気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ ボタンを数回押して［プリンタ調整］を選択し、設定ボタンを押します。

❷ ボタンを数回押して［色ずれ補正］を選択し、設定ボタンを押します。

❸ 設定ボタンを押します。

［カラー調整中です］と表示して、色ずれ補正調整動作が開始されます。

濃度補正調整をします

プリンタは新しいイメージドラムを取り付けたとき、また連続して印刷しているとき500枚印刷するごとに自動的に濃度補正調整を行いますが、印刷濃度が気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ ボタンを数回押して［プリンタ調整］を選択し、設定ボタンを押します。

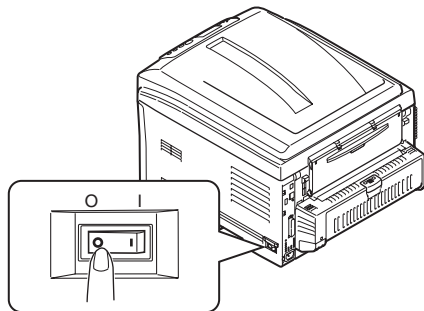
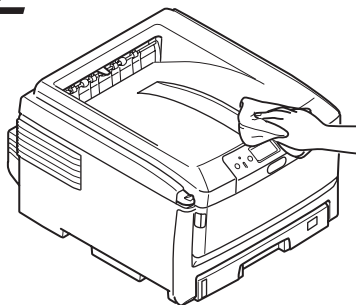
❷ ボタンを数回押して［濃度補正］を選択し、設定ボタンを押します。

❸ 設定ボタンを押します。

［濃度補正中です］と表示して、濃度補正調整動作が開始されます。

プリンタ表面を清掃します

1 プリンタの電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（23 ページ）をご覧ください。

2 プリンタの表面を拭きます。

❶ 水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

❷ 柔らかい乾いた布で拭きます。

- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

プリンタを輸送するとき

プリンタは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

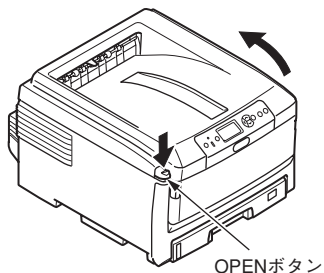
1 プリンタの電源を OFF にし、次の部品を取り外します。

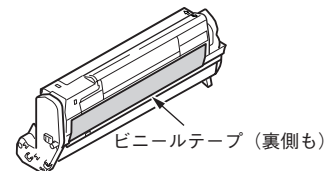
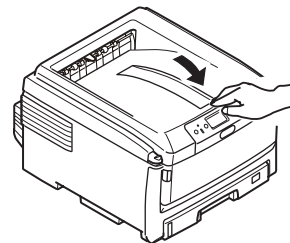
メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(23 ページ)をご覧ください。

- 電源コード、アース線
- プリンタケーブル
- 用紙カセットに入っている用紙

2 トップカバーを開け、イメージドラム(4 個)を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 イメージドラムとトナーカートリッジの接合部分をビニールテープで止めて、プリンタに戻します。

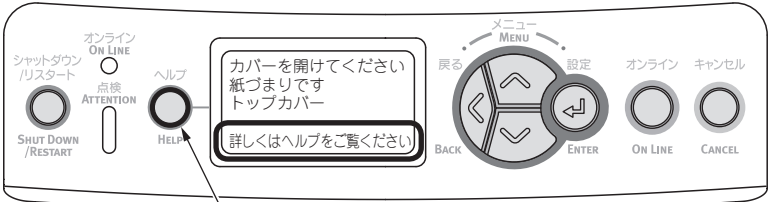
 プリンタにイメージドラムを同梱して輸送します。トナーがこぼれないようにビニールテープで密封してください。

4 トップカバーを閉じます。

5 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

 プリンタ購入時に付いていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

 プリンタを輸送後、再度設置するときには、イメージドラムとトナーカートリッジを止めたテープをはがしてください。

12 紙づまりになったとき

紙づまりになったとき

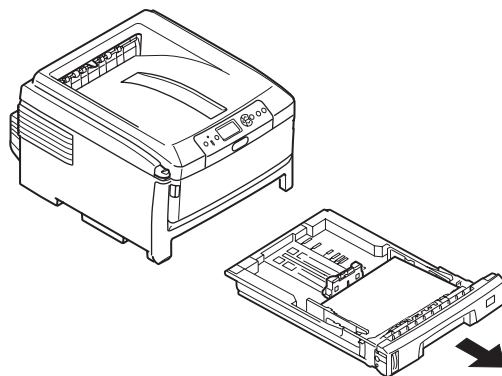
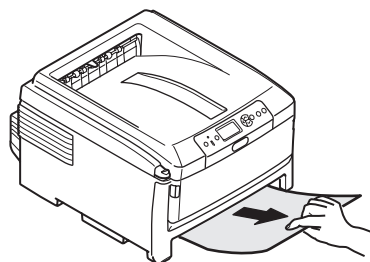
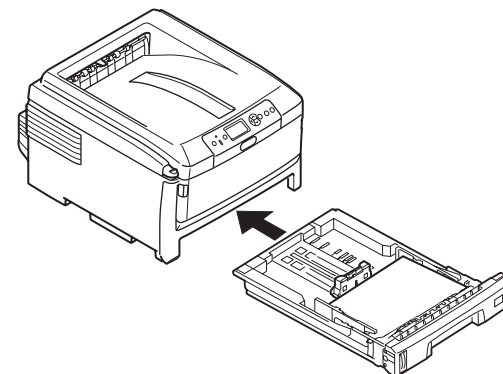
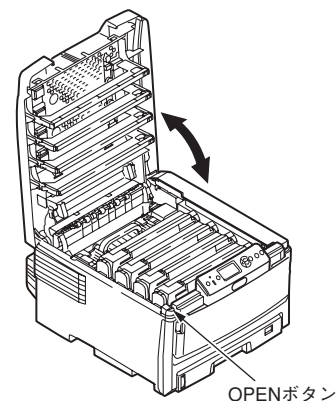
プリンタ内部に紙づまりが起こったときや用紙が残っているときは、操作パネルに「紙づまりです」「用紙が残っています」と表示します。
ヘルプボタンを押すと、用紙の取り除き方を表示するので、【処置】に従ってプリンタ内部の用紙を取り除いてください。
また、右の表の参照ページにも用紙の取り除き方が載っています。

このボタンを押すと、用紙の取り除き方を表示します。

表示されるメッセージ	参照ページ
トレイを引き出してください 紙づまりです ［トレイ名］	175ページ
トレイを引き出してください 用紙が残っています ［トレイ名］	
カバーを開けてください 紙づまりです フロントカバー	176ページ
カバーを開けてください 用紙が残っています フロントカバー	
カバーを開けてください 紙づまりです トップカバー	177ページ
カバーを開けてください 用紙が残っています トップカバー	
両面印刷ユニットを確認してください 紙づまりです	180ページ
両面印刷ユニットを確認してください 用紙が残っています	

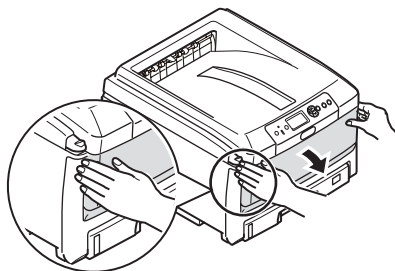
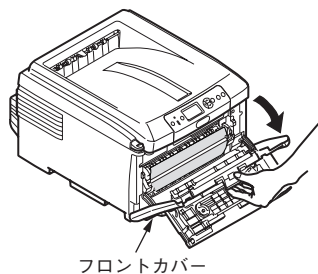
トレイを引き出してください 紙づまりです [トレイ名]	トレイを引き出してください 用紙が残っています [トレイ名]

と表示しているとき

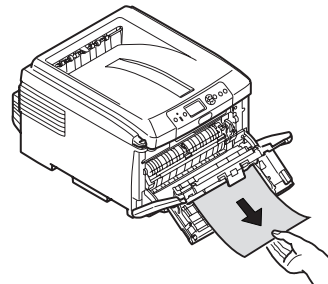
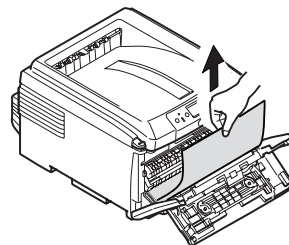
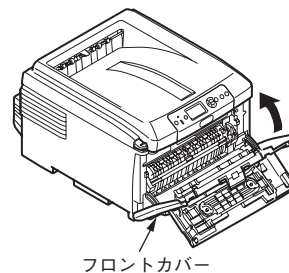
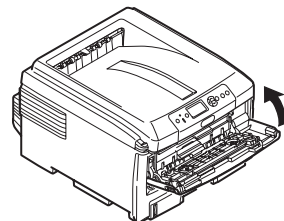
ここではトレイ 1 を例にしています。

1 表示しているトレイを引き抜きます。

2 用紙を取り除きます。

3 トレイをプリンタ本体に戻します。

4 トップカバーを開閉します。

カバーを開けてください 紙づまりです フロントカバー	カバーを開けてください 用紙が残っています フロントカバー

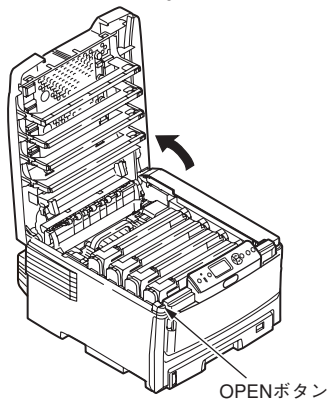
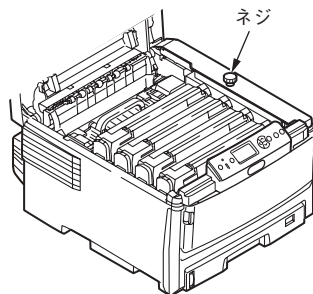
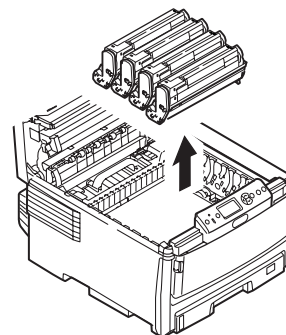
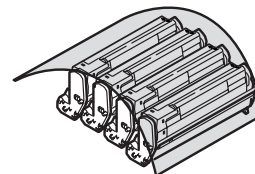
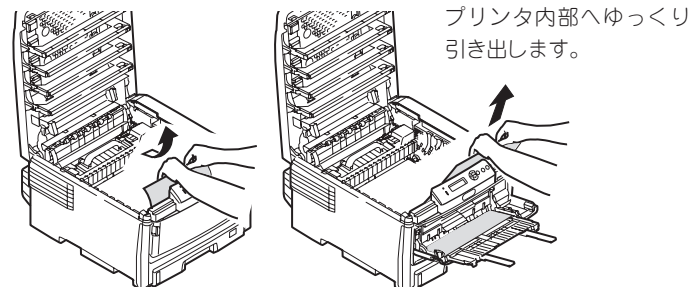
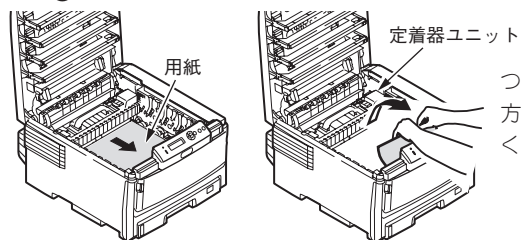
と表示しているとき

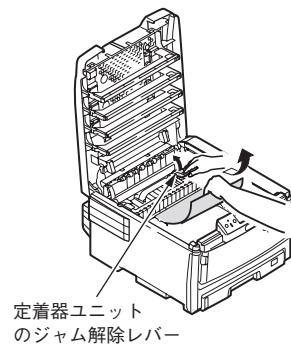
1 マルチパーパストレイを開けます。

2 中央のハンドル(青色)を押し上げ、フロントカバーを開けます。

3 つまっている用紙をゆっくり引き出します。

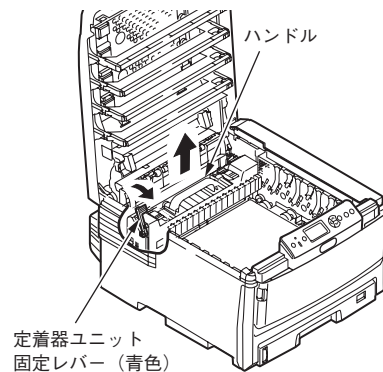
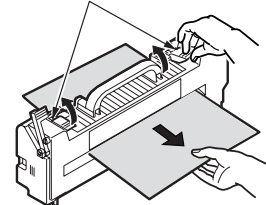
① 用紙の先端が見える場合

② 用紙の先端が見えない場合

4 フロントカバーを閉じます。

5 マルチパーパストレイを閉じます。

カバーを開けてください 紙づまりです トップカバー	カバーを開けてください 用紙が残っています トップカバー

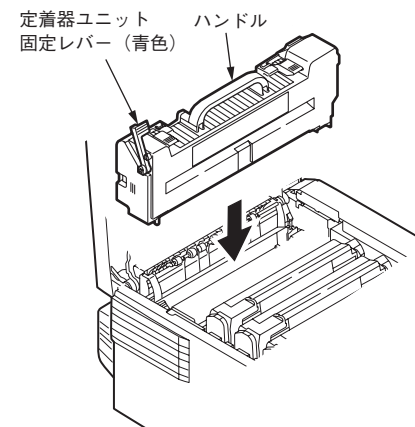
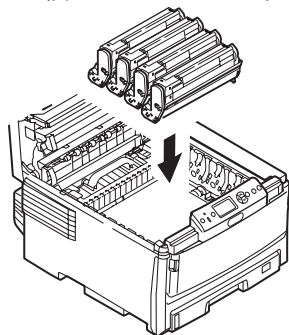
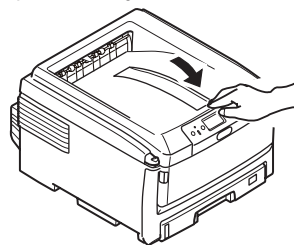
と表示しているとき

1 トップカバーを開けます。

2 ネジに手を触れて静電気を逃がします。

3 イメージドラム４個を取り出し、平らな場所に置きます。

4 取り出したイメージドラムに黒い紙をかぶせます。

5 ❶ つまった用紙の先端が見える場合

❷ つまった用紙の先端も後端も見えない場合

つまっている用紙を矢印方向にずらしてからゆっくり引き出します。

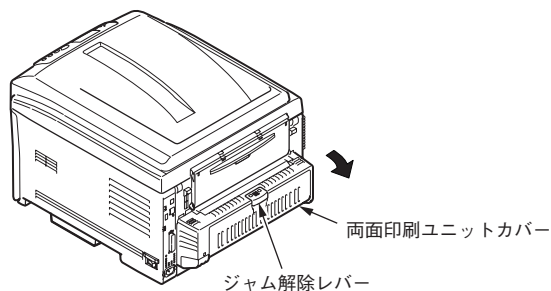
❸ つまった用紙の後端が見える場合

定着器ユニットのジャム解除レバー(2ヶ所)を引き上げ、用紙をゆっくり引き出します。

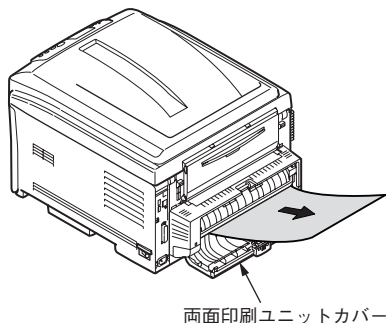
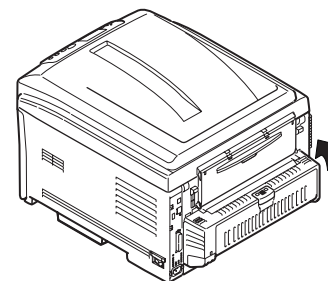
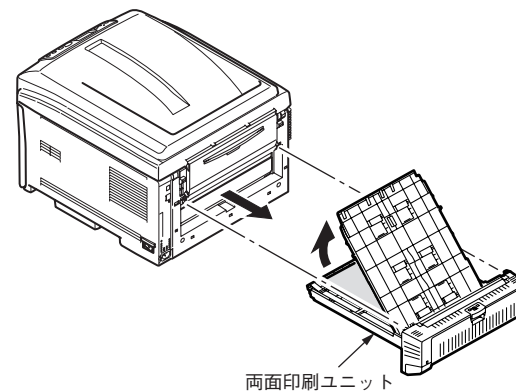
❹ 用紙が定着器にはさまっている場合

定着器の固定レバー（青色）を手前に倒し、定着器を取り出します。

ジャム解除レバー（2ヶ所）を押しながら、つまった用紙を必ず手前方向へゆっくり引き出します。

❺ ハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに戻します。

❻ 定着器ユニット固定レバー（青色）を奥側に倒し、固定します。

6 イメージドラム 4 個をプリンタにセットします。

7 トップカバーを閉めます。

両面印刷ユニットを確認して ください 紙づまりです	両面印刷ユニットを確認して ください 用紙が残っています

と表示しているとき

1 両面印刷ユニットのジャム解除レバーをつまんで押し下げ、両面印刷ユニットカバーを開けます。

2 つまっている用紙を取り出します。

用紙が見えない場合は両面印刷ユニットカバーを閉めると用紙が自動的に排出されます。

3 両面印刷ユニットカバーを閉めます。

両面印刷ユニットカバーを閉じても用紙が排出されない場合は、両面印刷ユニットをプリンタから抜き、両面印刷ユニット内に用紙が無いか確認してください。

注 両面印刷ユニットを抜く場合は、プリンタの電源を OFF にしてください。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（23 ページ）をご覧ください。

付　録

ユーザサポートサービスについて

保証について

ご購入日から起算して 5 年以内に発生した故障については、弊社保証規定に基づき無償で修理いたします。
お客様登録（必須）をしていただくことにより、製品保証書を発行させていただきます。
インターネットから弊社ホームページ（http://www.okidata.co.jp/）へアクセスし、お客様登録（ご愛用者登録）ボタンを押していただき、登録をお願いいたします。
インターネット環境がご利用になれない場合は、お客様相談センターへお電話ください。[電話番号 0120-654-632（携帯電話からは 03-5846-5921）]
書類にて登録ができるお客様登録申込書を郵送させていただきます。

無償修理を受けるにはお客様登録後に発行される保証書が必要となります。

■ 無償保証規定

1. お客様の正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態）で故障が発生した場合には保証期間内に限り保証規定に基づき、無償で修理させていただきます。
2. 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
   (1) 保証書の提示がない場合。
   (2) 保証書の字句が書き換えられている場合。
   (3) 火災、天災、公害、塩害、異常電圧等の外部要因に起因する故障及び損傷の場合。
   (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下、衝撃等、お取扱いが不適当なために生じた故障及び損傷の場合。
   (5) 説明書に記載の使用方法、または注意に反するお取扱い（不安定な電力供給、仕様に定める動作可能温度及び動作可能湿度の範囲外での使用等の使用環境の問題も含む）によって発生した故障及び損傷の場合。
   (6) 弊社指定の保守サービス会社以外で修理、改造された場合。
   (7) 接続している他の機器に起因した本製品の故障及び損傷の場合。
   (8) 弊社指定以外のメンテナンス品（定着器ユニット、ベルトユニット、給紙ローラセット）、消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラム）、用紙等の使用に起因して生じた故障及び損傷の場合。
   (9) 正常なご使用方法でもメンテナンス品（定着器ユニット、ベルトユニット、給紙ローラセット）、消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラム）、用紙等が自然消耗、磨耗、劣化した場合。
3. メンテナンス品（定着器ユニット、ベルトユニット、給紙ローラセット）、消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラム）、用紙等は本保証による保証対象とはなりません。また、パソコン本体の OS 改変やプリンタードライバーソフトの改変に関しても、保証対象とはなりません。メンテナンス品・消耗品の交換については、お客様で行っていただきます。
   弊社に依頼される場合は、部品代金に加えて工賃（出張費を含む）をお客様にご負担いただきます。
4. 製品によっては、メンテナンス品及び消耗品に該当する部品を追加する場合があります。
   その場合には、当該製品のカタログ、取扱説明書等に追加されたメンテナンス品及び消耗品を記載します。
5. 製品の故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社はその責に任じません。
6. 設置場所の変更、転居、贈答等の場合で、お買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、お客様相談センターにお問い合わせください。
7. 弊社における保証は、製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶部品に記憶されたデータ・プログラム・設定内容の消失または損害について保証するものではありません。
8. 修理を行った場合の修理内容につきましては、修理伝票等で代替いたします。
9. 保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

オプション品の保証について

オプション品によっては、保証期間が 6 ヶ月の保証書が同梱されている場合があります。

この場合でも、製品本体と同様にお客様登録をしていただくことにより、オプション品についても登録頂いた本体保証期間と同期間の保証をいたします。

ただし、オプションを購入された時点で本体の保証期間の残りが 6 ヶ月に満たない場合は、オプション品の保証期間は 6 ヶ月とさせていただきます。

最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。

http://www.okidata.co.jp

プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音をさせていただいております。

お客様相談センター 0120-654-632

（携帯電話からは 03-5846-5921）

受付時間　9：00 ～ 20：00 月曜日～金曜日
9：00 ～ 17：00 土曜日
(但し、祝日、年末年始等を除く)

※ 月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。

※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆ プリンタのサポートサービスは (株) 沖電気カスタマアドテック (OCA) とそのグループ会社が担当しております。

（個人情報の取り扱いについて）

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。
b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。
c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供，アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。
d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

― お問い合わせに回答できない場合について ―

1. UNIX、Linux 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5. プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境
機種名：＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿　購入月：＿＿年＿＿月
追加オプション：　なし　・　あり（　　　）

コンピュータ環境
□Windows　バージョン：＿＿＿＿
□Mac OS　バージョン：＿＿＿＿

接続方法
□パラレル　□USB　□ネットワーク
□TCP/IP　□IPX/SPX　□EtherTalk　□NetBEUI　□その他(　　)

プリンタドライバ
プリンタドライバ名：＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿

アプリケーションソフト
アプリケーションソフト名：＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿
使用フォント名：＿＿＿＿

エラー表示（正確に）
コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿
プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿

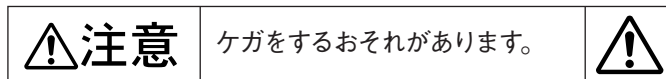
その他
他のアプリケーションからの印刷：□正常　□印刷できない
他のコンピュータからの印刷　：□正常　□印刷できない

補修用部品の保有年数について

本プリンタの補修用部品の保有年数は、製造終了後 5 年間とさせていただきます。
詳しくは、沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp/）をご覧ください。

プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

このプリンタは重量が約40Kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

使用済み製品の回収について

沖データでは使用済み製品を回収するシステムを構築しております。詳しくは、沖データのホームページをご覧ください。

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのオキカラーページプリンタ/MICROLINEプリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。右の用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ１本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

FAX 0120-107995

沖データ回収センタ　宛

受付 No.　：
＊弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

西暦　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日　：　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

イメージドラム	：	個
トナーカートリッジ	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他マイクロライン消耗品	：	個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】
まとめた箱の荷姿で合計　：　　個口

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185
フリーダイヤル 0120-640991（携帯電話からもご利用いただけます）
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

消耗品・オプション一覧

これらの消耗品、オプションは、お近くの販売店でお求めください。

品　名	型　名	内　容
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C3KK1	トナーカートリッジ
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C3KY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C3KM1	
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C3KC1	
トナーカートリッジ　ブラック S	TNR-C3KK3	トナーカートリッジ S タイプ
トナーカートリッジ　イエロー S	TNR-C3KY3	
トナーカートリッジ　マゼンタ S	TNR-C3KM3	
トナーカートリッジ　シアン S	TNR-C3KC3	
イメージドラム　ブラック	ID-C3KK	イメージドラム トナーカートリッジ S タイプ
イメージドラム　イエロー	ID-C3KY	
イメージドラム　マゼンタ	ID-C3KM	
イメージドラム　シアン	ID-C3KC	
ベルトユニット	BLT-C3C	ベルトユニット
定着器ユニット	FUS-C3E	定着器ユニット
増設トレイ E1	TRY-C3E1	増設トレイユニット（トレイ 2、トレイ 3）
キャスタ付きキャビネット S1	CAB-S1	キャビネット
256MB 増設メモリ	MEM256E	増設メモリ（256MB）
512MB 増設メモリ	MEM512C	増設メモリ（512MB）
内蔵ハードディスク	HDD-C3C	内蔵ハードディスク
カード認証キット F7	JCK-F7	IC カード認証用内蔵ハードディスクキット
カード認証キット F8	JCK-F8	IC カード認証用内蔵ハードディスクキット（グループ印刷機能対応）
データプロテクションキットタイプ A3	DPK-A3	内蔵暗号化ハードディスク
給紙ローラセット（トレイ 1 用）	RS-C3D	給紙ローラ（トレイ 1 用）
給紙ローラセット（トレイ 2, 3 用）	RS-C3E	給紙ローラ（トレイ 2/ トレイ 3 用）

品　名		型　名	内　容
給紙ローラセット（MPT 用）		RS-C3F	給紙ローラ（マルチパーパストレイ用）
プリントジョブアカウンティング		MLSFT-PJA01	プリントジョブアカウンティングソフトウェア
エクセレントホワイト	A4	PPR-CA4NA	OKI カラーページプリンタ用紙
	A4（厚口）	PPR-CA4DA	
	A4 長尺	PPR-CT4DA	
	A3	PPR-CA3NA	
	A3（厚口）	PPR-CA3DA	
	A3 長尺	PPR-CT5DA	

- 消耗品、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムは、開封後 1 年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0 ～ 35℃、湿度：20 ～ 85%RH 範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

仕様

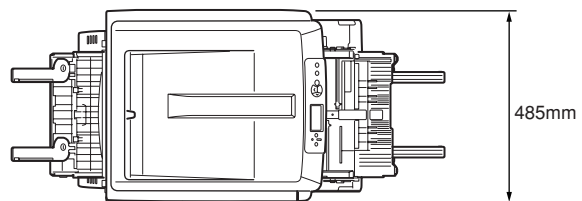
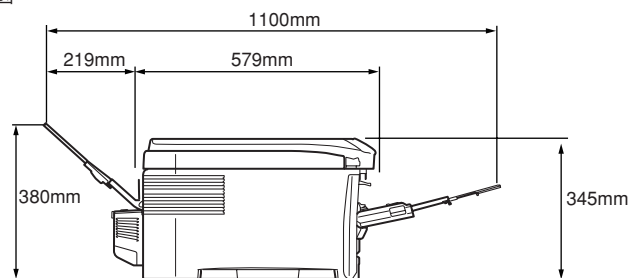
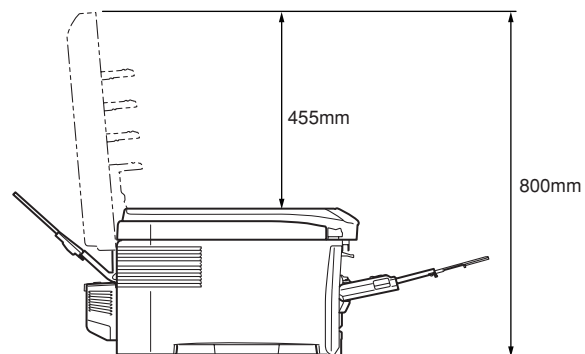
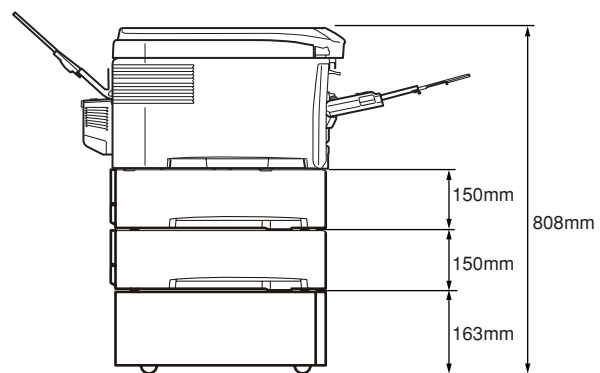
主な仕様

項目	内容
印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600 ドット/インチ(LED ヘッド) 600 × 600dpi/600 × 1200dpi/600 × 600dpi × 2 bit(印刷解像度)
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の 4 色
CPU	PowerPC750 相当プロセッサ(700MHz)
RAM 容量	256MB(最大 768MB)
対応 OS	Windows Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000 日本語版 MacOS 9.0 ～ 9.2.2、Mac OS X 10.3 ～ 10.5.2 日本語版 詳しくは動作環境をご覧ください。
印刷言語	PostScript3 エミュレーション、PCL5c エミュレーション
内蔵フォント	PSE：日本語 2 書体、欧文 136 書体 /PCL5c：日本語 4 書体、欧文 91 書体
インタフェース	USB (Hi-Speed USB をサポート)、100BASE-TX/10BASE-T、 IEEE std 1284-1994 準拠パラレル
印刷速度 *1 (600×600dpi/600×1200dpiの場合)	カラー ：30 ページ / 分(普通紙、A4 コピーモード時)、 9.5 ページ / 分(104kg(121g/m²) 以上の厚紙･郵便はがき･ラベル紙)、 22 ページ / 分(両面印刷時：普通紙、A4 時) モノクロ ：32 ページ / 分(普通紙、A4 コピーモード時、モノクロ印刷速度優先)、 9.5 ページ / 分(104kg(121g/m²) 以上の厚紙･郵便はがき･ラベル紙)、 23 ページ / 分(両面印刷時：普通紙、A4 時)
用紙サイズ *2	A3、A4、A5、A6、B5、レター、リーガル 13 インチ、リーガル 13.5 インチ、 リーガル 14 インチ、エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒
用紙種類 *2	普通紙 (55 ～ 189kg)、郵便はがき、封筒、ラベル紙
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙 増設トレイ(オプション)による自動給紙
給紙容量	用紙カセット ：普通紙 300 枚 / 連量 70kg*5 総厚 30mm 以下 マルチパーパストレイ ：普通紙 100 枚 / 連量 70kg*5 総厚 10mm 以下 はがき 40 枚、封筒 10 枚 / 坪量 85g/m²
排出方法 *2	フェイスアップ(表排出)/ フェイスダウン(裏排出)
排出容量	フェイスアップ：約 100 枚 / 連量 70kg*5 フェイスダウン：約 250 枚 / 連量 70kg*5
印刷保証範囲	用紙の端から 6.35mm 以上(封筒などの特殊な用紙は除く)

項目	内容
印刷精度	書き出し位置精度± 2mm 用紙の斜行± 1mm/100mm 画像伸縮± 1mm/100mm(連量 70kg の場合)
ウォーミングアップ時間 *4	電源投入後 90 秒以内 (25℃) ：濃度補正オフ時 電源投入後 120 秒以内 (25℃) ：濃度補正オン時
電源	AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2%
消費電力	動作時 ：最大 1350W、平均 570W(25℃) 待機時 ：平均 200W(25℃) 節電モード時 ：最大 17W 電源オフ時には電力は消費されません。
突入電流	80A 以下 (25℃)
使用環境条件	動作時：10 ～ 32℃ /20 ～ 80%RH(最高湿球温度 25℃、最高乾球湿球温度差 2℃) 停止時：0 ～ 43℃ /10 ～ 90%RH(最高湿球温度 26.8℃、最高乾球湿球温度差 2℃)
印刷品質保証条件	温度 10℃時 湿度 20 ～ 80%RH、温度 32℃時 湿度 20 ～ 54%RH、 湿度 20%RH 時 温度 10 ～ 32℃、湿度 80%RH 時 温度 10 ～ 27℃、 カラー印刷時 温度 17 ～ 27℃、湿度 50 ～ 70%RH
標準使用条件	平均電源 ON 時間 ：220H/ 月 平均印刷枚数 ：10,000 枚 / 月
消耗品 , メンテナンスユニット	トナーカートリッジ、イメージドラム、ベルトユニット、定着器ユニット、 給紙ローラセット
装置寿命	5 年または 60 万枚 (A4)
総重量 *3	約 40kg

*1： 用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*2： 用紙サイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*3： 本体および消耗品を含みます。オプション、用紙重量は含みません。
*4： ネットワーク環境等により、変動することがあります。
*5： 坪量 82g/m²

外形寸法

平面図

側面図

オプション装着時

ユーザーズマニュアル CD-ROM の内容

ユーザーズマニュアル CD-ROM には、次のマニュアルが PDF 形式で収録されています。バージョン 5 以降の Acrobat に対応しています。
Adobe Reader は、ソフトウェア CD-ROM に収納されています。

- C830_Setup.pdf： C830dn のユーザーズマニュアル（セットアップ編）です。（本書）
- C830_Ouyou.pdf： C830dn ユーザーズマニュアルの応用編です。

マニュアルをハードディスクにコピーして使う場合は、セットアップ編と応用編を同じフォルダに保存してご利用ください。

C830dn ユーザーズマニュアル（応用編）の内容

1 Windows ソフトウェア

2 Macintosh ソフトウェア

3 いろいろな用紙に印刷するための設定

4 便利な印刷機能

5 カラーについて

6 プリンタメニューの使い方について

7 ネットワーク機能について

8 UNIX、Linux で使用する場合

9 困ったときには

付　録

索　引

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

カラーページプリンタ
C830dn

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）

発行日　2010年　6月　第４版
発行者　株式会社 沖データ

44129801EE

● このマニュアルは再生紙を使用しています。
● この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出してください。

株式会社 沖データ

お客様相談センター
0120-654-632
(携帯電話からは03-5846-5921)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し、祝日、年末年始等を除く）